PLEXTALK® Producer

取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の取り扱いかたと重要な注意事項を示しています。

この取扱説明書をお読みの上、本製品をお使いください。

目次

はじめに 8
安全にお使いいただくために 8
警告および注意事項について 8
同梱品 9
動作環境 9
本取扱説明書に関するご注意 10
ソフトウェア使用許諾契約書 10
1章 本ソフトウェアの特長と用語解説 13
1章1 PLEXTALKProducer の特長 13
1章2 DAISY について 14
1章3 EPUB について 15
1章4 その他用語説明 16
2章 セットアップ 19
2章1 関連するソフトウェアをインストールする 19
2.1.1 .NET Framework 4.6 をインストールする 19
2.1.2 SQL Server 2008 R2 Express をインストールする 21
2.1.3 Java をインストールする 22
2.1.4 Microsoft Visual C++ランタイムをインストールする 23
2章2 PLEXTALKProducer をインストールする 24
2章3 PLEXTALKProducer をアンインストールする 26
2章4 ライセンスを認証する 27
2章5 ライセンス認証を解除する 28
3章 図書の製作について 30
3章1 プロジェクトについて 30
3章2 図書製作の流れについて 31
4章 起動と終了 32
4章1 起動する 32
4章2 終了する 33
4章3 各部名称と働きについて 33
4.3.1 メイン画面について 34
4.3.2 ファイルタブについて 35

4.3.3 ホームタブについて 35
4.3.4 再生・録音タブについて 36
4.3.5 設定タブについて 36
5 章 プロジェクト 37
5 章 1 新規にプロジェクトを作成する 37
5.1.1 空のプロジェクトを作成する 37
5.1.2 DAISY 図書からプロジェクトを作成する 38
5 章 2 過去に作成したプロジェクトを開く 39
5.2.1 プロジェクトを開く 39
5.2.2 プロジェクトを変更する 39
5.2.3 プロジェクトを削除する 40
6 章 インポート、エクスポート 41
6 章 1 他のテキストを取り込む 41
6 章 2 他で編集したプロジェクトを取り込む 43
6 章 3 編集中のプロジェクトを取り出す 44
7 章 バックアップ 46
7 章 1 プロジェクトを複製する 46
7 章 2 プロジェクトを復旧する 46
7 章 3 複製したプロジェクトを削除する 47
8 章 編集 49
8 章 1 セクション 49
8.1.1 セクションを結合する 49
8.1.2 セクションを分割する 50
8.1.3 セクションを作成する 51
8.1.4 セクションを削除する 52
8.1.5 セクションを移動する 53
8.1.6 セクションのレベルを変更する 53
8 章 2 飛ばし読み（ページなど） 54
8.2.1 飛ばし読みを設定する 54
8.2.2 飛ばし読みを解除する 55
8 章 3 フレーズ 56
8.3.1 フレーズを結合する 56
8.3.2 フレーズを分割する 56

8.3.3 フレーズを作成する 57
8.3.4 フレーズを削除する 58
8.3.5 フレーズを移動する 59
8.3.6 フレーズの長さを再設定する 60
8 章 4 グループ 60
8.4.1 グループを設定する 60
8.4.2 グループを解除する 61
8 章 5 マーク 61
8.5.1 マークを設定する 61
8.5.2 マークを削除する 61
8.5.3 マークに移動する 62
8 章 6 縦書き・横書き 62
8 章 7 フォント 62
8.7.1 ルビを設定する 62
8.7.2 ルビを修正する 63
8.7.3 熟語ルビを設定する 64
8.7.4 ルビを削除する 64
8.7.5 すべての漢字にルビを設定する 65
8.7.6 すべてのルビを削除する 65
8.7.7 装飾を設定／解除する 65
8.7.8 装飾をすべて解除する 67
8 章 8 図表 67
8.8.1 画像を挿入する 67
8.8.2 画像の書式を変更する 69
8.8.3 画像を削除する 70
8.8.4 表を挿入する 70
8.8.5 表の書式を変更する 71
8.8.6 表を削除する 72
8.8.7 枠を挿入する 73
8.8.8 枠の書式を変更する 74
8.8.9 枠を削除する 75
8.8.10 区切り線を挿入する 75
8.8.11 区切り線を削除する 75

8章9 段落 76
8.9.1 箇条書きを設定／解除する 76
8.9.2 段組を設定／解除する 77
8.9.3 文字揃えを設定／解除する 78
8.9.4 字下げを設定／解除する 79
8.9.5 縦中横を設定／解除する 79
8章10 テキスト編集 80
8.10.1 文字を入力する 80
8.10.2 文字を削除する 81
8.10.3 文字をコピー／貼り付けする 81
8.10.4 改行を挿入する 81
8.10.5 段落を設定する 82
8章11 テキスト検索 82
8章12 編集を元に戻す／やり直す 83
9章 再生 84
9章1 フレーズ再生 84
9.1.1 フレーズを再生する 84
9.1.2 フレーズを連続で再生する 84
9.1.3 再生を停止する 85
9.1.4 再生音量や速度を変更する 85
9章2 読み修正 85
9.2.1 音声合成の読み辞書を設定する 86
9.2.2 フレーズに発音を設定する 86
9.2.3 設定した発音を削除する 88
10章 録音 89
10章1 指定位置から録音をする 89
10.1.1 録音の準備をする 89
10.1.2 録音を開始する 89
10章2 範囲を指定して録音をする 91
10章3 同期位置を手動で修正する 92
10章4 波形の編集をする 93
10.4.1 波形をコピー／貼り付けをする 93
10.4.2 波形を削除する 93

10 章 5 同期位置を再設定する 94
10 章 6 他の音声を取り込む 95
11 章 クリーンアップ 96
12 章 書誌情報 97
13 章 ビルドブック 99
13 章 1 DAISY2.02 形式で出力する 100
13 章 2 DAISY3 形式で出力する 102
13 章 3 EPUB３形式で出力する 103
14 章 CD 書き込み 104
15 章 各種設定 106
15 章 1 機能設定 106
15.1.1 見出しを自動で反映する 106
15.1.2 選択したフレーズを自動で再生する 106
15.1.3 音声合成の設定をする 106
15.1.4 録音の設定をする 108
15.1.5 作業領域の設定をする 110
15 章 2 表示設定 110
15.2.1 各種別の枠色を設定する 111
15 章 3 画面設定 112
15.3.1 画面をインストール時の状態に戻す／非表示にする 112
16 章 PLEXTALKProducer 再生確認用ソフトウェア 113
16 章 1 起動と終了 113
16.1.1 起動する 113
16.1.2 PLEXTALKProducer から起動する 113
16.1.3 終了する 114
16 章 2 各部名称と働きについて 115
16.2.1 メイン画面について 115
16.2.2 ファイルタブについて 116
16.2.3 ホームタブについて 116
16.2.4 設定タブについて 116
16 章 3 再生 117
16.3.1 図書を開く 117
16.3.2 再生する／停止する 117

16.3.3 再生音量や速度を変更する 118
16.3.4 再生位置を移動する 118
16.3.5 書誌情報を確認する 119
16 章 4 各種設定 119
16.4.1 音声合成を変更する 119
16.4.2 音声合成の読み辞書を設定する 121
16.4.3 飛ばし読みの設定をする 121
16.4.4 テキストのスタイルを設定する 122
16.4.5 画面をインストール時の状態に戻す／非表示にする 122
17 章 ユーザー辞書ツール 123
17 章 1 各部名称と働きについて 123
17 章 2 辞書を開く 124
17 章 3 辞書を保存する 124
17 章 4 辞書を修正する 125
17.4.1 単語を追加する 125
17.4.2 単語を修正する 127
17.4.3 単語を削除する 128
17 章 5 インポート、エクスポート 129
17.5.1 他の辞書を取り込む 129
17.5.2 辞書を取り出す 129
18 章 付録 130
18 章 1 DAISY 出力対応機能一覧 130
18 章 2 ショートカットキー一覧 131
18.2.1 PLEXTALKProducer ショートカットキー一覧 131
18.2.2 再生確認用ソフトウェアショートカットキー一覧 135
18 章 3 各音質の CD1 枚に記録できる時間の目安と主な用途 136
18 章 4 インポート可能な音声フォーマット一覧 136
18 章 5 ユーザー辞書ツール CSV ファイル形式 137
18 章 6 サードパーティー製ソフトウェアについて 139
19 章 お問い合わせ先 140

はじめに

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際は、必ず必要事項をお守りください。

警告および注意事項について

⚠注意

	本ソフトウェアを使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが示している警告、注意表示を厳守してください。
	本ソフトウェアを使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。必要なファイルは必ずバックアップをお取りいただいた後に本ソフトウェアをご利用ください。 また本ソフトウェアを使用して作成したデータの破損・消失についても弊社は一切の責任を負いません。
	パソコンに接続されたマイク、録音環境によっては稀にノイズが発生することがあります。そのような場合は、それらの機器の販売メーカーにお問い合わせください。
	ディスクのお手入れは乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。 洗剤を使用したり、シンナー・アルコールなどで拭いたりしないでください。ディスクの表面を痛めてしまいます。
	ディスクを保管する際は、付属のケースに入れて保管してください。ディスクの変形を防止し、記録面やレーベル面の傷や埃から守ることができます。また直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所を避けて保管してください。

同梱品

本ソフトウェアの同梱品は以下の３点です。

１）PLEXTALKProducer インストール DVD

２）シリアル No.のご案内

３）インストールガイド

<**注意**>

- 「シリアル No.のご案内」に記載の「シリアル No.」は、インストールの際に必ず必要になりますので、大切に保管してください。
- 「シリアル No.のご案内」は再発行致しかねますので、紛失には十分お気を付けください。

動作環境

本ソフトウェアは以下の動作環境で動作します。推奨環境以外での動作につきましては、保証致しかねますのでご了承ください。

サポート OS	Windows Vista（SP2）（32bit） Windows 7（SP1）（32bit／64bit） Windows 8／8.1（32bit／64bit） Windows 10（32bit／64bit） 各 OS は日本語版のみサポート
プロセッサ	2GHz 以上
メモリ	2GB 以上（4GB 以上推奨）
その他	インターネットに接続できること

最新の情報は、弊社ホームページにて、ご確認ください。

www.plextalk.com

本取扱説明書に関するご注意

- 本取扱説明書の著作権はシナノケンシ株式会社が所有します。
- 本ソフトウェアの仕様は、改良のため予告なしに変更する場合があり、それに伴って、取扱説明書の内容も予告なしに変更を行う場合があります。
- 「Windows」はマイクロソフト社の登録商標です。その他、本取扱説明書に記載されている商品名は、一般に各社の商標ならびに登録商標です。

ソフトウェア使用許諾契約書

PLEXTALKProducer のご使用条件（ソフトウェア使用許諾契約書）

本ソフトウェアを使用する前にこの使用条件をお読みください。シナノケンシ株式会社は、お客様がこの使用条件に同意された場合にのみ本ソフトウェアの使用を許諾します。お客様が本ソフトウェアを使用されると、以下の条件に同意したものとみなします。この使用条件にご同意いただけない場合は、本ソフトウェアのインストールを直ちに中止してください。

１．使用権
シナノケンシ株式会社は、本契約所定の条件に従い、本ソフトウェアの非独占的な使用権をお客様に許諾します。この許諾は、１台のコンピュータシステムにおいてお客様自身が本ソフトウェアをご使用する場合に限り有効です。本使用権は、日本国内でのみ有効なものとします。

２．複製の禁止
お客様は､本ソフトウェアの複製をバックアップ以外の目的で行うことはできません。また複製は１個に限ります。

３．再使用許諾の禁止
お客様は、本ソフトウェアを、譲渡、貸与、リースもしくは配布その他の方法により第三者に使用させてはならないものとします。

４．翻案、逆アセンブル・コンパイル等の禁止

お客様は本ソフトウェアの一部もしくは全部を翻案、逆アセンブル・コンパイル、リバースエンジニアリングすることはできません。

５．本ソフトウェアの権利

本ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、シナノケンシ株式会社及びシナノケンシ株式会社が正当に許諾を受けている各会社に帰属するものであり、お客様は本ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

６．製作物の使用制限

本ソフトウェアに含まれる音声合成機能を使用して作成した音声、音声ファイル、音声を含むコンテンツを第三者に有償にて提供することはできません。有償にて提供する目的で使用する場合、あらかじめお客様ご自身で株式会社日立ソリューションズ・クリエイト（旧社名：株式会社日立ソリューションズ・ビジネス）から音声使用の許諾を受けてください。

７．解約

お客様が前項までの規定に違反された場合、シナノケンシ株式会社はこの使用許諾契約を解約することができます。本契約が解約された場合、お客様の負担で本ソフトウェア及びその複製物を破棄し、またはシナノケンシ株式会社に返却するものとします。

８．損害賠償

(1) シナノケンシ株式会社は、お客様が本ソフトウェアの使用に関連して、お客様又は第三者に直接的または間接的に生じた損害についていかなる責任をも負わないものとします。

(2) お客様が本契約の規定に違反されたことに関し、シナノケンシ株式会社及び第三者に損害・損失が発生した場合、当該損害・損失をご負担いただくものとします。

９．本ソフトウェアの変更

シナノケンシ株式会社はお客様への予告なしに改良のため本ソフトウェアの変更を行うことがあります。

１０．その他

(1) シナノケンシ株式会社は、いつでも、本契約の条件を変更・削除する権利を留保しています。本契約の条件変更の通知後、お客様が本ソフトウェアを使用されると、変更後の条件に同意したものとみなします。お客様は、もしも将来実施される本契約の変更に同意していただけない場合、本契約を解約していただくことができます。

(2) 本契約は、日本国法に準拠するものとします。

(3) 本契約は、消費者契約法等の消費者保護法規によるお客様の権利を不利益に変更するものではありません。

(4) 本契約に定めなき事項又は本契約の解約に疑義を生じた場合は、お客様及びシナノケンシ株式会社は誠意をもって協議をし、解決にあたるものとします。

1章 本ソフトウェアの特長と用語解説

この章では、本ソフトウェアの特長や専門用語について説明します。尚、本ソフトウェアで使用している専門用語は、他の分野においては全く別の意味として扱われているものもありますので、ご注意ください。

1章1 PLEXTALKProducer の特長

- PLEXTALKProducer は、DAISY2.02、DAISY3、EPUB3 フォーマットの図書が作成できるマルチメディア DAISY 製作ソフトウェアです。 DAISY 図書作成の一連の作業をこのソフトウェア１つで、実現できます。
- 高音質音声合成エンジンを内蔵し、肉声による録音が必要ない場合は、テキストに音声合成を付加できるので、録音作業もなく製作時間の大幅な短縮を実現します。
- 発音指定できるカスタマイズ可能な読み辞書と、各テキストへの個別の発音指定で、読みの補正ができます。
- 慣れ親しんだ人の声による録音もできます。
- 音声認識を利用したテキストと音声の自動同期機能で、製作時間の大幅な短縮を実現します。
- 自動ルビや縦書き編集（EPUB 出力時）など、日本語の編集機能が充実しています。
- 代替テキストを用いて画像への音声付加ができるため、図や写真を音声で説明できます。
- 章立てやページ等の書籍の構造化編集機能が充実しています。
- PLEXTALKProducer で作成した DAISY2.02、DAISY3、EPUB3 フォーマットの図書であれば、「DAISY インポート」機能でデータを取り込んでから再編集することが可能です。
- テキストインポート、音声インポートで今までに製作したデータを活用して DAISY 図書を作成できます。
- CD 書き込み機能を搭載し、これ 1 本で録音／編集／CD 作成まで行えます。
- 製作した DAISY の再生確認用ソフトウェアも付属しています。

1章2 DAISY について

１．DAISY とは？

DAISY とは、Digital Accessible Information SYstem の略で、「デジタル録音図書」の製作、交換、利用のための国際標準規格のことです。DAISY 図書は専用のハードウェアプレーヤや、専用のソフトウェアによって再生できます。

２．DAISY の特長

DAISY の特長には下記のものがあります。

- 情報圧縮：音声の高圧縮が可能であり、1 枚の CD メディアに最大で 90 時間の音声データを録音できます。
- 高速検索：DAISY フォーマットには、利用者が本をすばやく検索できるための機能があります。レベル 6 までの階層構造、ページ、フレーズなどにより瞬時に移動できます。

３．DAISY のバージョン

本ソフトウェアで出力できる DAISY は次の 2 種類になります。

- DAISY2.02

XHTML1.0、CSS2.1、SMIL1.0、音声などのファイルで構成された図書です。XHTML1.0 のため、ルビなど日本語固有のスタイルはサポートされていません。

- DAISY3 (ANSI/NISO Z39.86-2005)

XML1.0、CSS2.1、SMIL2.0、音声などのファイルで構成された図書です。XML ファイルの採用により DAISY2.02 より自由度が高く、ルビなど日本語固有の一部のスタイルがサポート可能となりました。

４．DAISY の種別

DAISY 図書には、次の 3 つが存在します。

- 音声 DAISY
  音声ファイルと、図書の目次やページが記述されたファイルで構成された図書です。音声の再生や任意の目次やページへの移動ができます。
- テキスト DAISY
  図書の目次やページが記述されたファイルと、本文の全てのテキストが記述されたファイルで構成された図書です。音声ファイルがないため、本文のテキストを音声合成により再生します。本文のテキスト表示が可能で、再生している箇所と同期し

て本文のテキストや画像がハイライトされます。また、目次やページへの移動の他に、表示されている任意のテキストに移動ができます。

- マルチメディア DAISY
  音声ファイルと、図書の目次やページが記述されたファイルと、本文の全てのテキストが記述されたファイルで構成された図書です。音声 DAISY とテキスト DAISY の特長を併せ持っており、本文のテキスト表示が可能で、音声の再生と同期して本文のテキストや画像がハイライトされます。

5. DAISY の検索方法について

DAISY 図書は、見出しに 1 から 6 までの階層レベルを設定できます。レベル 1 が最も高く、レベル 6 が最も低い設定値です。 例えば章・節・項から構成される図書の場合、通常、章をレベル 1、節をレベル 2、項をレベル 3 に設定します。製作者によって設定されたレベルは、利用者が変更することはできません。
本の中における特定の見出しへ移動したいとき、利用者は見出しの一覧から移動したい見出しを選択することで、読みたい見出しに素早く移動することができます。

また、DAISY 図書では、ページ番号を指定して、そのページに直接移動することができます。これを可能にするためには、製作者が、正しい場所にページを設定する必要があります。ページも、利用者によって変更することはできません。

1章3 EPUB について

１．EPUB3 とは？

EPUB とは、Electronic PUBlication の略で、電子出版や電子書籍のための国際標準規格となります。EPUB の最新バージョン EPUB 3 では DAISY と統合され新たな DAISY 図書の配布形態となりました。

２．EPUB3 の特長

EPUB 3 は DAISY の特長を備えていますが、その他にも下記の特長があります。

- 日本語組版対応：DAISY の規格では縦書きやルビは規格外でしたが、正式に対応されました。また、縦書きやルビ以外にも圏点や縦中横など新たなスタイルが盛り込まれています。
- アーカイブ：ZIP 化（拡張子は.epub）されて単一ファイルとして配布が可能とな

っています。

３．EPUB3 の種別

本ソフトウェアで出力できる EPUB3 は次の２種類になります。

- EPUB3
  テキスト DAISY の EPUB3 版となります。
- EPUB3 Media Overlays
  マルチメディア DAISY の EPUB3 版となります。

1章4 その他用語説明

１．プロジェクト

本ソフトウェアは、DAISY 図書を製作するごとに「プロジェクト」を作成します。「プロジェクト」は利用者がアクセスできない領域に作成され、製作に必要な図書のデータが管理されています。

２．作業領域

プロジェクトが作成される利用者がアクセスできない領域を「作業領域」と呼びます。「作業領域」には音声データやテキスト情報などがプロジェクトごとに保存されます。

３．データベース

「データベース」とは特定のデータを効率良く管理し、容易に検索や抽出ができるシステムのことです。「データベース」には図書の構造や書誌情報など全プロジェクトの情報が一括で管理されています。

４．セクション

ある見出しから次の見出しの直前までを「セクション」と呼びます。DAISY 図書は、1 個以上のセクションから構成され、セクションは 1 個以上のフレーズから構成されます。

５．見出し

セクションの先頭フレーズのことを「見出し」と呼びます。見出しには、そのセクションの題名が入るように設定します。DAISY プレーヤで、現在どのセクションを再生

しているのかを、利用者が確認するときに利用されます。

６．レベル

セクションにはレベルと呼ばれる値があり、DAISY 図書検索に利用されます。レベル 1 からレベル 6 まで設定することができ、レベル 1 が最も高く、レベル 6 が最も低い設定値です。例えば見出しの構成が「章・節・項」から成る図書であれば、「章」をレベル 1 に、「節」をレベル 2 に、「項」をレベル 3 に設定します。

あるセクションをレベル１に設定した場合、次のセクションはレベル１かレベル２に設定します。レベル１の次にレベル３を設定することはできません。

７．フレーズ

テキスト DAISY やマルチメディア DAISY を再生した際に、ハイライトされるテキストの範囲を「フレーズ」と呼びます。利用者に応じて「フレーズ」を分ち書き単位や句読点単位にすることができます。本ソフトウェアでは、「フレーズ」の長さを簡単に変更することが可能です。

８．ページ

「ページ」は、利用者が DAISY 図書の検索時に利用するものです。製作者は、「ページ」の切れ目（開始点）となるフレーズに対して、「ページ」を付けることができます。本ソフトウェア上で設定できるページの種類には通常・前付・特殊の３種類があります。

９．飛ばし読み

「飛ばし読み」は、DAISY 図書再生時に利用するもので、ページなどのフレーズを飛ばして読ませることができます。製作者はページの他に注釈（注番号）・注釈・製作者注・サイドバー・アノテーション・行番号の６種類を設定できます。

尚、再生環境によっては、再生時に「飛ばし読み」の設定を変更することで、飛ばさずに読むこともできます。

１０．グループ

「グループ」は、ページと同じように利用者が DAISY 図書の検索時に利用するものです。製作者は、グループの開始点となるフレーズに対して、グループを付けることができます。

例えば段落の先頭に付けておくことで、段落単位による検索が、図表説明の先頭に付けておくことで、図表説明箇所の検索ができるようになります。ただしグループはDAISY2.02 のみの規格になりますので、DAISY3 や EPUB3 はグループには対応しておりません。

１１．マーク

「マーク」とは、編集中に目印を設定することを言います。編集用のデータとなりますので、プロジェクトデータを取り出す際にはマークは引き継がれますが、DAISY もしくは EPUB 出力時には引き継がれません。

１２．インポート

「インポート」とは、プロジェクトにまとめて情報を取り込むことを言います。本ソフトウェアでは、テキストファイルを取り込む「テキストインポート」、DAISY 図書を取り込む「DAISY インポート」、プロジェクト情報を取り込む「ファイルインポート」、音声ファイルを取り込む「音声インポート」の４種類があります。
これらの機能を利用することで、過去に製作した図書の活用や、複数人による分冊作業など、効率よく製作を行うことができます。
【18 章 1 DAISY 出力対応機能一覧 参照】

１３．エクスポート

「エクスポート」とは、プロジェクトの情報をまとめて取り出すことを言います。本ソフトウェアでは、「ファイルエクスポート」が該当し、プロジェクト単位の他にセクション単位で情報を取り出すことができます。

１４．ビルドブック

「ビルドブック」とは、編集を行ったプロジェクトから DAISY または EPUB 形式に製本することを言います。
【18 章 1 DAISY 出力対応機能一覧 参照】

2章 セットアップ

この章では、PLEXTALKProducer をお使い頂けるようになるまでの手順などについて説明します。

<注意>

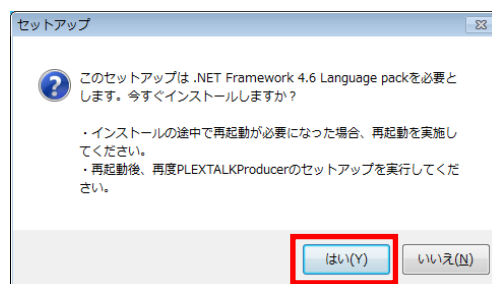
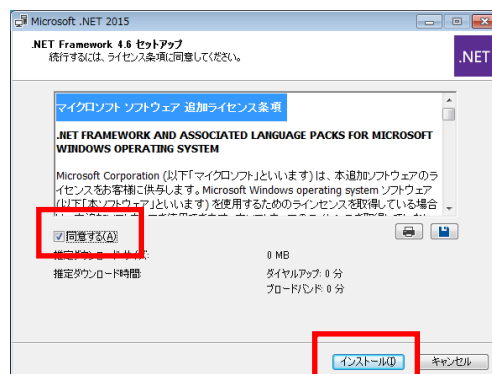
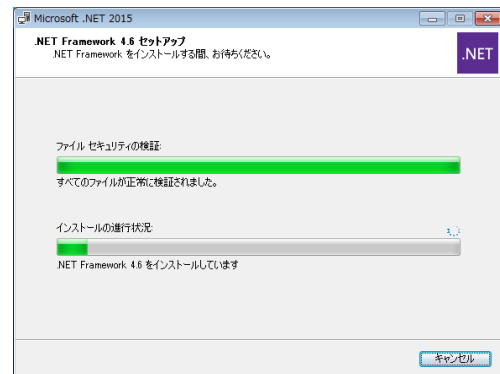
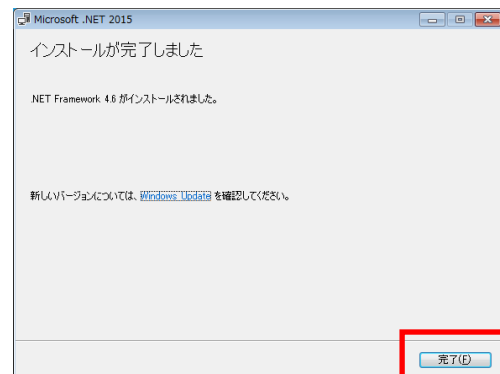
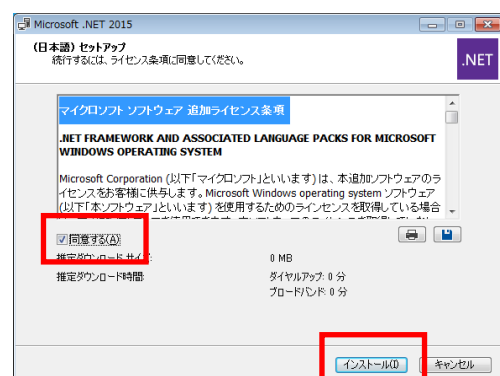
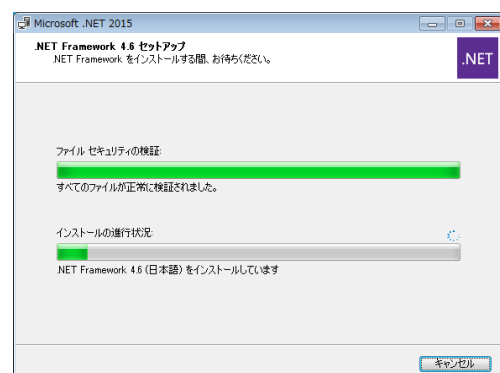
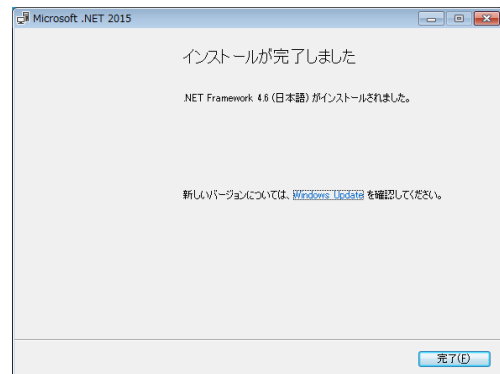
- この章以降の画面表示、手順は Windows 7 を例としています。他の OS や環境により画面表示や手順が異なる場合があります。
- インストールDVD をDVD ドライブに入れてもインストールが始まらない場合は、DVD のルートフォルダにある Setup.exe を実行してください。

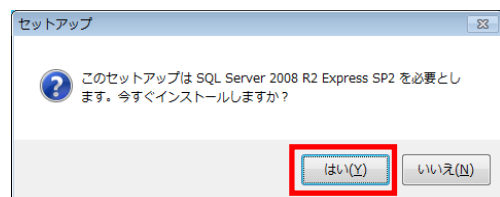
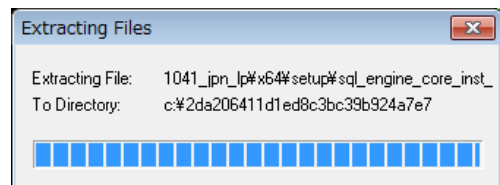
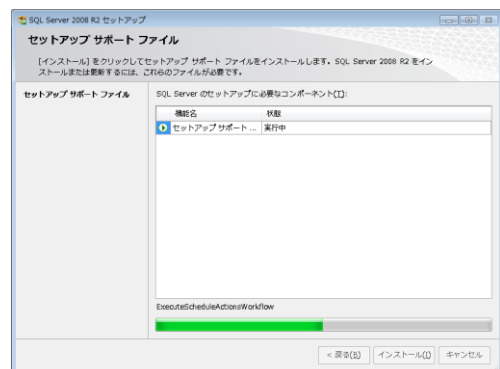
2章1 関連するソフトウェアをインストールする

PLEXTALKProducer を利用する上で必要なソフトウェアのインストールを行います。
尚、既にインストールされているソフトウェアはインストールされません。

2.1.1 .NET Framework 4.6 をインストールする

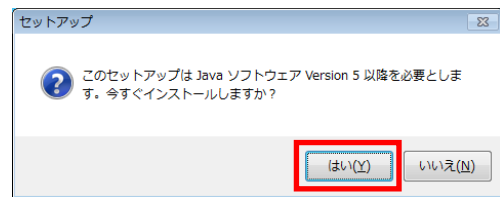
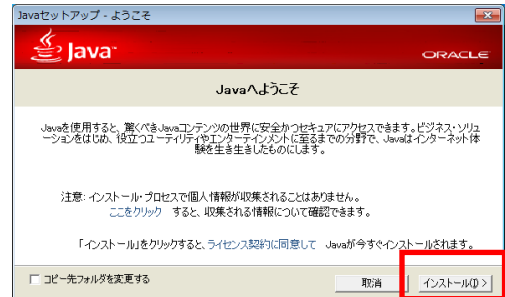
1 インストール DVD を DVD ドライブに入れます。

2 .NET Framework のインストールメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。

3 暫くすると［.NET Framework 4.6 セットアップ］が表示されます。ライセンス条項をお読みになり、全ての条項に同意する場合は［同意する］をクリックして［インストール］をクリックします。
尚、同意できない場合は［キャンセル］をクリックし、インストールを中止してください。

4 ［.NET Framework 4.6 セットアップ］で進行状況が表示されますので、そのまま待機します。

5 ［インストールが完了しました］が表示されますので、［完了］をクリックします。

6 ［(日本語)セットアップ］が表示されます。ライセンス条項をお読みになり、全ての条項に同意する場合は［同意する］をクリックして［インストール］をクリックします。
尚、同意できない場合は［キャンセル］をクリックし、インストールを中止してください

7 ［.NET Framework 4.6 セットアップ］で進行状況が表示されますので、そのまま待機します。

8 ［インストールが完了しました］が表示されますので、［完了］をクリックして終了します。

2.1.2 SQL Server 2008 R2 Express をインストールする

1 SQL Server のインストールメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。

2 ［Extracting Files］が表示されますので、そのまま待機します。

3 暫くすると［セットアップサポートファイル］が表示されますので、そのまま待機します。

4 暫くすると［インストールの進行状況］が表示されますので、そのまま待機します。

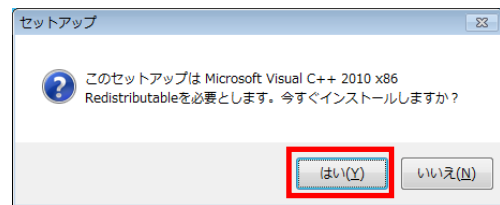
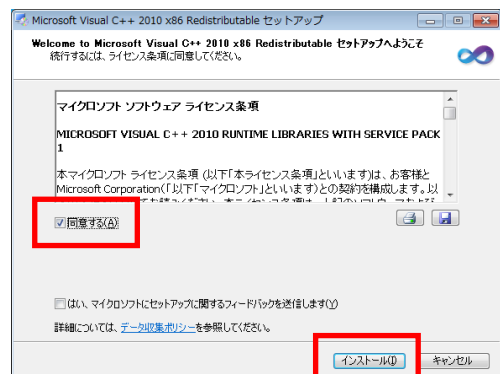
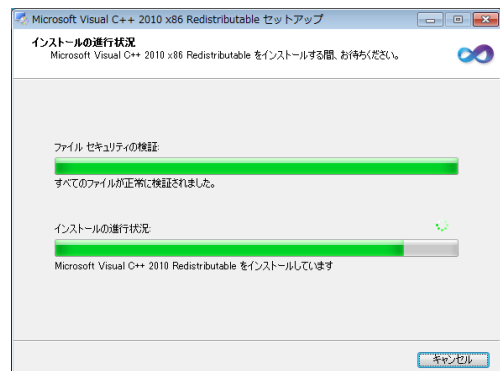
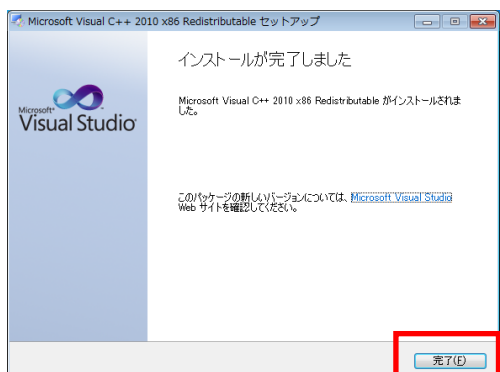
5 暫くすると全ての画面が閉じインストールが終了します。

2.1.3 Java をインストールする

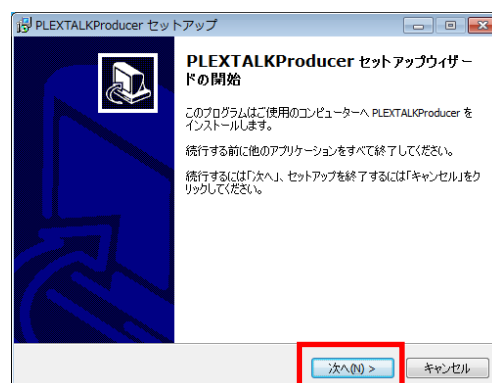
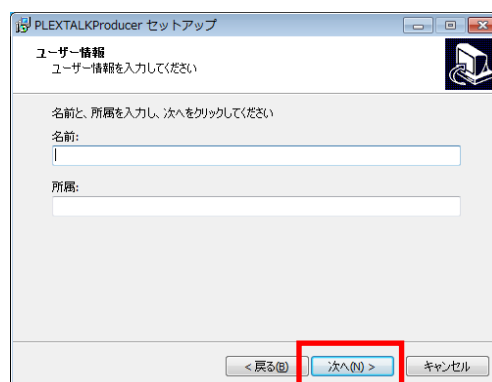
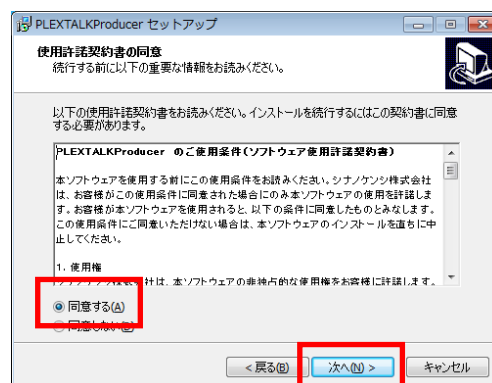
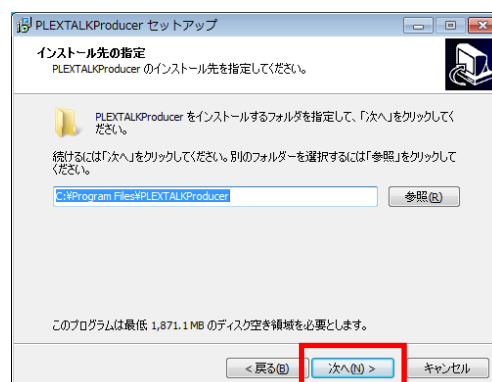
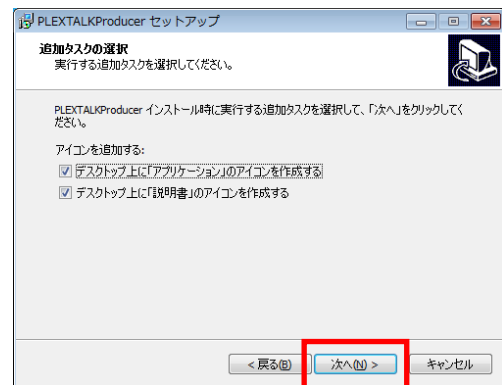
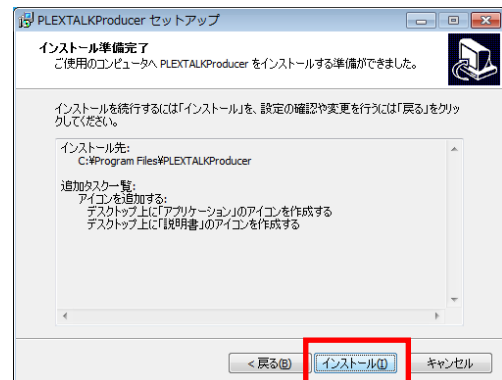
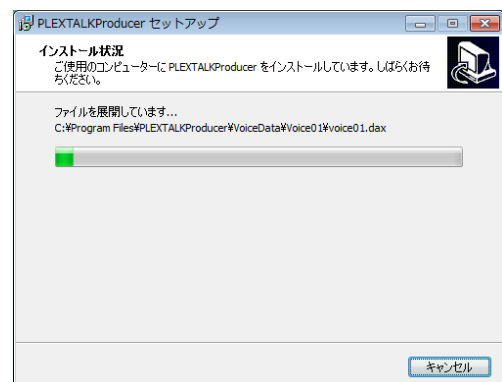
1 Java のインストールメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。

2 ［Java セットアップ – ようこそ］が表示されますので、［インストール］をクリックします。

3 ［Java セットアップ – 進行中］が表示されますので、そのまま待機します。

4 ［Java セットアップ – 完了］が表示されますので、［閉じる］をクリックして終了します。

2.1.4 Microsoft Visual C++ランタイムをインストールする

1 ランタイムのインストールメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。

2 ［マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項］が表示されますので、ソフトウェアライセンス条項をお読みになり、全ての条項に同意する場合は［同意する］をクリックして［インストール］をクリックします。
尚、同意できない場合は［キャンセル］をクリックし、インストールを中止してください。

3 ［インストールの進行状況］が表示されますので、そのまま待機します。

4 ［インストールが完了しました］が表示されますので、［完了］をクリックして終了します。

2章2 PLEXTALKProducer をインストールする

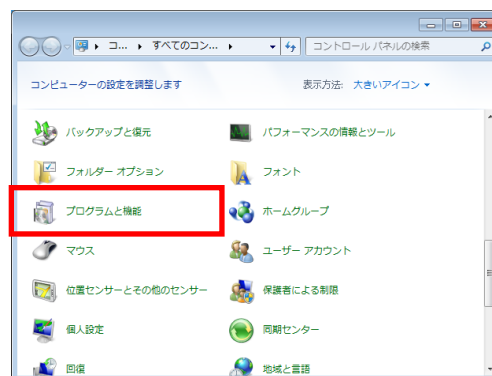
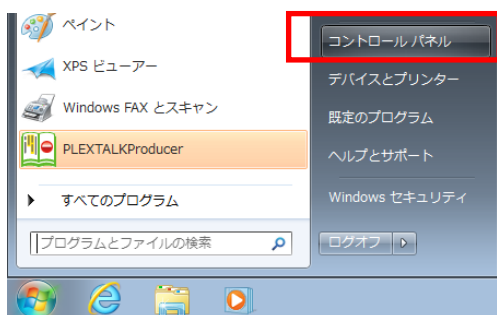
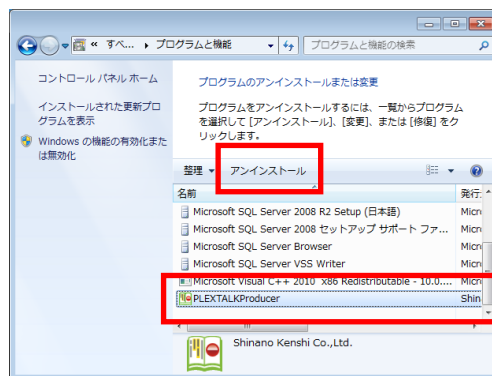
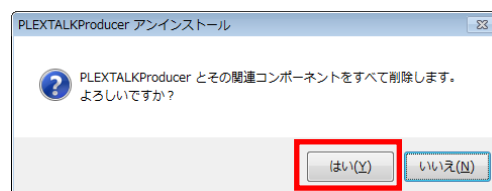
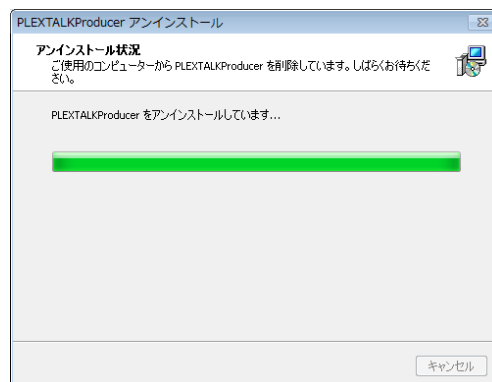
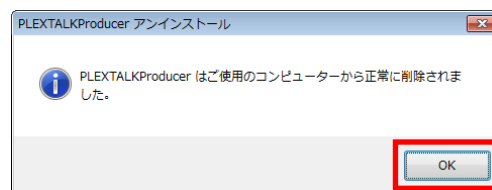
1 インストール DVD を DVD ドライブに入れます。

2 ［PLEXTALKProducer セットアップウィザードの開始］が表示されますので、［次へ］をクリックします。

3 ［ユーザー情報］が表示されますので、名前と所属を入力し、［次へ］をクリックします。

4 ［使用許諾契約書の同意］が表示されますので、ソフトウェア使用許諾契約書をお読みになり、全ての条項に同意する場合は［同意する］をクリックして［次へ］をクリックします。
尚、同意できない場合は［いいえ］をクリックし、インストールを中止してください。

5 ［インストール先の指定］が表示されます。インストール先を確認し［次へ］をクリックします。インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックしてインストール先を指定してください。

6 ［追加タスクの選択］が表示されますので、［次へ］をクリックします。
尚、デスクトップ上にアイコンを作成しない場合は、クリックしてチェックを外してください。

7 ［インストール準備完了］が表示されたら、設定内容を確認し、［インストール］をクリックします。

8 ［インストール状況］が表示され、インストールが開始します。
尚、インストールを中止する場合は、［キャンセル］をクリックしてください。

9 ［PLEXTALKProducer セットアップウィザードの完了］が表示されますので、［完了］をクリックしてセットアップを終了します。

2章3 PLEXTALKProducer をアンインストールする

<注意>

● ライセンス認証が解除されていない場合はアンインストールが行えません。
PLEXTALKProducer を起動し、ライセンス認証を解除してから再度アンインストールをしてください。【2 章 5 ライセンス認証を解除する 参照】

1 スタートメニューから ［コントロールパネル］をクリックし、コントロールパネル内の［プログラムと機能］をクリックします。

2 ［プログラムのアンインストールまたは変更］から［PLEXTALKProducer］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

3 ［PLEXTALKProducer アンインストール］が表示されますので、［はい］をクリックします。

4 ［アンインストール状況］が表示されますので、そのまま待機します。

5 アンインストール終了のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックしてアンインストールを終了します。

2章4 ライセンスを認証する

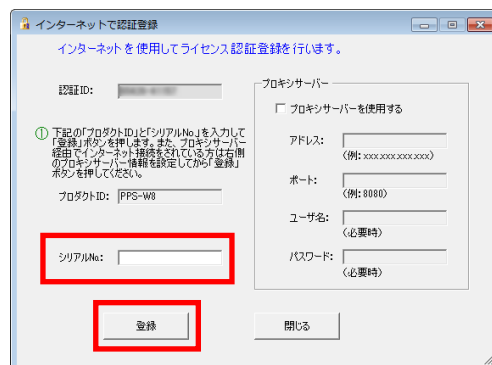
PLEXTALKProducer をご利用いただくには、ライセンス認証を行う必要があります。ライセンス認証に必要なシリアル No.は本ソフトウェアに付属している［シリアル No.のご案内］に記載されています。

<注意>

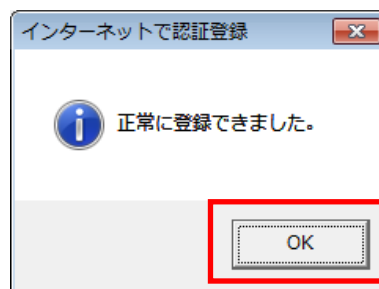
- 初回起動時から 30 日間はライセンス認証を行わなくても体験版として利用できます。30 日経過後は、ライセンス認証を行わないと本ソフトウェアは使用できません。尚、体験版には機能制限があり、ビルドブックやエクスポートの利用ができません。

1 PLEXTALKProducer を起動します。
【4 章 1 起動する 参照】

2 ［PLEXTALKProducer 体験版］が表示されますので、［ライセンス認証］をクリックします。

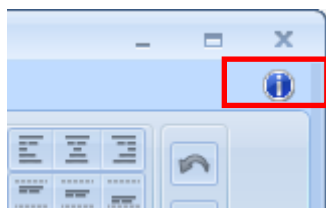
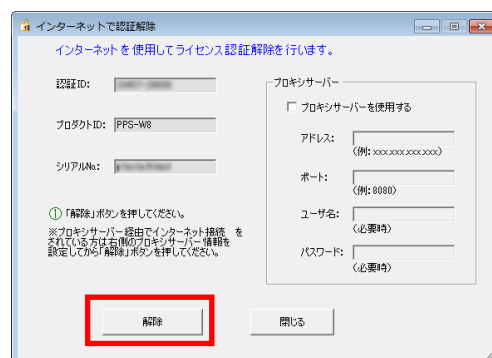
3　［インターネットで認証登録］が表示されますので、［シリアル No.］を入力し［登録］をクリックします。

<注意>

- ライセンス認証にはインターネット回線が必要です。インターネットへの接続を行ってから認証をしてください。
- プロキシサーバーを経由してインターネットへアクセスしている場合は、プロキシサーバーの設定を行ってください。プロキシサーバーの設定については、ネットワーク責任者にお問い合わせください。

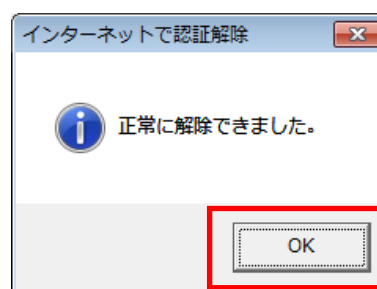
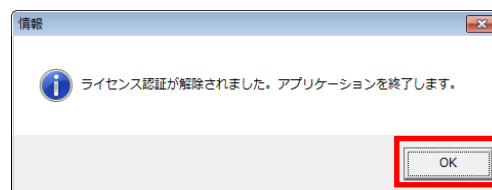
4　登録完了のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックして終了します。

<注意>

- ライセンス認証後、下記の弊社ホームページにてユーザー登録をお願いします。ユーザーを登録すると弊社製品に関する更新情報を随時連絡させて頂きます。　www.plextalk.com/jp/proregi.php

2章5 ライセンス認証を解除する

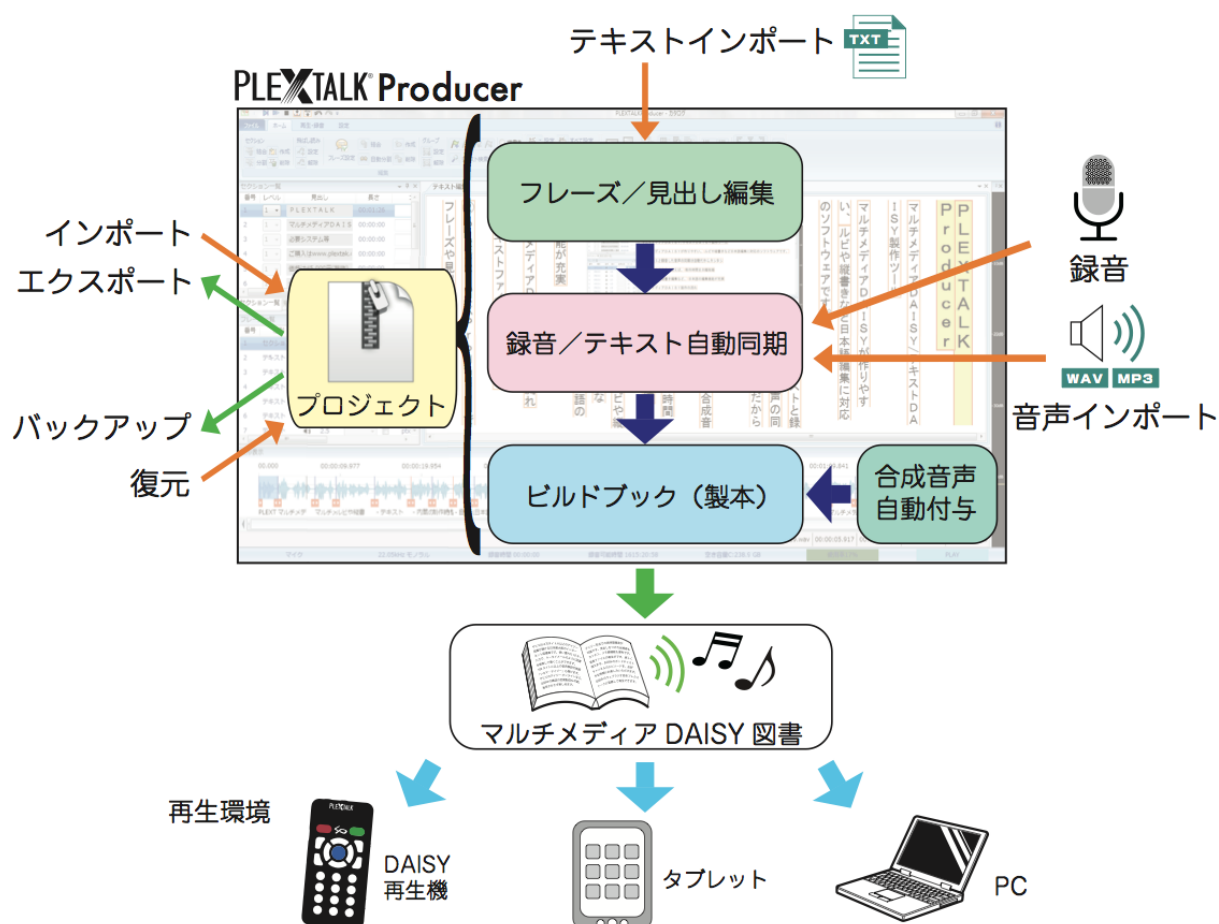
1　リボン右上の［ i ］をクリックして［バージョン情報］を表示し、［ライセンス認証の解除］をクリックします。

2　［インターネットで認証解除］が表示されますので、［解除］をクリックします。

<注意>

- ライセンス認証の解除には認証同様インターネット回線が必要です。

3　解除完了のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

4　アプリケーション終了のメッセージが表示されますので、［OK］をクリックして終了します。

3章 図書の製作について

この章では、本ソフトウェアによる図書製作の流れについて説明します。

3章1 プロジェクトについて

本ソフトウェアは、DAISY 図書を製作するごとにプロジェクトを作成します。プロジェクトは、本ソフトウェアで DAISY 図書を製作する上で必要なファイルをまとめて管理しており、テキストや音声、画像、その他の設定情報などが含まれています。
全てのプロジェクトを一括で管理しているため、過去に製作したプロジェクトも簡単に開くことができます。
プロジェクトはビルドブックをすることで、再生環境に合わせた DAISY 図書形式に出力することができます。

3章2 図書製作の流れについて

本ソフトウェアによる図書製作の流れを説明します。

1．新規プロジェクトの作成

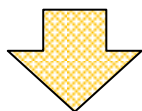
図書を製作するには、まず新規にプロジェクトを作成します。
【5 章 1 新規にプロジェクトを作成する 参照】

2．テキストの取り込み

元になるテキストデータをプロジェクトに取り込みます。
【6 章 インポート、エクスポート 参照】

3．テキストを編集

取り込まれたテキストに対し、図書の構成を設定したり、スタイルの設定や画像などを挿入します。
【8 章 編集 参照】

4．音声の付加

必要に応じて録音を行います。尚、音声合成を利用することで録音作業が省略できます。
【10 章 録音 参照】

5．書誌情報の記述

タイトル名、著書名などの書誌情報を入力します。
【12 章 書誌情報 参照】

6．ビルドブック

データが完成したら、［ビルドブック］でプロジェクトファイルから DAISY 形式のファイルを出力します。
【13 章 ビルドブック 参照】

7．CD への書込み

配布用として、CD に書込みを行います。
【14 章 CD 書き込み 参照】

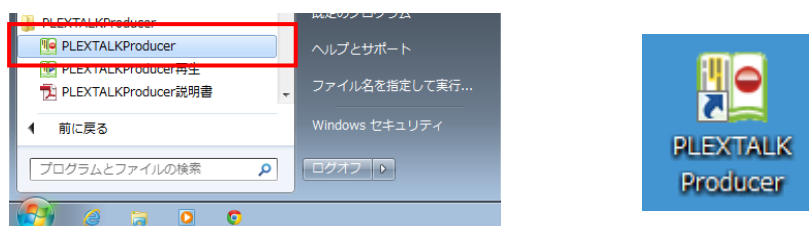
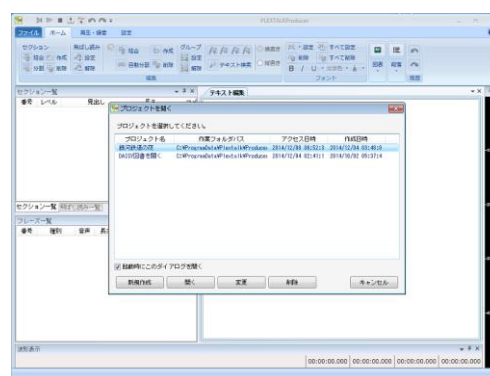
＜注意＞

● 定期的にバックアップすることをおすすめします。バックアップはプロジェクトが破損した際の復元や編集を遡ってやり直す場合に有効です。

4章 起動と終了

この章では、本ソフトウェアの起動や終了方法、また画面構成について説明します。

4章1 起動する

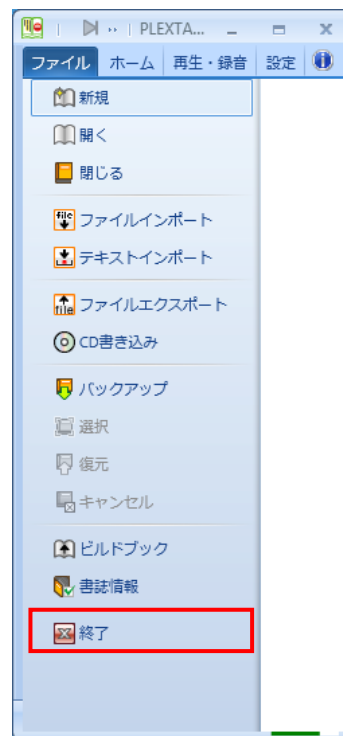
1 スタートメニューから［すべてのプログラム］、［PLEXTALKProducer］をクリックするか、デスクトップ上のショートカット［PLEXTALKProducer］をダブルクリックして起動します。

2 本ソフトウェアが起動して、［プロジェクトを開く］が表示されます。

<ポイント>

- ［起動時にこのダイアログを開く］のチェックを外すと、次回起動時は［プロジェクトを開く］が起動時に表示されません。

<注意>

- Windows 起動後の初回起動時は、本ソフトウェアで使用している.NET Framework の起動などにより表示されるまで時間がかかる場合があります。２回目以降はそれらが既に起動された状態となるため、初回起動時より早く表示が可能となります。

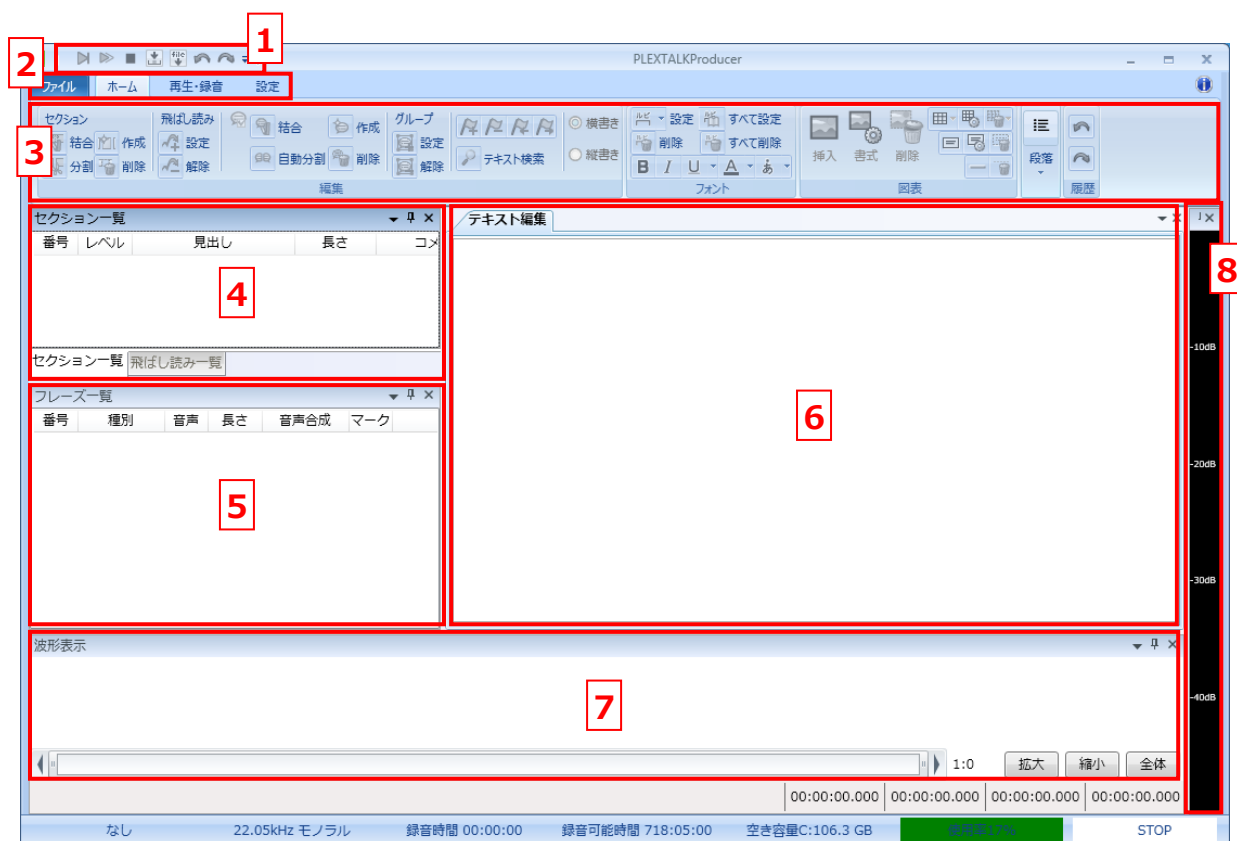
4章2 終了する

1 リボン［ファイル］の［終了］をクリックします。

<注意>

● 本ソフトウェアには［保存］または［上書き保存］はありません。作成または編集した内容は上書き保存されますが、万一に備えて定期的にバックアップすることをおすすめします。

4章3 各部名称と働きについて

本ソフトウェアのメイン画面は、リボンで構成されるメニューと、セクション一覧・飛ばし読み一覧・フレーズ一覧・テキスト編集・波形表示・レベルメーターの各画面で構成されます。

4.3.1 メイン画面について

	項目	説明
1	クイックアクセスツールバー	よく使用する機能を表示する小さくてカスタマイズ可能なツールバーです。
2	タブ	［ファイル］［ホーム］［再生・録音］［設定］の４つのタブから構成されます。
3	リボン	タブで選択したメニュー項目が表示されます。
4	セクション一覧 飛ばし読み一覧	プロジェクトに含まれるセクション、飛ばし読みの一覧を表示します。［セクション一覧］・［飛ばし読み一覧］タブを切り替えて使います。
5	フレーズ一覧	選択しているセクションに含まれるフレーズの一覧を表示します。フレーズごとにマークやコメント、音声合成の設定をすることができます。
6	テキスト編集	選択しているセクションのテキストを編集します。文字の入力・削除、図表の挿入、スタイルの設定などを行います。
7	波形表示	選択しているセクションの音声を表示します。テキストと音声の同期位置の変更や、波形の編集などを行います。
8	レベルメーター	再生や録音時の音声レベルを表示します。

<ポイント>

- 各画面は個別の移動や配置の変更が自由にできます。例えば波形表示を別画面で確認することができます。
- 各画面にはコンテキストメニュー（右クリックで表示されるメニュー）が設定されています。

4.3.2 ファイルタブについて

プロジェクトの作成やデータの取り込み、出力など、
プロジェクトに関する機能で構成されています。
【5 章 プロジェクト 参照】
【6 章 インポート、エクスポート 参照】
【7 章 バックアップ 参照】

4.3.3 ホームタブについて

DAISY 図書製作でよく利用される図書の構成やテキストのスタイル設定などの機能で構成されています。
【8 章 編集 参照】

4.3.4 再生・録音タブについて

再生や録音に関する機能で構成されています。

【9 章 再生 参照】

【10 章 録音 参照】

4.3.5 設定タブについて

各種機能の設定や画面構成に関する機能で構成されています。

【15 章 各種設定 参照】

<ポイント>

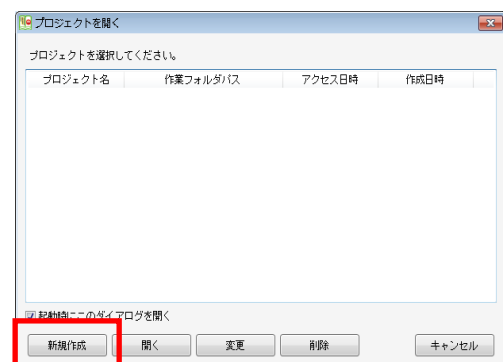
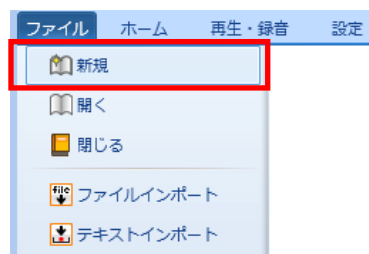
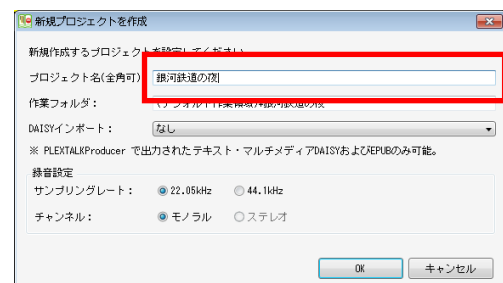
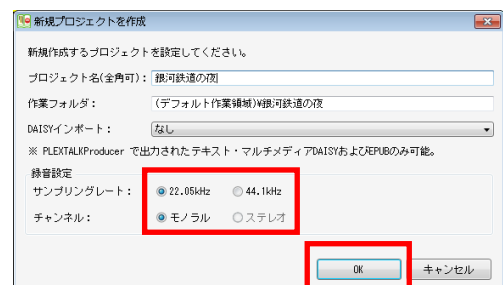
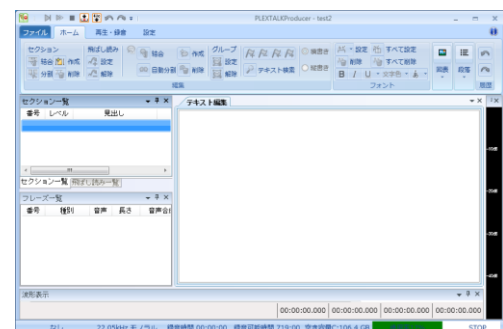
- タブ内の全ての機能にはショートカットキーが設定されています。
  【18 章 2 ショートカットキー一覧 参照】

5章 プロジェクト

この章では、プロジェクトの操作に関して説明します。

5章1 新規にプロジェクトを作成する

5.1.1 空のプロジェクトを作成する

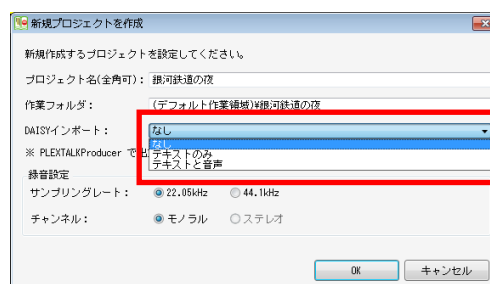
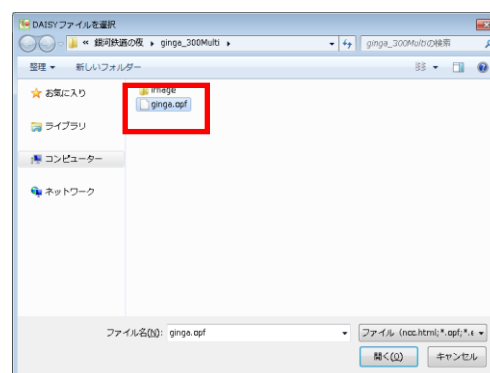
1 ［PLEXTALKProducer］を起動すると［プロジェクトを開く］が表示されますので、［新規作成］をクリックします。もしくはリボン［ファイル］の［新規］をクリックします。

2 ［新規プロジェクトを作成］が表示されますので、［プロジェクト名］を入力します。

3 プロジェクトの録音設定をします。サンプリングレートとチャンネルを選択し、［OK］をクリックします。

4 作成されたプロジェクトが表示されます。

<ポイント>

- 入力したプロジェクト名は書誌情報のタイトルに設定されます。
【12 章 書誌情報 参照】
- 選択した録音設定で音声ファイルは管理されます。プロジェクト内では PCM 音声で管理しているため、編集による音声の劣化はありません。
- サンプリングレート 22.05kHz を選択した場合はモノラルの設定となり、44.1kHz を選択した場合はステレオの選択が行えます。

<注意>

- ここで設定した録音設定は後から変更することはできません。

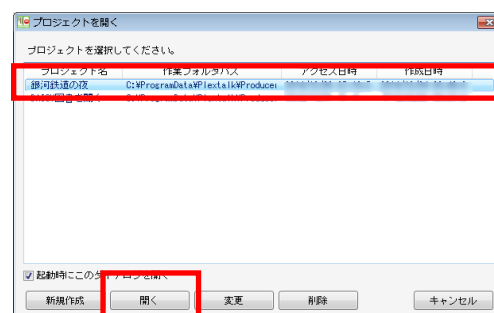
5.1.2 DAISY 図書からプロジェクトを作成する

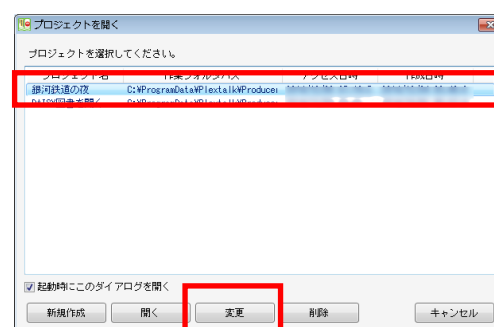
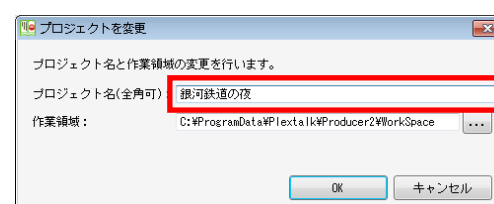
1 DAISY 図書を元にプロジェクトを作成する場合は、［DAISY インポート］の中から［テキストのみ］または［テキストと音声］を選択し、［OK］をクリックします。

2 ［DAISY ファイルを選択］が表示されますので、元にする DAISY 図書ファイルを選択して［開く］をクリックします。

<注意>

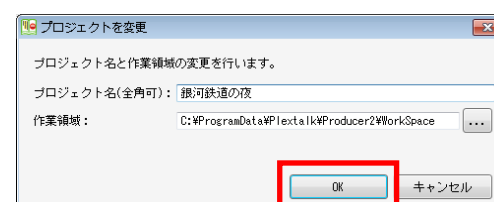
- 取り込める DAISY 図書は本ソフトウェアで製作された図書のみとなります。

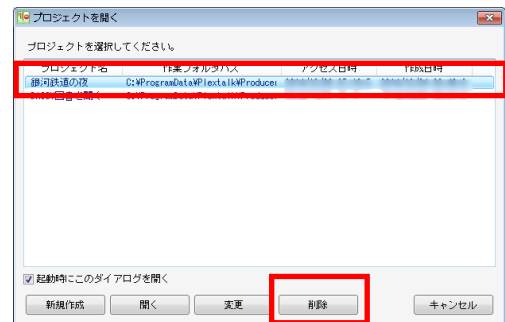
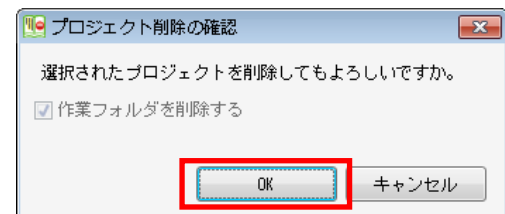
5章2 過去に作成したプロジェクトを開く

5.2.1 プロジェクトを開く

1　［PLEXTALKProducer］を起動、もしくはリボン［ファイル］の［開く］をクリックすると［プロジェクトを開く］が表示されますので、編集を行うプロジェクトを選択し、［開く］をクリックします。

5.2.2 プロジェクトを変更する

1　［プロジェクトを開く］で変更を行うプロジェクトを選択し、［変更］をクリックします。

2　［プロジェクトを変更］が表示されますので、［プロジェクト名］でプロジェクト名を変更することができます。

3　［作業領域］の［...］をクリックすると、［フォルダの参照］が表示されますので、作業領域を選択します。

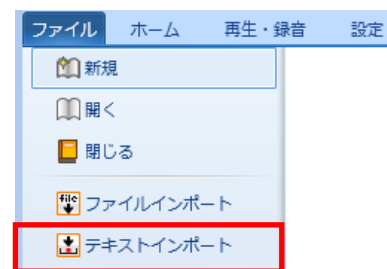
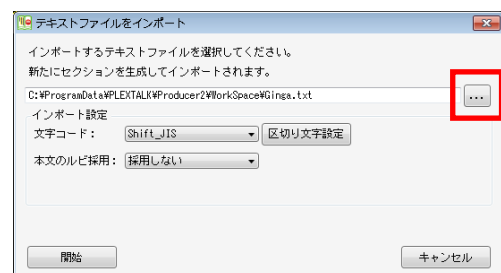
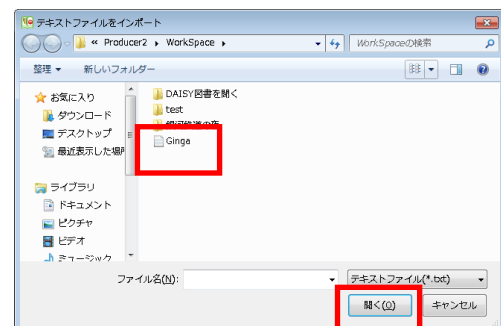
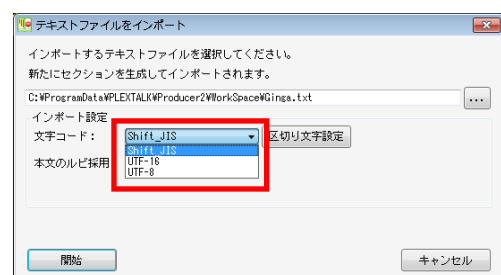
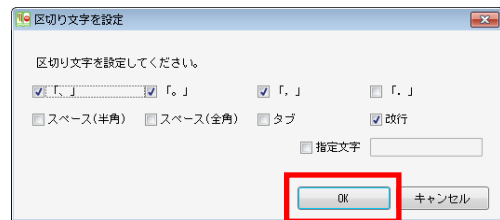
4　［OK］をクリックすると選択したフォルダが作業領域として設定されます。

5.2.3 プロジェクトを削除する

1 ［プロジェクトを開く］で削除するプロジェクトを選択し、［削除］をクリックします。

2 削除の確認メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

6章 インポート、エクスポート

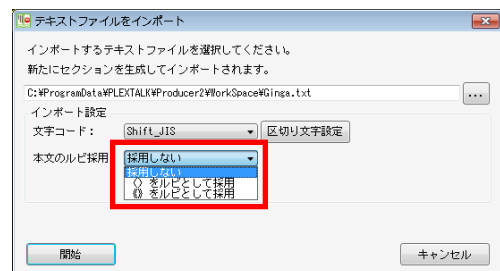
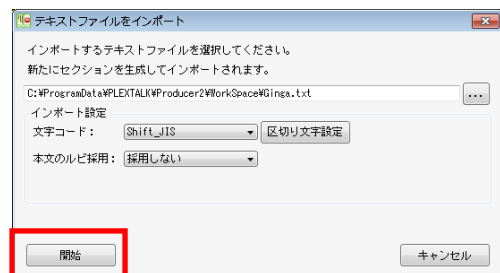
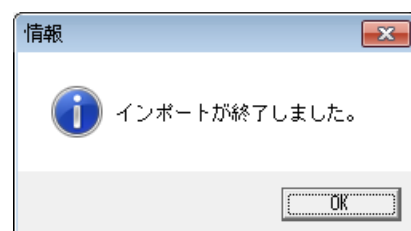
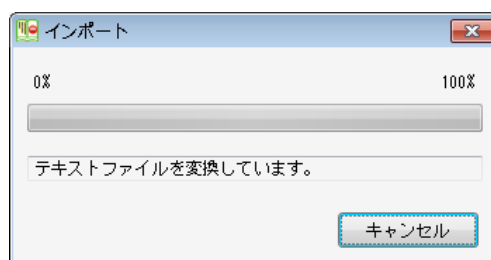
この章では、プロジェクトにデータを取り込んだり、データを取り出したりする操作について説明します。

6章1 他のテキストを取り込む

テキストインポートは､他で作成したテキストデータをプロジェクトに取り込みます。

1 リボン［ファイル］の［テキストインポート］をクリックします。

2 ［テキストファイルをインポート］が表示されるので、［…］をクリックします。

3 取り込むテキストファイルを選択し､［開く］をクリックします。

4 ［テキストファイルをインポート］の［文字コード］の中から取り込むテキストの文字コードを選択します。

5 ［区切り文字指定］で本文をフレーズに区切る文字を設定します。

<ポイント>

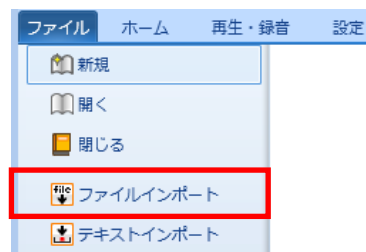
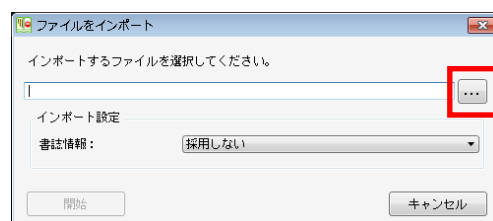
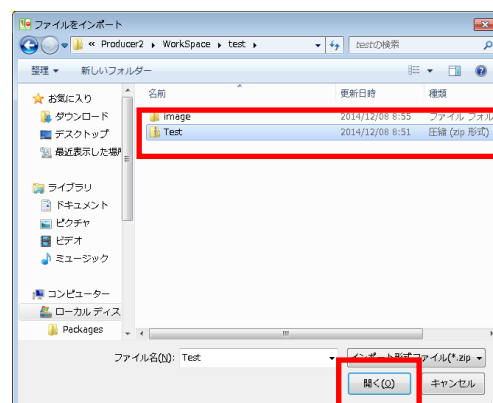
- ［指定文字］は任意の区切り文字・記号を１文字ごと複数指定が可能です。
- 指定した区切り文字が連続する場合は、最後の区切り文字で区切られます。

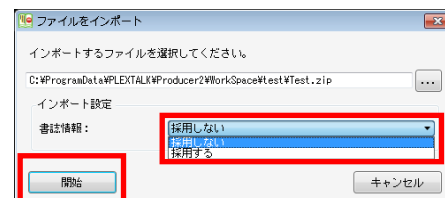
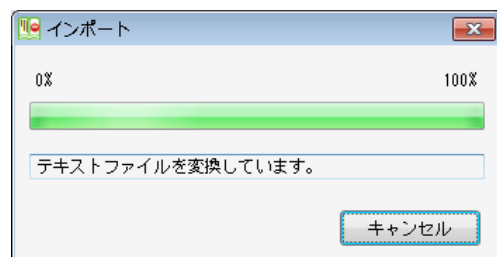
6 取り込むテキストに括弧でルビが設定されている場合は、［本文のルビ採用］の中からルビに使用されている括弧の種類を選択します。

7 ［開始］をクリックすると、テキストインポートが開始します。

8 テキストインポートが完了すると終了メッセージが表示されますので、［OK]をクリックします。

<ポイント>

- テキストインポートごとに新たにセクションが作成されます。取り込みたいテキストはセクションごとに区切って取り込んでください。

6章2 他で編集したプロジェクトを取り込む

ファイルインポートは、他のプロジェクトを取り込みます。分担して編集した複数のプロジェクトを１つにまとめたり、セクションを流用したりすることができます。

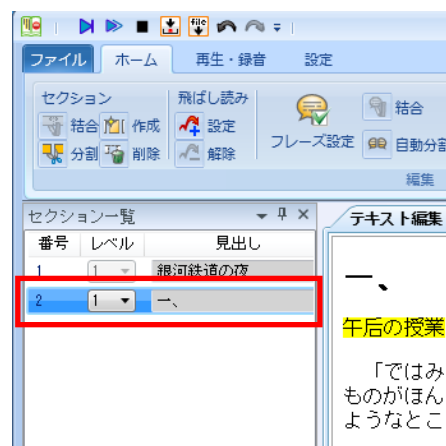
1 リボン［ファイル］の［ファイルインポート］をクリックします。

2 ［ファイルをインポート］が表示されますので、[…]をクリックしてします。

3 取り込むファイルを選択し、[開く]をクリックします。

4 ［インポート設定］［書誌情報］の中から［採用しない］／［採用する］を選択し、［開始］をクリックします。

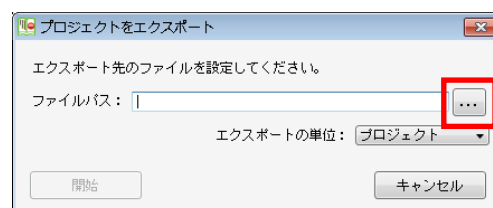
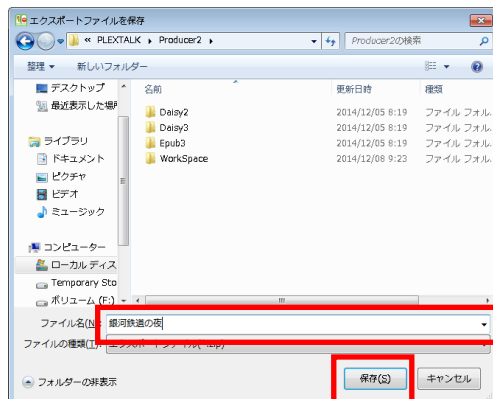
設定	説明
採用しない	書誌情報は上書きされません。
採用する	プロジェクトの書誌情報を取り込むファイルの書誌情報で上書きします。

5 ファイルインポートが完了すると終了メッセージが表示されますので、 [OK]をクリックします。

<注意>

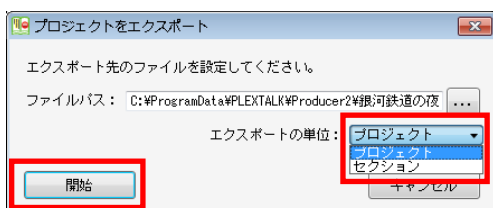
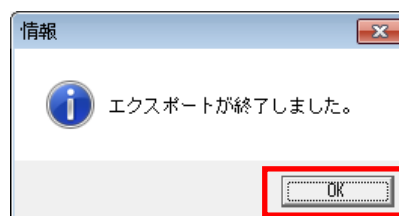
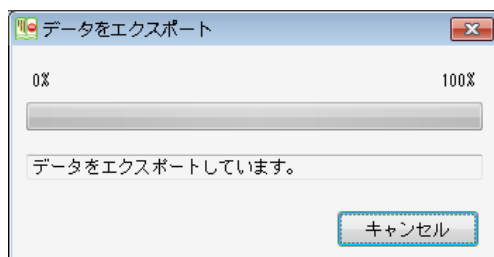
- ファイルインポートできるのは本ソフトウェアで取り出したプロジェクトファイルのみです。

6章3 編集中のプロジェクトを取り出す

ファイルエクスポートはプロジェクトを他のプロジェクトに取り込める形式で取り出します。プロジェクト単位やセッション単位での取り出しができます。

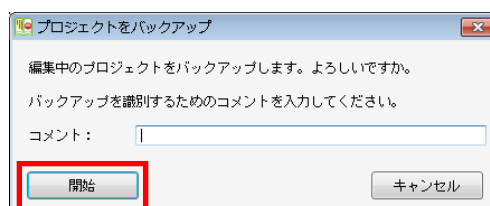
1 任意のセクションを取り出す場合は、取り出すセクションを［セクション一覧］で選択します。

2 リボン［ファイル］の［ファイルエクスポート］をクリックします。

3　[プロジェクトをエクスポート] が表示されますので、 […]をクリックします。

4　取り出し先を選択し、ファイル名を設定して[OK]をクリックします。

5　[エクスポートの単位]の中からエクスポートの単位を選択し、[開始]をクリックします。

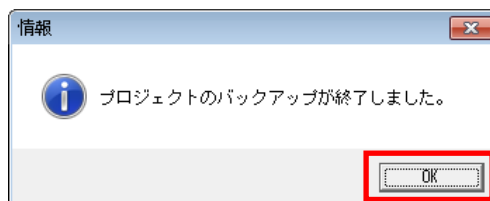
エクスポートの単位	説明
プロジェクト	開いているプロジェクトを取り出します。
セクション	選択されているセクションを取り出します。

6　ファイルエクスポートが完了すると終了メッセージが表示されますので、 [OK]をクリックします。

7章 バックアップ

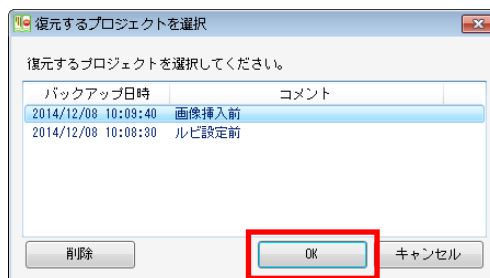
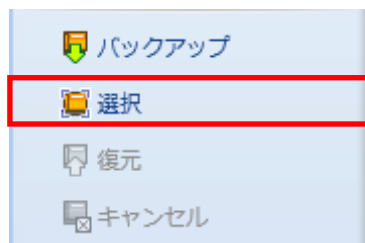
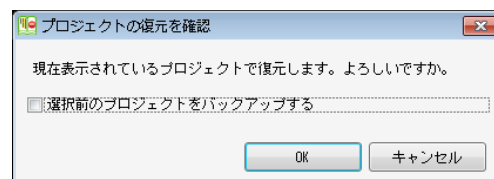
この章では、プロジェクトを複製し、複製した時点のプロジェクトへ復旧する操作などについて説明します。プロジェクトを複製することで、仮にプロジェクトが破壊されてしまった場合でも、複製した時点へ戻ることができます。

7章1 プロジェクトを複製する

1 リボン［ファイル］の［バックアップ］をクリックします。
［プロジェクトをバックアップ］が表示されますので、［開始］をクリックします。

<ポイント>

● コメントを入力することで、復旧時の判別が容易になります。

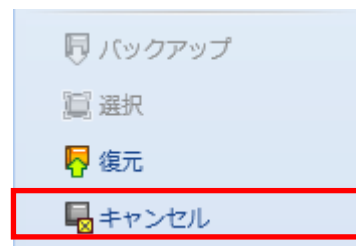
2 バックアップが完了すると終了メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

7章2 プロジェクトを復旧する

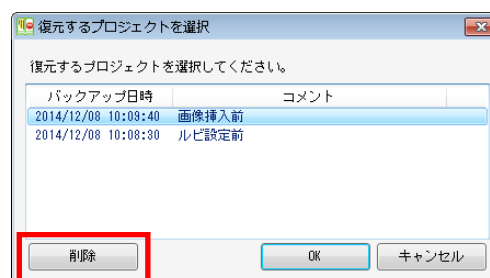
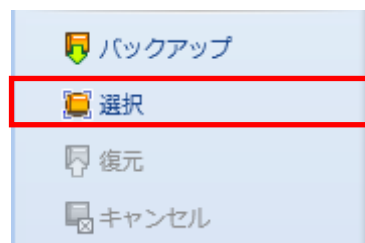
1 リボン［ファイル］の［選択］をクリックします。
［復元するプロジェクトを選択］が表示されますので、復元したいプロジェクトを選択して［OK］をクリックします。

2 表示されたプロジェクトを確認し、復元したい時点のプロジェクトであれば、リボン［ファイル］の［復元］をクリックします。
［プロジェクトの復元を確認］が表示されますので、［OK］をクリックします。

<ポイント>

● 復元を行うと、現時点のプロジェクトが選択した時点のプロジェクトで上書きされます。現時点のプロジェクトを残したい場合は［選択前のプロジェクトをバックアップする］をチェックします。

<注意>

● 複製されたプロジェクトが表示されている時は全ての編集が行えません。

3 リボン［ファイル］の［キャンセル］をクリックすることで、複製されたプロジェクトを閉じて、選択する前のプロジェクトを表示します。

7章3 複製したプロジェクトを削除する

1 リボン［ファイル］の［選択］をクリックします。
［復元するプロジェクトを選択］が表示されますので、削除したいプロジェクトを選択して［削除］をクリックします。

＜注意＞

- バックアップはプロジェクトのデータが全て複製されます。空き容量が少なくなった場合は複製したプロジェクトを削除して下さい。

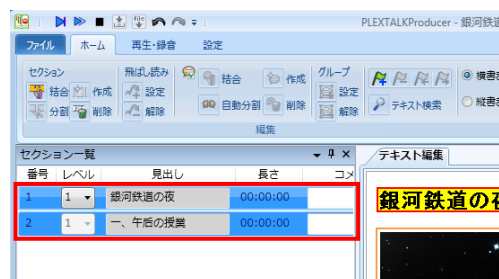
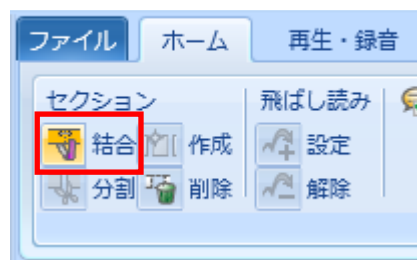
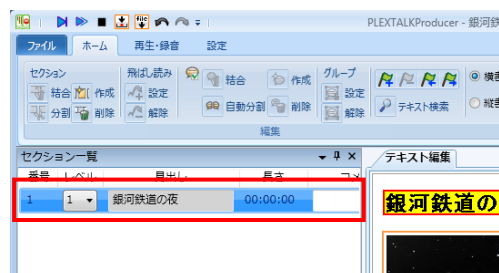
8章 編集

この章では、図書の構成に関する設定やテキストに様々なスタイルを設定する操作などについて説明します。

8章1 セクション

8.1.1 セクションを結合する

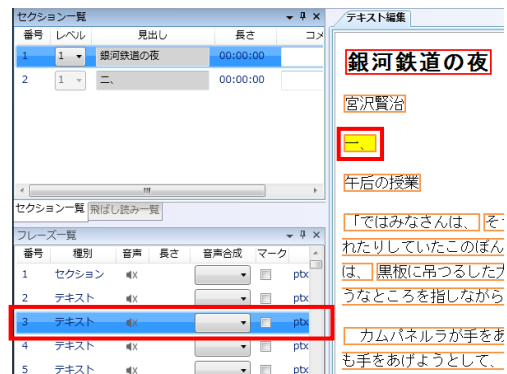
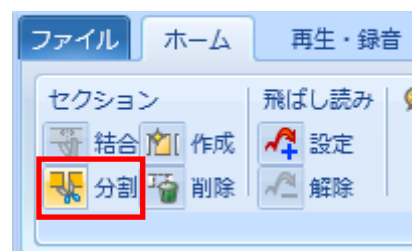
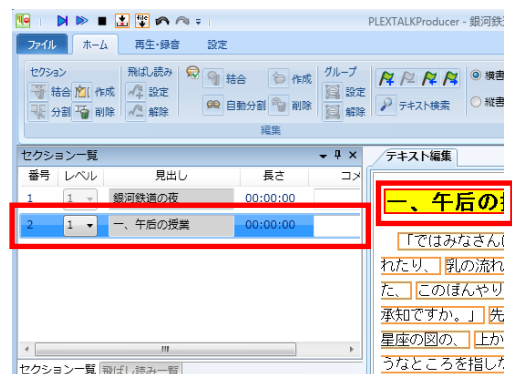
セクション結合は、複数のセクションを１つのセクションに結合します。

1 ［セクション一覧］で結合する複数のセクションをクリックします。

2 リボン［ホーム］の［セクション］［結合］をクリックします。

3 選択したセクションが１つのセクションに結合されます。

<注意>

- 一度に結合できるセクションは 1000 個までです。

8.1.2 セクションを分割する

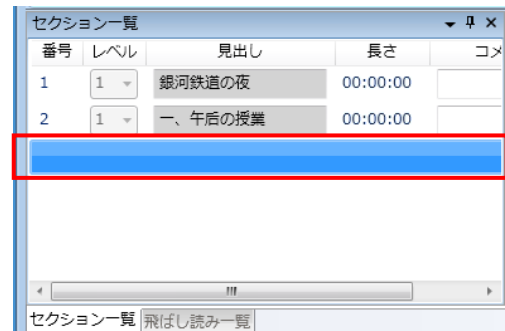
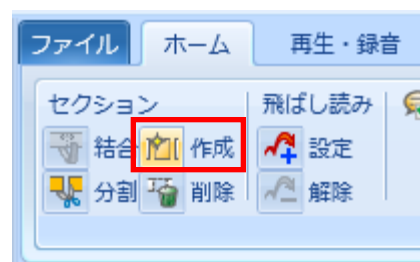
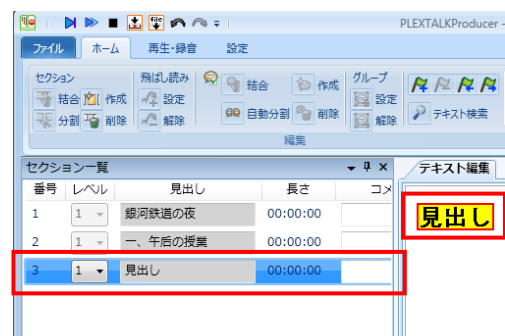
セクション分割は、選択したフレーズ以降を次のセクションに分割します。

1 ［フレーズ一覧］で、分割したい位置のフレーズをクリックします。または、［テキスト編集］でフレーズをクリックします。

2 リボン［ホーム］の［セクション］［分割］をクリックします。

3 選択したフレーズから次のセクションとなります。

<注意>

- 飛ばし読みやグループが設定されている箇所では分割できません。

8.1.3 セクションを作成する

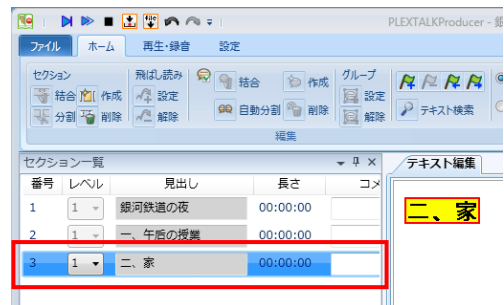
セクション作成は、選択しているセクションの前に新しいセクションを作成します。

1 ［セクション一覧］で作成する位置の次のセクションをクリックします。

2 リボン［ホーム］の［セクション］［作成］をクリックします。

3 新しいセクションが作成されます。

<ポイント>

- テキストインポートでテキストを取り込むごとにセクションが作成されます。
  【6 章 1 他のテキストを取り込む 参照】
- 最後に作成する場合は末尾の空セクションを選択します。
- コメントを記述することで、作成したセクションの見直しなどに活用できます。

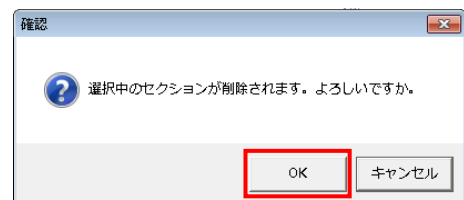
8.1.4 セクションを削除する

セクション削除は、選択しているセクションを削除します。

1　［セクション一覧］で削除するセクションをクリックします。

<ポイント>

● 複数のセクションを選択することで、まとめて削除が行えます。

2　リボン［ホーム］の［セクション］［削除］をクリックします。

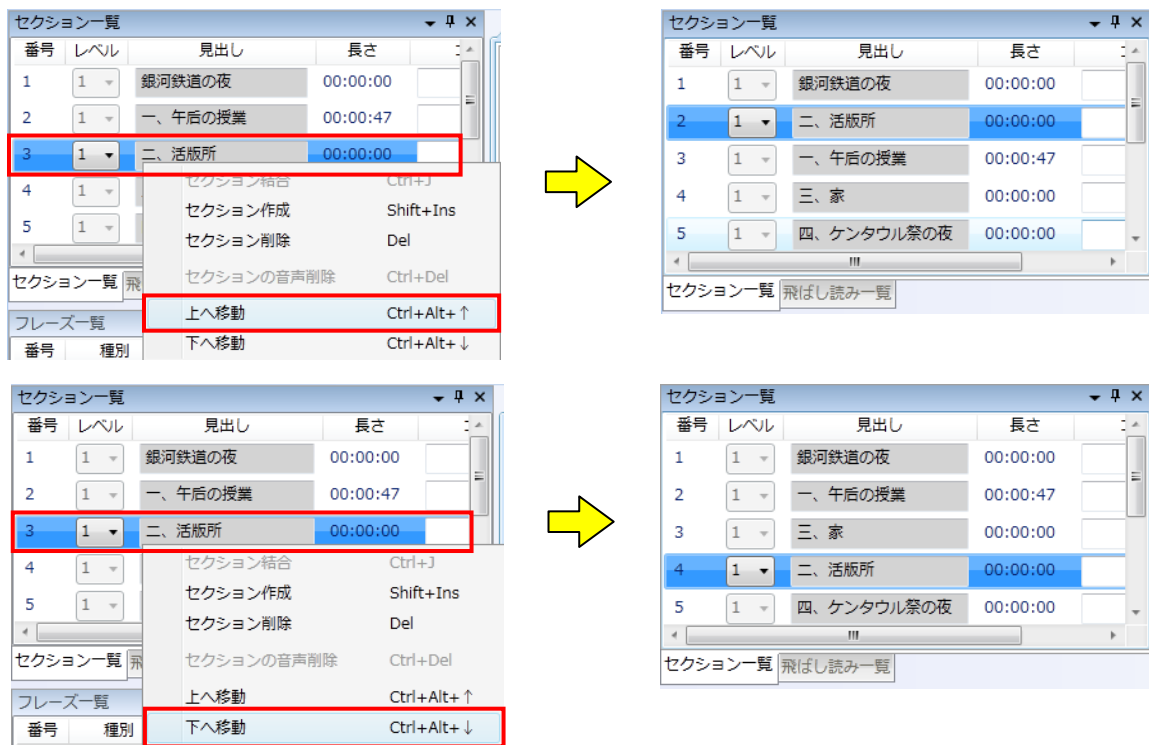
3　確認メッセージが表示されますので、［OK］をクリックすると、選択したセクションが削除されます。

<注意>

● 一度に削除できるセクションは 1000 個までです。

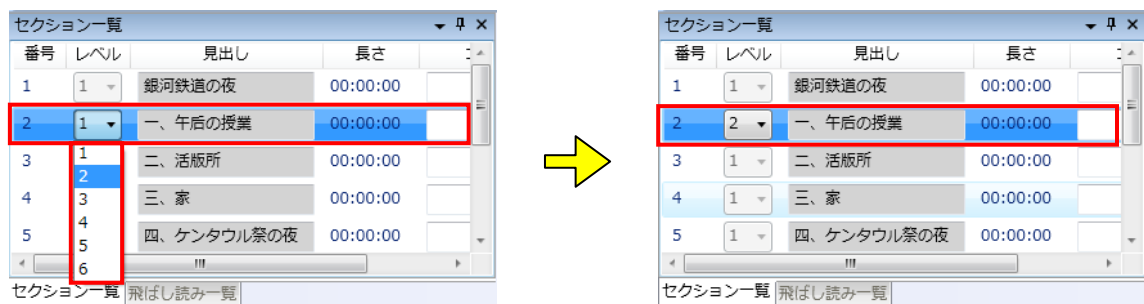
8.1.5 セクションを移動する

セクション移動は、セクションの再生順序を変更します。

1 ［セクション一覧］で、移動するセクションをクリックします。

2 右クリックでコンテキストメニューを開き、［上に移動］もしくは［下に移動］をクリックします。

8.1.6 セクションのレベルを変更する

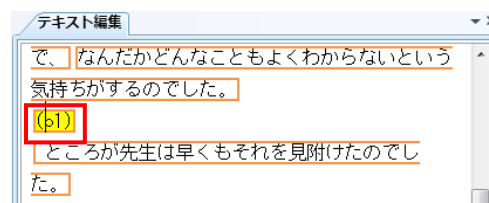
1 ［セクション一覧］で、レベルを変更するセクションをクリックします。

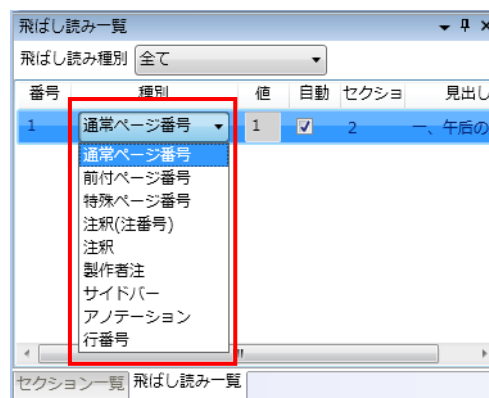
2 ［レベル］の中からレベルを選択します。

<注意>

- レベルを飛ばして設定（レベル１の後にレベル３等）を行うと、ビルドブック時にエラーとなりビルドブックが行えません。

8章2 飛ばし読み（ページなど）

8.2.1 飛ばし読みを設定する

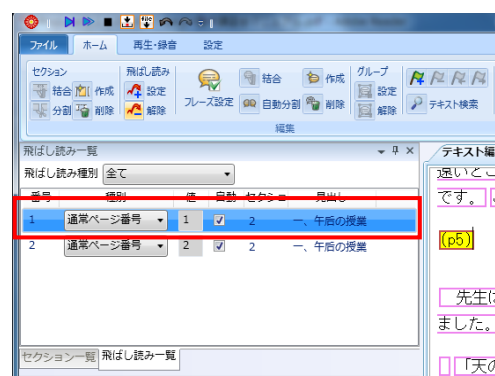
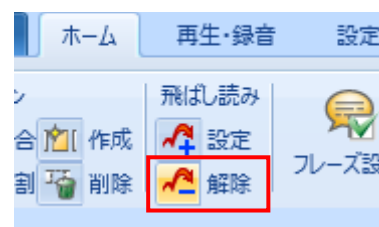
1 飛ばし読みを設定するフレーズを［テキスト編集］、もしくは［フレーズ一覧］でクリックします。

2 リボン［ホーム］の［飛ばし読み］［設定］をクリックします。

3 ［飛ばし読み一覧］から飛ばし読みを設定した項目をクリックし、［種別］の中から飛ばし読みの種別を選択します。

飛ばし読み種別	説明
通常ページ番号	本文に付けられる通常のページ番号
前付ページ番号	本の扉、口絵等、通常ページの前に付けれられているページ番号
特殊ページ番号	索引などにつけられている本文とは違う設定のページ番号
注釈（注番号）	「注釈」に対する注番号
注釈	主に、本文内の語句に対して付けられている注
製作者注	製作者が挿入した本文には存在しない注
サイドバー	主に、原本でページの左右にある注釈・補足・コラムなど
アノテーション	注釈・サイドバー以外の注・補足など
行番号	原本に付けられている行番号

<ポイント>

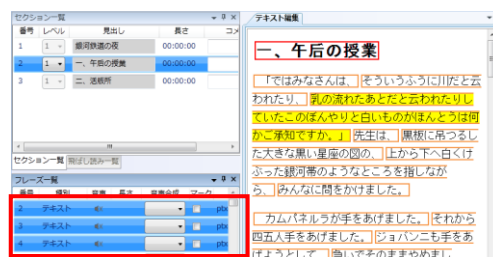
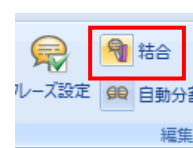
- 通常ページ番号は自動で１から設定されます。
- 通常ページ番号を飛ばして設定する場合は、［自動］を解除して番号を設定します。それ以降は自動で設定されます。

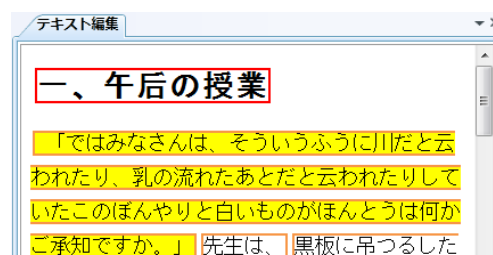
8.2.2 飛ばし読みを解除する

1 飛ばし読みを解除するフレーズを［飛ばし読み一覧］、もしくは［テキスト編集］でクリックします。

2 リボン［ホーム］の［飛ばし読み］［解除］をクリックします。

8章3 フレーズ

8.3.1 フレーズを結合する

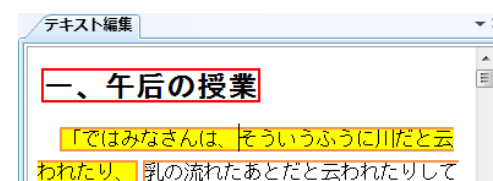
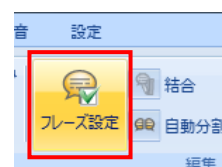
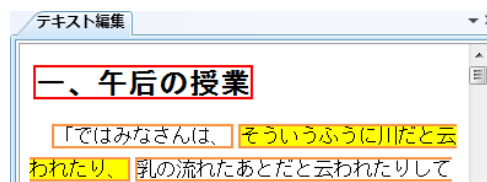
フレーズ結合は、複数のフレーズを１つのフレーズに結合します。

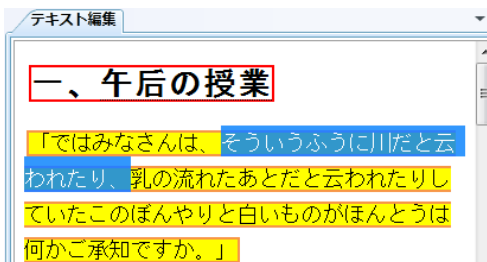
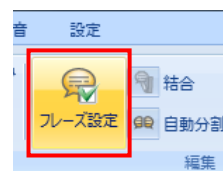
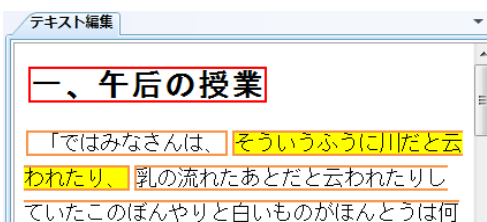
1 ［フレーズ一覧］で結合する複数のフレーズをクリックします。

2 リボン［ホーム］の［編集］［結合］をクリックします。

3 選択したフレーズが１つのフレーズに結合されます。

<注意>

- 音声が設定されている場合、結合するフレーズの音声が連続していない場合は行えません。その際にはクリーンアップを行ってください。
  【11 章 クリーンアップ 参照】

8.3.2 フレーズを分割する

8.3.2.1 カーソルの位置で分割する

1 ［テキスト編集］で分割する位置をクリックします。

2 リボン［ホーム］の［フレーズ］［フレーズ設定］をクリックします。

3　カーソルの位置で2つのフレーズに分割されます。

8.3.2.2　選択した範囲で分割する

1　［テキスト編集］でフレーズの長さとする範囲を選択します。

2　リボン［ホーム］の［編集］［フレーズ設定］をクリックします。

3　選択した範囲でフレーズが設定されます。

<注意>

- ルビが設定されている箇所ではフレーズ設定は行えません。ルビを解除してからフレーズ設定を行ってください。

8.3.3 フレーズを作成する

フレーズ作成は、選択しているフレーズの前に新しいフレーズを作成します。

1　［フレーズ一覧］で作成する位置の次のフレーズをクリックします。

2　リボン［ホーム］の［編集］［作成］をクリックします。

3　新しいフレーズが作成されます。

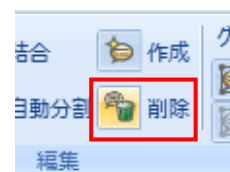
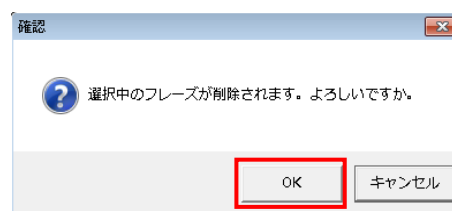
<ポイント>

- 最後に作成する場合は末尾の空フレーズを選択します。
- コメントを記述すると、作成したセクションの見直しなどに活用できます。

8.3.4 フレーズを削除する

フレーズ削除は、選択しているフレーズを削除します。

1　［フレーズ一覧］で削除するフレーズをクリックします。

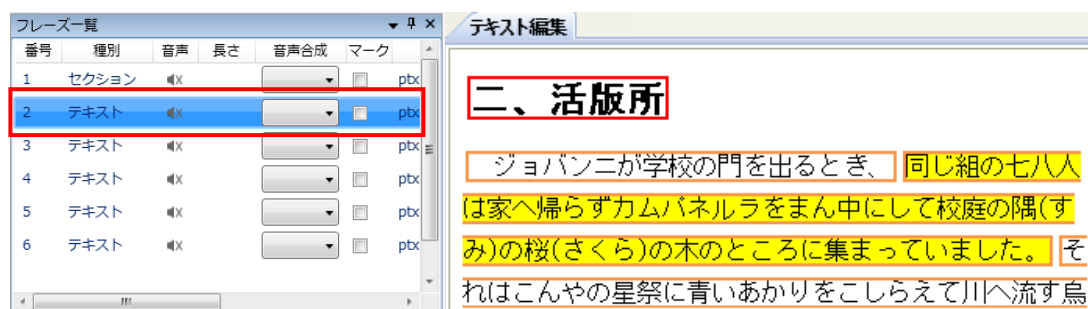
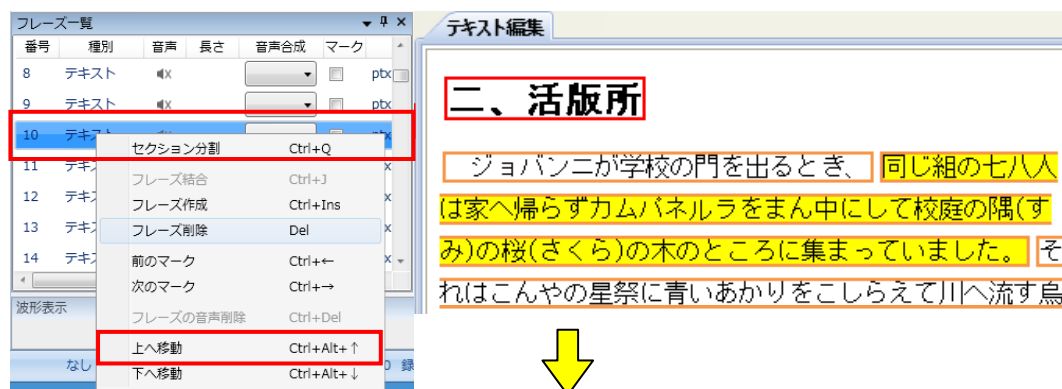
2　リボン［ホーム］の［編集］［削除］をクリックします。

3　確認メッセージが表示されますので、［OK］をクリックすると、選択したフレーズが削除されます。

<注意>

- 一度に削除できるフレーズは 1000 個までです。

8.3.5 フレーズを移動する

フレーズ移動は、フレーズの再生順序を変更します。

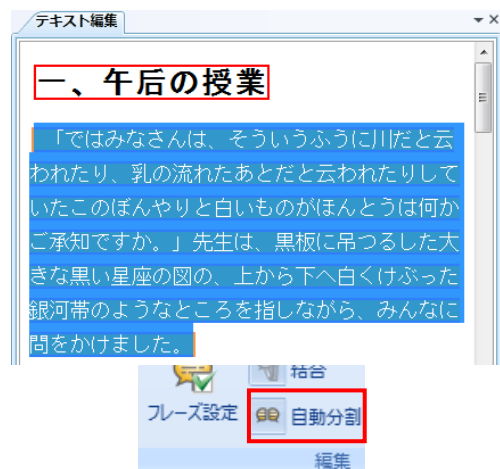
1　［フレーズ一覧］で、移動するフレーズをクリックで選択します。

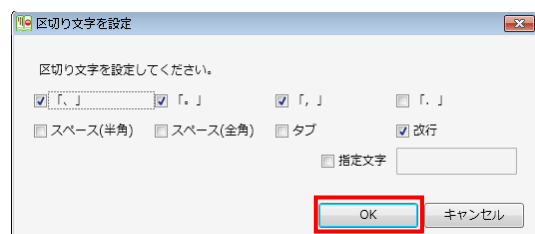
2　右クリックでコンテキストメニューを開き、［上に移動］もしくは［下に移動］をクリックします。

<注意>

- フレーズ移動は再生順序の変更となり、テキストの順序は変更されません。表を列方向に再生させたいときなどにご使用頂けます。

8.3.6 フレーズの長さを再設定する

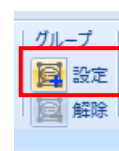
フレーズ自動分割は、選択した範囲を再度区切り文字を指定して区切り直します。

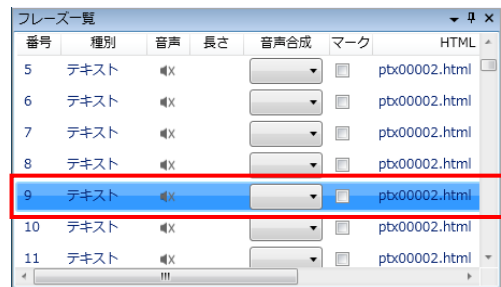
1 ［テキスト編集］で自動分割する範囲を選択します。

2 リボン［ホーム］の［編集］［自動分割］をクリックします。

3 ［区切り文字を設定］が表示されますので、区切り文字を設定し、［OK］をクリックします。

8章4 グループ

8.4.1 グループを設定する

1 グループを設定するフレーズを［テキスト編集］、もしくは［フレーズ一覧］でクリックします。

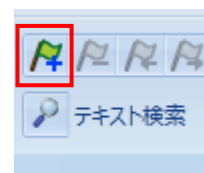
2 リボン［ホーム］の［グループ］［設定］をクリックします。

8.4.2 グループを解除する

1 グループを解除するフレーズを［テキスト編集］、もしくは［フレーズ一覧］でクリックします。

2 リボン［ホーム］の［グループ］［解除］をクリックします。

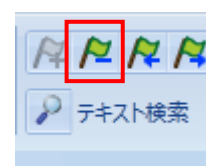
8章5 マーク

8.5.1 マークを設定する

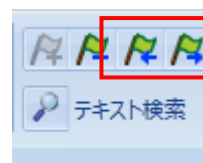
1 マークを設定するフレーズを［テキスト編集］、もしくは［フレーズ一覧］でクリックします。

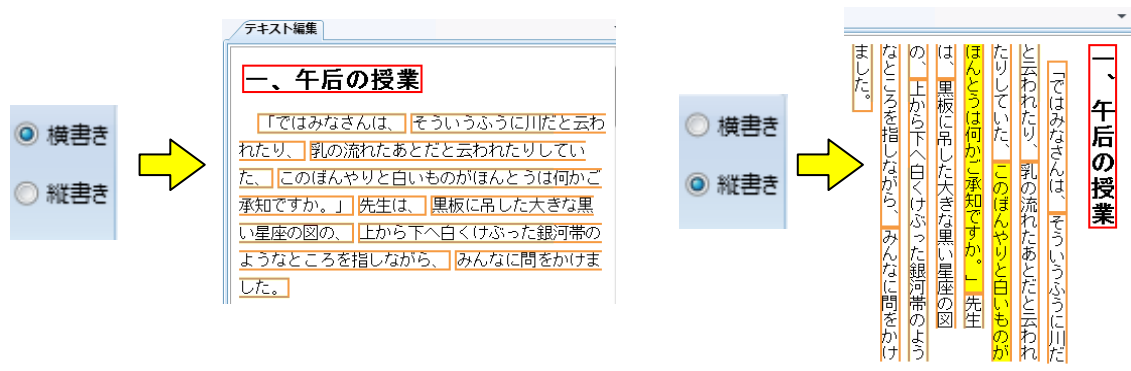
2 リボン［ホーム］の［マーク設定］をクリックします。もしくは［フレーズ一覧］の［マーク］をクリックします。

8.5.2 マークを削除する

1 マークを削除するフレーズを［テキスト編集］、もしくは［フレーズ一覧］でクリックします。

2 リボン［ホーム］の［マーク削除］をクリックします。もしくは［フレーズ一覧］の［マーク］をクリックします。

8.5.3 マークに移動する

マークへの移動は、現在選択されているフレーズの直近でマークが設定されているフレーズに移動します。

1　［ホーム］の［前のマークへ］もしくは、［次のマークへ］をクリックします。

8章6 縦書き・横書き

1　リボン［ホーム］の［縦書き］、［横書き］をクリックします。

<ポイント>

- セクションごとに縦書き・横書きの設定が可能です。
- 選択されている複数のセクションに設定が可能です。

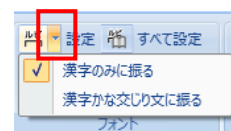
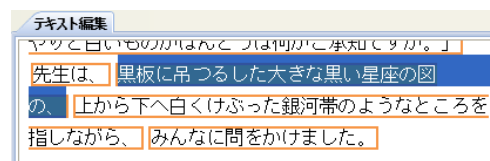
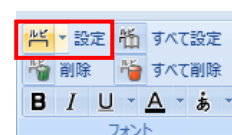
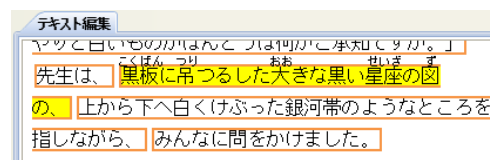
<注意>

- 縦書き表示時はマウスカーソルが表示されません。

8章7 フォント

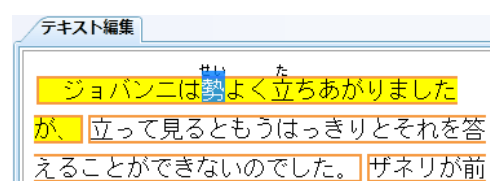
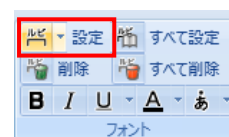
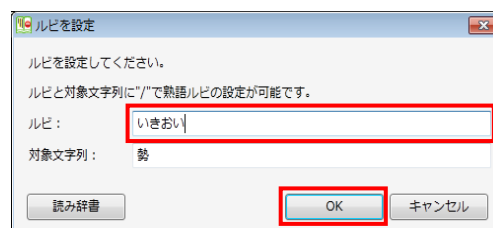
8.7.1 ルビを設定する

1　リボン［ホーム］の［フォント］［ルビ設定］の［▼］をクリックし、設定内からルビ振り方法を選択します。

設定	説明
漢字のみに振る	選択範囲の漢字ごとにルビを設定します。
漢字かな交じりに振る	選択範囲にルビを設定します。

2 [テキスト編集]でルビを設定する範囲を選択します。

3 リボン［ホーム］の［フォント］［ルビ設定］をクリックします。

4 設定方法に応じて、ルビが設定されます。

<注意>

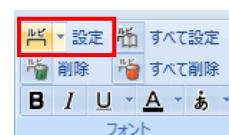
- ［漢字のみに振る］場合、漢字が連続していても、単語ごとに区切られてルビが設定される場合があります。その際には［漢字かな交じりに振る］で設定するか、もしくは音声合成の読み辞書に登録して設定してください。
  【9.2.1 音声合成の読み辞書を設定する 参照】

8.7.2 ルビを修正する

1 ［テキスト編集］でルビを修正する範囲を選択します。

2 リボン［ホーム］の［フォント］［ルビ設定］をクリックします。もしくは選択した箇所をダブルクリックします。

3　［ルビを設定］が表示されますので、ルビを修正して［OK］をクリックします。

8.7.3 熟語ルビを設定する

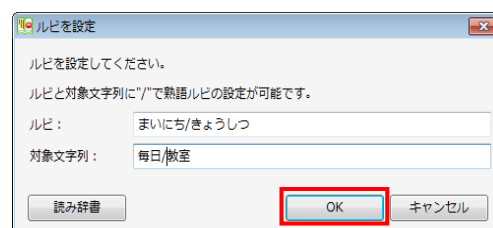
熟語ルビ設定は、複数の熟語が連続する文字にルビを設定する際に、熟語ごとにルビを設定します。

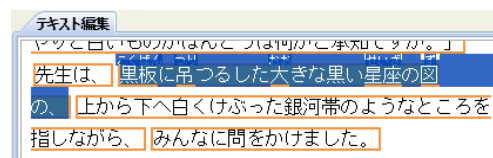
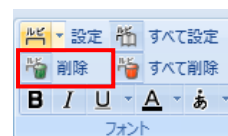
1　［テキスト編集］でルビが設定されている範囲を選択します。

2　リボン［ホーム］の［フォント］［ルビ設定］をクリックします。

3　［ルビ設定］が表示されますので、［ルビ］と［対象文字列］で熟語ごとに［/］で区切り、［OK］をクリックします。

例）［毎日教室］の場合、

ルビ：［まいにち/きょうしつ］

対象文字列：［毎日/教室］

8.7.4 ルビを削除する

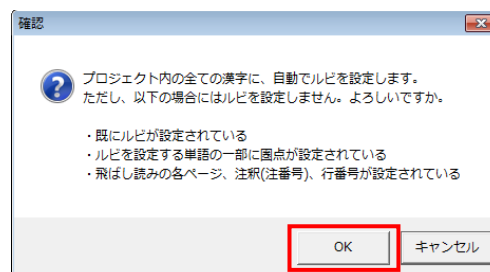
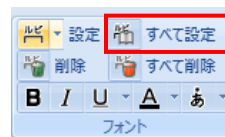
1　［テキスト編集］でルビを削除する範囲を選択します。

2　リボン［ホーム］の［フォント］［ルビ削除］をクリックします。

<ポイント>

- 選択範囲内のルビをまとめて削除することができます。

8.7.5 すべての漢字にルビを設定する

プロジェクト内のすべての漢字にルビを設定します。

1 リボン［ホーム］の［フォント］［ルビすべて設定］をクリックします。

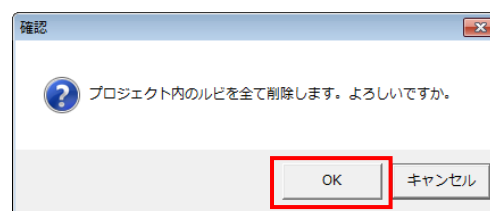
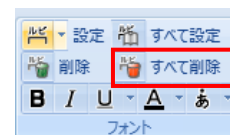
2 確認メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

<注意>

- 既にルビが設定されている箇所は上書きされません。
- 飛ばし読みが設定されているフレーズには設定されません。

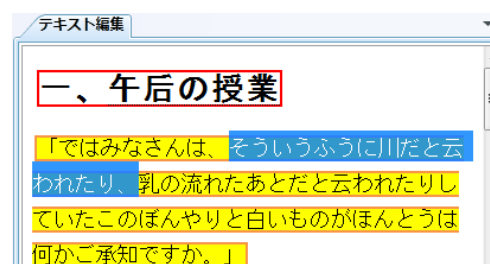
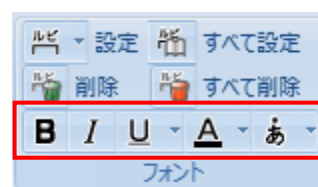
8.7.6 すべてのルビを削除する

プロジェクト内のすべてのルビを削除します。

1 リボン［ホーム］の［フォント］［ルビすべて設定］をクリックします。

2 確認メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

8.7.7 装飾を設定／解除する

太字、斜体、下線、文字色など様々な装飾を設定します。

1 ［テキスト編集］で装飾する範囲を選択します。

2 リボン［ホーム］の［フォント］に並んでいる各スタイルをクリックします。

3 再度リボン［ホーム］の［フォント］に並んでいる各スタイルをクリックすると、スタイルの解除が行えます。

設定	説明
太字スタイル B	選択されている文字に太字が設定されます。 銀河帯　**銀河帯**
斜体スタイル I	選択されている文字に斜体が設定されます。 銀河帯 *銀河帯*
下線スタイル U	選択されている文字に下線が設定されます。 ［▼］をクリックすると以下の下線の種類が選択できます。 実線・点線・破線・二重線 銀河帯 銀河帯 銀河帯 銀河帯
文字色 A	選択されている文字に色が設定されます。 ［▼］をクリックすると１６色の中から文字色が選択できます。
圏点スタイル あ	選択されている文字に圏点が設定されます。 ［▼］をクリックすると以下の圏点の種類が選択できます。 小黒丸・黒丸・ゴマ・二重丸・黒三角 銀河帯 銀河帯 銀河帯 銀河帯 銀河帯

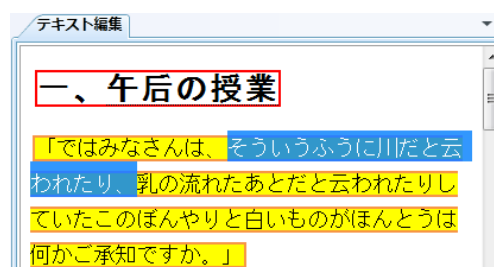
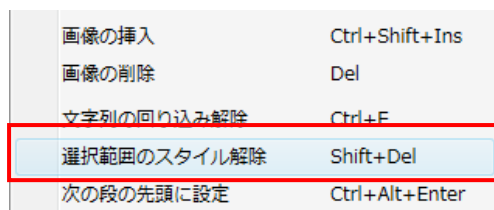
<ポイント>

- 様々なスタイルを組み合わせて設定することができます。

<注意>

- フレーズをまたがって装飾を設定することはできません。
- ルビと圏点は組み合わせて設定することはできません。
- ルビにはスタイルを設定することはできません。

8.7.8 装飾をすべて解除する

1 ［テキスト編集］で装飾をすべて解除する範囲を選択します。

2 右クリックでコンテキストメニューを開き、［選択範囲のスタイル解除］をクリックします。

<注意>

- フレーズをまたがって装飾を解除することはできません。

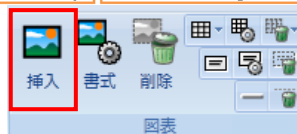
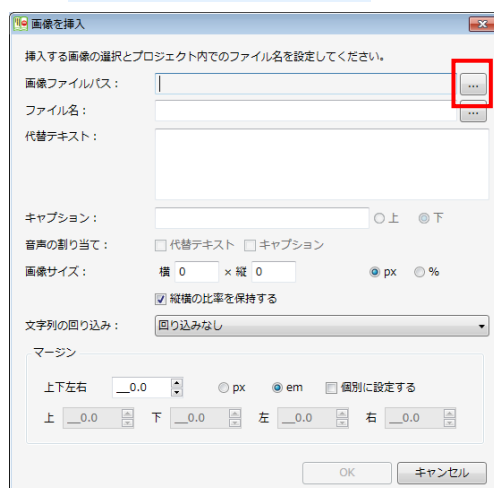
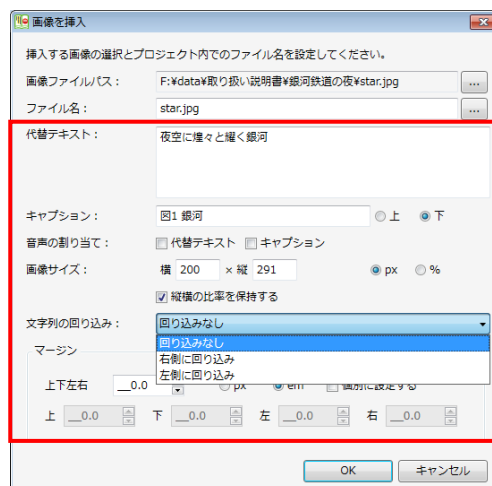
8章8 図表

8.8.1 画像を挿入する

画像挿入は、選択しているフレーズの前に画像を挿入します。

1 ［フレーズ一覧］もしくは［テキスト編集］で挿入する位置の次のフレーズをクリックします。

先生は、黒板に吊つるした大きな黒い星座の図の、上から下へ白くけぶった銀河帯のようなところを指しながら、みんなに問をかけました。カムパネルラが手をあげました。それから四五人手をあげました。ジョバンニも手をあげようとし

2 リボン［ホーム］の［図表］［挿入］をクリックします。

3 ［画像を挿入］が表示されますので、［画像ファイルパス］の［...］をクリックして挿入する画像を選択します。

4 挿入する画像の情報などを設定し、［OK］をクリックします。

設定項目	説明
代替テキスト	代替テキストは挿入する画像に説明をつける場合に使用します。
キャプション	画像の図番号や名称を入力します。 キャプションは[上]もしくは［下］に配置されます。
音声割り当て	代替テキスト、キャプションをフレーズに設定します。フレーズに設定されると他と同様に音声の割り当てが可能になります。
画像サイズ	画像のサイズを変更します。サイズは px（ピクセル）もしくは%（表示領域の拡大縮小率）で指定します。［縦横の比率を保持する］にチェックを入れると、縦横比率を保持したまま画像のサイズを変更します。
文字列の回り込み	画像にテキストを回り込ませます。［右側に回り込み］で右側にテキストが、［左側に回り込み］で左側にテキストが回り込みます。
マージン	画像周りに余白を設定します。余白の単位は px（ピクセル）か em（文字数）を指定します。［個別に設定する］では、上下左右の余白を個別に設定します。尚、em 指定時は小数のサイズが設定可能です。

<ポイント>

- 既に使用されているファイル名を指定すると、ファイルの上書きができます。
- 画像のコピー＆ペーストにより、同じ画像の利用ができます。
- 文字列の回り込みは、コンテキストメニュー［文字列の回り込み解除］により指定のフレーズで解除できます。

<注意>

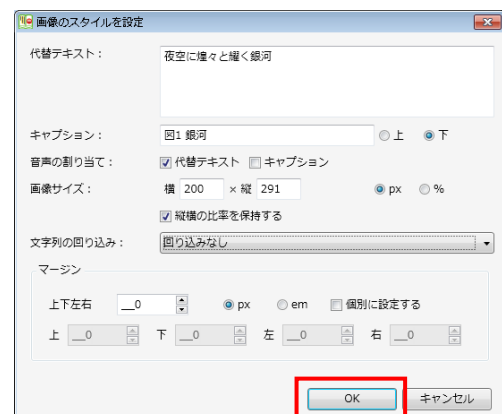
- 挿入可能な画像ファイル形式は、JPEG と PNG 形式となります。
- 画像サイズは表示する大きさを設定しています。ファイルの大きさは変更されませんので、サイズの変更は画像編集ソフトにて行ってください。

8.8.2 画像の書式を変更する

画像の書式変更は、既に挿入されている画像のサイズなどを変更します。

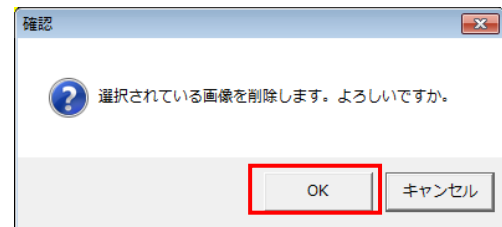
1 ［テキスト編集］で設定を変更する画像をクリックします。

2 リボン［ホーム］の［図表］［書式］をクリックします。

3 ［画像のスタイルを設定］が表示されますので、変更を行い［OK］をクリックします。

8.8.3 画像を削除する

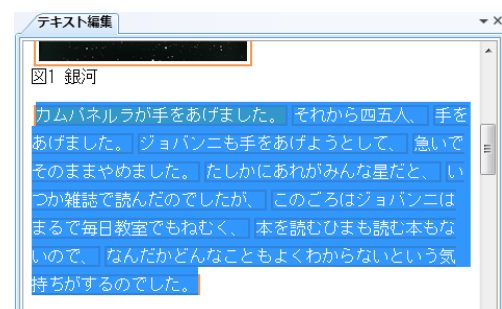
1 ［テキスト編集］で削除する画像をクリックします。

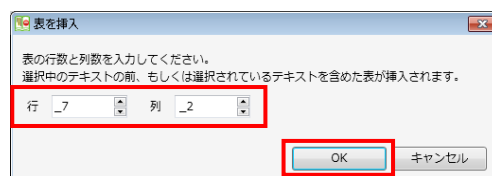
2 リボン［ホーム］の［図表］［削除］をクリックします。

3 確認メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

8.8.4 表を挿入する

8.8.4.1 表を挿入する

表挿入は、選択しているフレーズに表を挿入します。

1 ［テキスト編集］で表を設定するフレーズを選択します。

2 リボン［ホーム］の［図表］［表を挿入］の中から、［表を挿入］をクリックします。

3　［表を挿入］が表示されますので、挿入する表の行数と列数を入力して、[OK]をクリックします。

<ポイント>

● 表のセルに対して選択した各フレーズが設定されます。

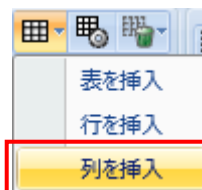
8.8.4.2　表に行を挿入する

行挿入は、選択しているセルの上に行を挿入します。

1　［テキスト編集］で行を挿入する下のセルをクリックし、リボン［ホーム］の［図表］［表を挿入］の中から［行を挿入］をクリックします。

8.8.4.3　表に列を挿入する

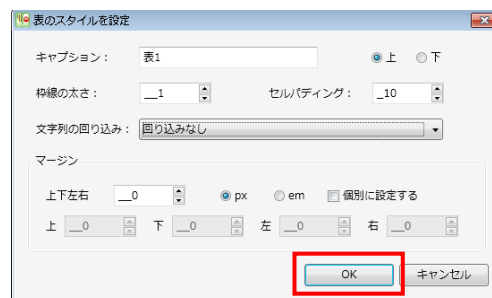
列挿入は、選択しているセルの左に列を挿入します。

1　列を挿入する右のセルをクリックし、リボン［ホーム］の［図表］［表を挿入］の中から［列を挿入］をクリックします。

8.8.5 表の書式を変更する

表の書式変更は、既に挿入されている表の枠線などを変更します。

1　設定を変更する表のセルをクリックします。

2　リボン［ホーム］の［図表］［表の書式］をクリックします。

3　［表のスタイルを設定］が表示されますので、変更を行い［OK］をクリックします。

設定項目	説明
キャプション	表の図番号や名称を入力します。 キャプションは[上]もしくは［下］に配置されます。
枠線の太さ	枠線の太さは、0～999 の範囲で設定します。
セルパディング	枠内の余白を設定します。 0 ～999 の範囲で設定します。
文字列の回りこみ	表にテキストを回り込ませます。［右側に回り込み］で右側にテキストが、［左側に回り込み］で左側にテキストが回り込みます。
マージン	表の周りに余白を設定します。 0 ～999 の範囲で設定します。 余白の単位は px（ピクセル）か em（文字数）を指定します。［個別に設定する］では、上下左右の余白を個別に設定します。

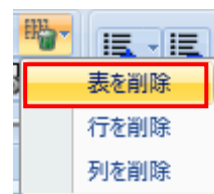
<ポイント>

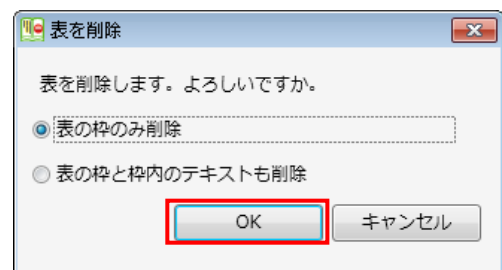
- 文字列の回り込みは、コンテキストメニュー［文字列の回り込み解除］により指定のフレーズで解除できます。

8.8.6 表を削除する

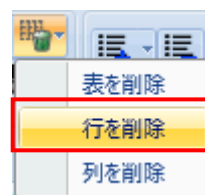
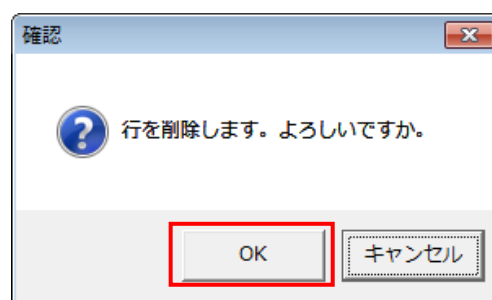
8.8.6.1 表を削除する

1 ［テキスト編集］で削除する表のセルをクリックします。

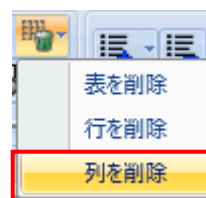
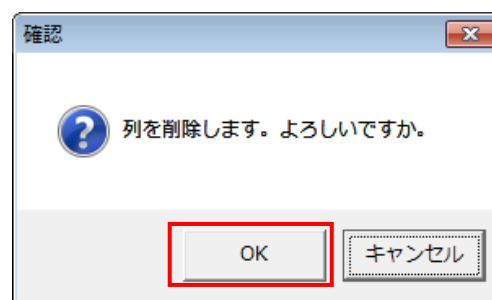
2 リボン［ホーム］の［図表］［表を削除］内の［表を削除］をクリックします。

3 ［表を削除］が表示されますので、項目を選択し［OK］をクリックします。

設定項目	説明
表の枠のみ削除	表の枠のみが削除され、表の中のテキストは削除されません。
表の枠と枠内のテキストも削除	表の枠と枠中のテキストの両方が削除されます。

8.8.6.2　表の行を削除する

1　［テキスト編集］で削除する行のセルをクリックします。

2　リボン［ホーム］の［図表］［表の削除］内の［行を削除］をクリックします。

3　確認メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

8.8.6.3　表の列を削除する

1　［テキスト編集］で削除する行のセルをクリックします。

2　リボン［ホーム］の［図表］［表の削除］内の［列を削除］をクリックします。

3　確認メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

8.8.7 枠を挿入する

枠挿入は、選択しているフレーズに枠を挿入します。

1　［テキスト編集］で枠を挿入するフレーズを選択します。

　ところが先生は早くもそれを見附けたのでした。

「ジョバンニさん。

あなたはわかっているのでしょう。」

2 リボン［ホーム］の［図表］［枠を挿入］を
クリックします。

<ポイント>

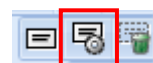
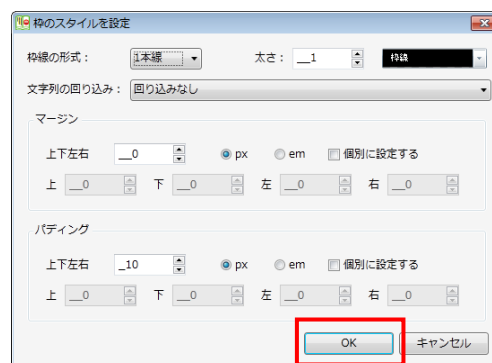
● 複数のフレーズを選択して、枠を挿入することもできます。

8.8.8 枠の書式を変更する

枠の書式変更は、既に挿入されている枠の枠線などを変更します。

1 ［テキスト編集］で設定を変更する枠をクリックします。

あなたはわかっているのでしょう。」

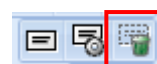
2 リボン［ホーム］の［図表］［枠を設定］を
クリックします。

3 ［枠のスタイルを設定］が表示されますので、変更を行い［OK］をクリックします。

設定項目	説明
枠線の形式	枠線の線種を設定します。線種は、１本線、２本線、破線、点線の４種類の中から選択します。
太さ	枠線の太さを設定します。枠線は 0~999 の範囲で設定します。
枠線の色	枠線色を設定します。16 色の中から指定します。
文字の回り込み	枠にテキストを回り込ませます。［右側に回り込み］で右側にテキストが、［左側に回り込み］で左側にテキストが回り込みます。
マージン	枠周りに余白を設定します。０～999 の範囲で設定します。 余白の単位は px（ピクセル）か em（文字数）を指定します。［個別に設定する］では、上下左右の余白を個別に設定します。
パディング	枠内の余白を設定します。０～999 の範囲で設定します。 余白の単位は px（ピクセル）か em（文字数）を指定します。［個別に設定する］では、上下左右の余白を個別に設定します。

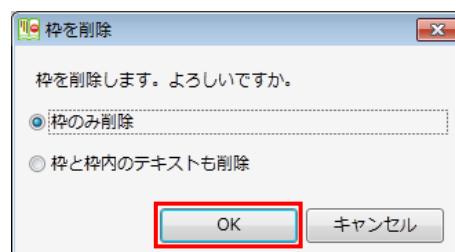
<ポイント>

● 文字列の回り込みは、コンテキストメニュー［文字列の回り込み解除］により指定のフレーズで解除できます。

8.8.9 枠を削除する

1　［テキスト編集］で削除する枠に含まれるフレーズをクリックします。

2　リボン［ホーム］の［図表］［枠の削除］をクリックします。

3　［枠を削除］が表示されますので、項目を選択し［OK］をクリックします。

設定項目	説明
枠のみ削除	枠のみが削除され、枠の中のテキストは削除されません。
枠と枠内のテキストも削除	枠と枠中のテキストの両方が削除されます。

8.8.10 区切り線を挿入する

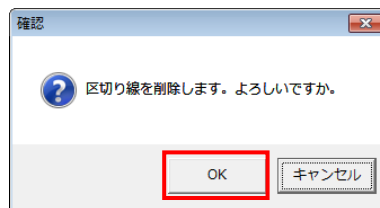
1　［テキスト編集］で挿入する位置の次のフレーズをクリックします。

2　リボン［ホーム］の［図表］［区切り線を挿入］をクリックします。

8.8.11 区切り線を削除する

1　［テキスト編集］で削除する区切り線をクリックで選択します。

2　リボン［ホーム］の［図表］［区切り線を削除］をクリックします。

3 確認メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

8章9 段落

8.9.1 箇条書きを設定／解除する

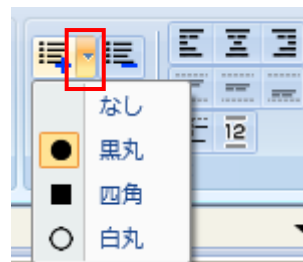
1 ［テキスト編集］で箇条書きを設定するフレーズをクリックします。

ところが先生は早くもそれを見附けたのでした。

「ジョバンニさん。

あなたはわかっているのでしょう。」

2 リボン［ホーム］の［段落］［箇条書きを設定］［▼］をクリックし、設定内から行頭文字を選択します。

設定	説明
なし	行頭文字なし。
●黒丸	箇条書きの行頭文字が黒丸になります。
■四角	箇条書きの行頭文字が黒四角になります。
○白丸	箇条書きの行頭文字が白抜きの丸になります。

3 リボン［ホーム］の［段落］[箇条書き設定]をクリックすると、箇条書きが設定されます。

ところが先生は早くもそれを見附けたのでした。

• 「ジョバンニさん。

あなたはわかっているのでしょう。」

4 リボン［ホーム］の［段落］[箇条書き解除]をクリックすると、箇条書きが解除されます。

ところが先生は早くもそれを見附けたのでした。

「ジョバンニさん。

あなたはわかっているのでしょう。」

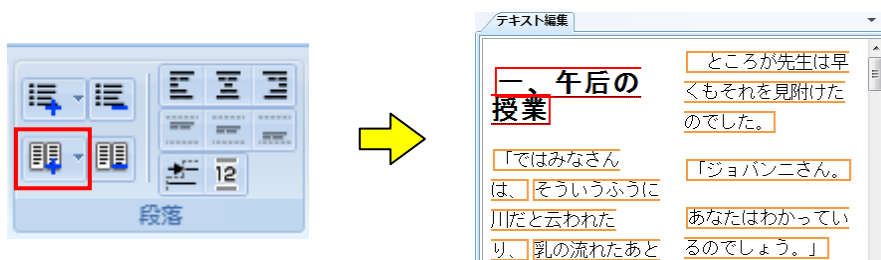
<注意>

- 箇条書きは１階層のみ設定が可能です。

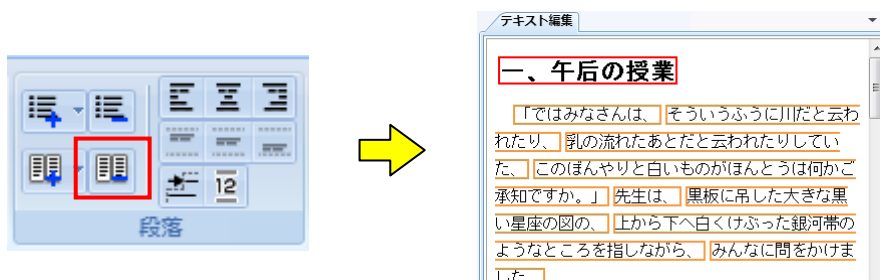
8.9.2 段組を設定／解除する

1 ［セクション一覧］で段組を設定するセクションをクリックします。

2 リボン［ホーム］の［段落］［段組を設定］［▼］をクリックし、設定内から段数を選択します。

3 リボン［ホーム］の［段落］［段組を設定]をクリックすると、段組が設定されます。

<ポイント>

- コンテキストメニュー［次の段の先頭に設定］により指定のフレーズを次の段の先頭に設定できます。

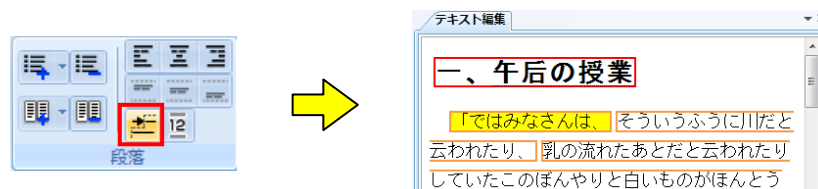
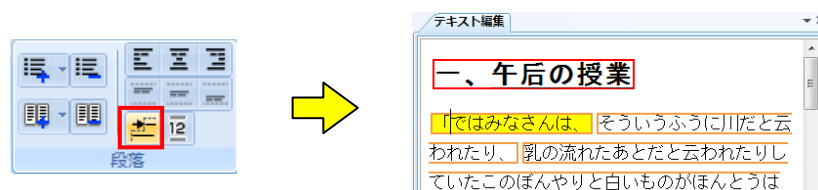
4 リボン［ホーム］の［段落］［段組を解除]をクリックすると、段組が解除されます。

8.9.3 文字揃えを設定／解除する

1 横書きの場合は［左揃え］、［中央揃え］、［右揃え］のいずれかを、縦書きの場合は［上揃え］、［中央揃え］、［下揃え］のいずれかをクリックします。

文字方向	文字揃え設定	説明
横書き	左揃え	フレーズを左に揃えます。 ジョバンニは勢よく立ちあがりましたが、 立って見るともうはっきりとそれを答えることができないのでした。 ザネリが前の席からふりかえって、ジョバンニを見てくすっとわらいました。ジョバンニはもうど
	中央揃え	フレーズを中央に揃えます。 ジョバンニは勢よく立ちあがりましたが、 立って見るともうはっきりとそれを答えることができないのでした。 ザネリが前の席からふりかえって、ジョバンニを見てくすっとわらいました。ジョバンニ
	右揃え	フレーズを右側に揃えます。 ジョバンニは勢よく立ちあがりましたが、 立って見るともうはっきりとそれを答えることができないのでした。 ザネリが前の席からふりかえって、ジョバンニを見てくすっとわらいました。ジョバンニ
縦書き	上揃え	フレーズを上に揃えます。 ところが先生は早くもそれを見附けたのでした。「ジョバンニさん。あなたはわかっているのでしょう。」
	中央揃え	フレーズを下に揃えます。 ところが先生は早くもそれを見附けたのでした。「ジョバンニさん。あなたはわかっているのでしょう。」
	下揃え	フレーズを右側に揃えます。 ところが先生は早くもそれを見附けたのでした。「ジョバンニさん。あなたはわかっているのでしょう。」

8.9.4 字下げを設定／解除する

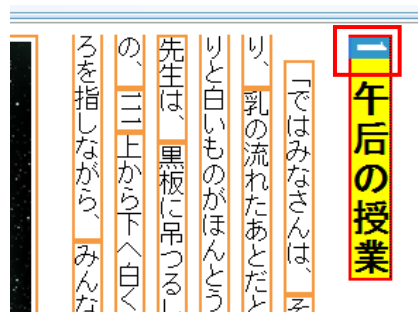
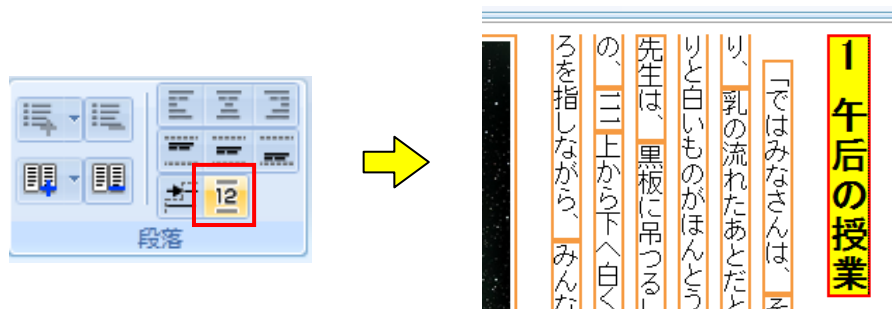
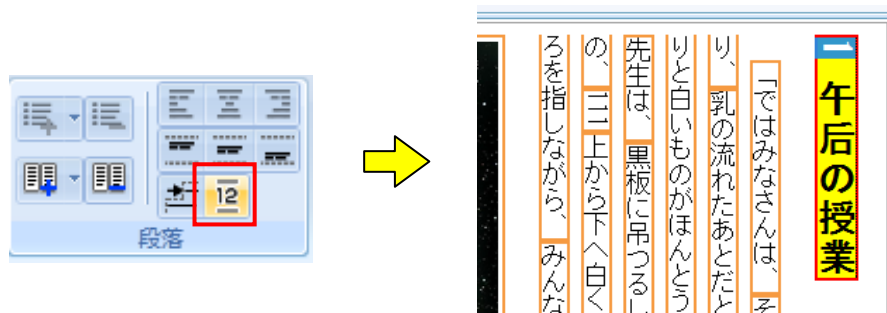
1 ［テキスト編集］で字下げをする段落内のフレーズをクリックします。

2 リボン［ホーム］の［段落］［字下げ］をクリックします。

3 再度、リボン［ホーム］の［段落］［字下げ］をクリックすると解除されます。

<ポイント>

- 字下げは段落内の先頭フレーズに設定されます。
- 字下げは段落ごとに設定できます。【8.10.5 段落を設定する 参照】

8.9.5 縦中横を設定／解除する

縦中横は、縦書きの文章で数字やアルファベットなどを横向きに表示します。

1 ［テキスト編集］で縦中横表示する範囲を選択します。

2 リボン［ホーム］の［段落］［縦中横］　をクリックします。

3　再度、リボン［ホーム］の［段落］［縦中横］をクリックすると解除されます。

<注意>

● 縦中横で表示される桁数は、本ソフトウェアでは２文字となります。

8章10　テキスト編集

8.10.1 文字を入力する

1　［テキスト編集］で文字を入力すると、カーソルの位置に挿入します。

<ポイント>

● テキスト編集時は、フレーズ枠を表示することでフレーズを選択せずに、フレーズの範囲が確認できます。【15 章 2 表示設定 参照】

<注意>

● フレーズの先頭には文字の入力ができません。但し、段落・改行後などの最初のフレーズには入力ができます。

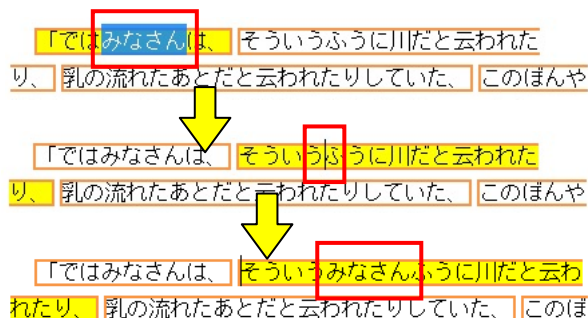
8.10.2 文字を削除する

1　［テキスト編集］で文字を削除すると、カーソルの後ろの文字（Delete キー）もしくは前の文字（Backspace キー）を削除します。

＜注意＞

- 見出しはすべての文字を削除することはできません。

8.10.3 文字をコピー／貼り付けする

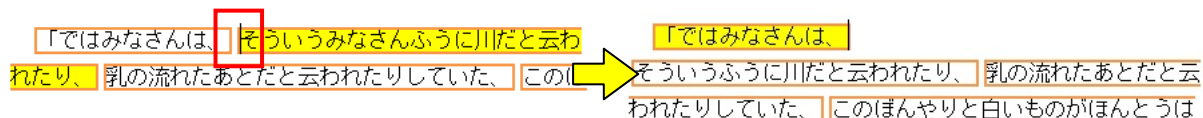
1　［テキスト編集］で選択範囲の文字列のコピーや貼り付けをします。

＜ポイント＞

- ［テキスト編集］でコピーして貼り付けをした場合は、スタイルも引き継いで貼り付けされます。

＜注意＞

- 文字のみのコピーとなり、フレーズ情報は引き継がれません。

8.10.4 改行を挿入する

1　［テキスト編集］で改行（Enter キー）を挿入します。

8.10.5 段落を設定する

1　［テキスト編集］で段落（Shift＋Enter キー）を挿入します。

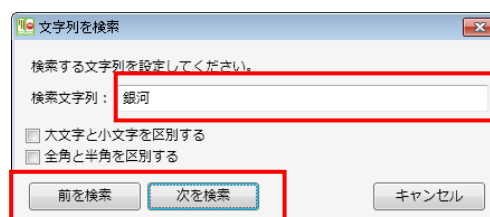
＜注意＞

● 改行や段落はフレーズの中では設定できません。

8章11　テキスト検索

テキスト検索は、プロジェクト内の任意の文字列を検索します。

1　リボン［ホーム］の［テキスト検索］をクリックします。

2　［文字列を検索］が表示されますので、［検索文字列］に検索文字列を入力します。

3　［前を検索］または［次を検索］をクリックすると現在の位置から検索を開始し、一致する箇所を表示します。

＜ポイント＞

● プロジェクト内の文字列を検索します。

＜注意＞

● 画像のキャプション・代替テキスト、表のキャプションは検索対象に含まれません。

8章12 編集を元に戻す／やり直す

直近の編集操作の履歴を保持しており、編集した操作を前の状態に戻したり、戻した操作 を再びやり直します。

1 リボン［ホーム］の［履歴］［元に戻す］または［やり直し］をクリックします。

操作取消／やり直し設定	説明
元に戻す	１つ前の編集状態に戻します。
やり直し	戻した編集操作をやり直します。

<注意>

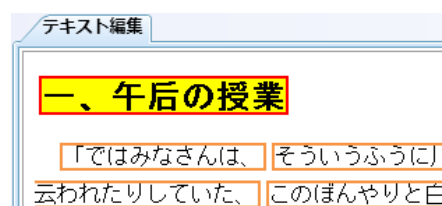
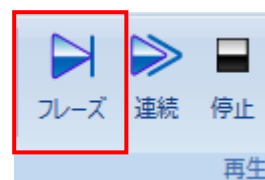
- 元に戻せる編集は、直近で２０回までとなります。
- クリーンアップやビルドブック、またはプロジェクトを閉じると履歴が消去されます。

9章 再生

この章では、音声合成によるテキストの再生操作や読み修正方法などについて説明します。

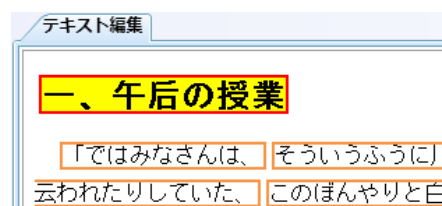
9章1 フレーズ再生

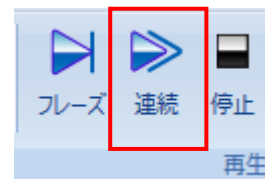
9.1.1 フレーズを再生する

1 ［テキスト編集］で再生するフレーズをクリックします。

2 リボン［再生・録音］の［再生］［フレーズ］をクリックします。

<ポイント>

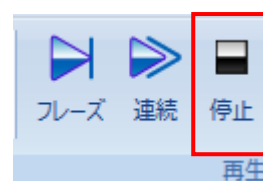
- リボン［設定］の［機能］［自動で再生する］を設定すると、フレーズを選択した際に自動で再生されます。
  【15.1.2 選択したフレーズを自動で再生する 参照】

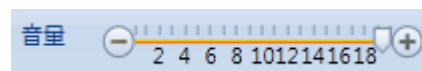
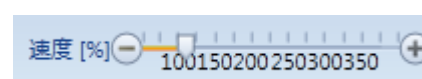
9.1.2 フレーズを連続で再生する

1 ［テキスト編集］で再生するフレーズをクリックします。

2 リボン［再生・録音］の［再生］［連続］をクリックします。

<注意>

- 連続再生中はフレーズ間に間（ま）が発生します。

9.1.3 再生を停止する

1 リボン［再生・録音］の［再生］［停止］をクリックします。

9.1.4 再生音量や速度を変更する

1 リボン［再生・録音］の［再生］［音量］を調整すると、再生音量が調整されます。

2 リボン［再生・録音］の［再生］［速度］を調整すると、再生速度が調整されます。

<ポイント>

● 再生音量や速度を変更しても生成される図書には影響ありません。生成される図書の音声を変更する場合は［音声合成］の設定を変更します。
【15.1.3 音声合成の設定をする 参照】

9章2 読み修正

音声合成を利用した読み上げには、稀に読み間違いやアクセントの誤りがあります。読み修正は音声合成で正しく読み上げをさせます。

<ポイント>

読みの修正方法は以下の方法で行えます。

● ルビ … ルビが設定されている場合は、ルビを読み上げます。個別に設定可能ですが、アクセントの設定は行えません。

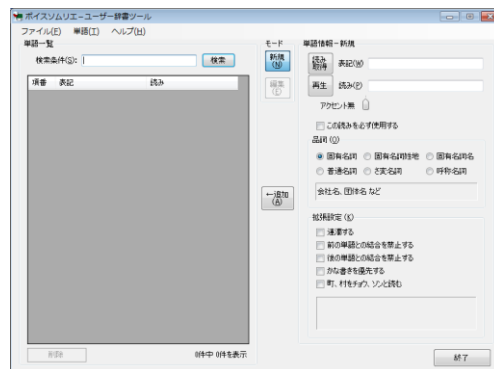
● 読み辞書 … 音声合成の読み辞書を設定することで、出現頻度が高い固有名詞などを設定すると効果がありますが、文章によっては設定が適用されない場合があります。

● 発音 … フレーズ単位での設定となりますが、アクセントなどの設定も行えるので、細かい調整が可能となります。

9.2.1 音声合成の読み辞書を設定する

音声合成の読み辞書設定は、音声合成による読み間違いが発生する場合に使用します。本文で出現頻度が高い固有名詞や独特な表現などを登録すると効果があります。

1　リボン［再生・録音］の［再生］［読み辞書］をクリックします。

2　［ボイスソムリエーユーザー辞書ツール］が表示されます。
【17 章 ユーザー辞書ツール 参照】

<ポイント>

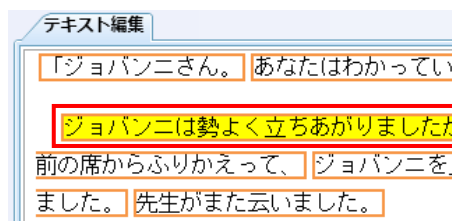
- ［音声合成］設定で［辞書ファイルパス］が設定されている場合は、自動的に辞書ファイルが読み込まれ、［読み辞書］終了時には再読み込みされます。

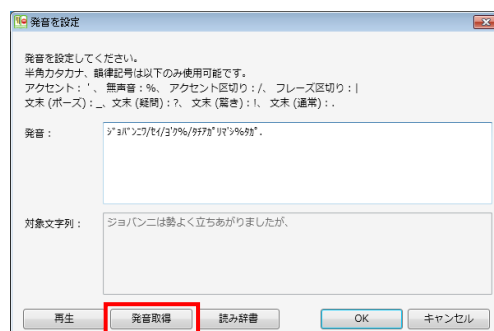
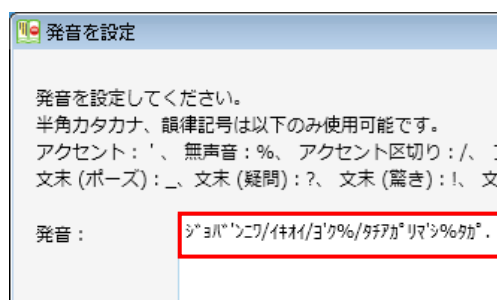
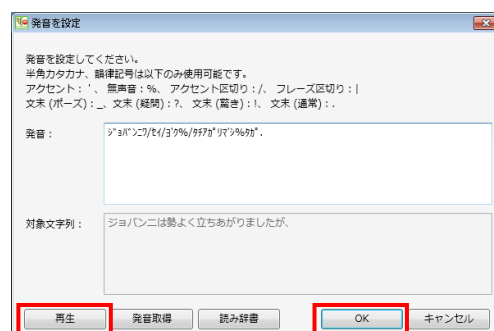
<注意>

- 読み辞書を設定しても、文章によっては辞書が適用されない場合があります。その場合にはルビや発音を設定してください。

9.2.2 フレーズに発音を設定する

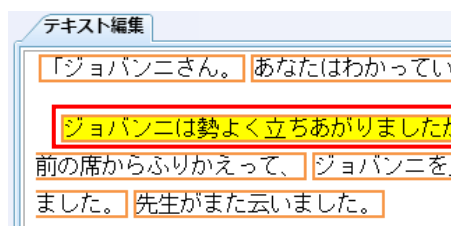
発音設定は、フレーズ単位で音声合成の読みを指定します。
文章のイントネーションを個別に修正したい場合に使用します。

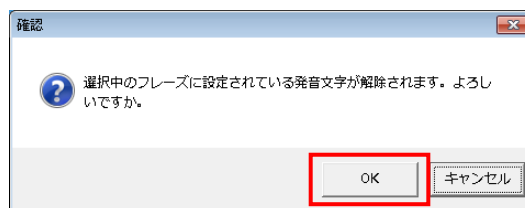
1　［テキスト編集］で発音を設定するフレーズをクリックします。

2　リボン［再生・録音］の［発音］［設定］をクリックします。

3　［発音を設定］が表示されますので、［発音取得］をクリックすると、音声合成による読みが［発音］に表示されます。

4　［発音］を修正し、正しい読みを設定します。

5　［再生］をクリックして［発音］の確認をし、［OK］をクリックします。

<ポイント>

- リボン［設定］の［表示］［発音表示］を設定すると、設定されている発音が表示されます。
- 画像の代替テキストやキャプションにも発音の設定が行えます。

9.2.3 設定した発音を削除する

1 ［テキスト編集］で発音を削除するフレーズをクリックします。

2 リボン［再生・録音］の［発音］［削除］をクリックします。

3 削除確認メッセージが表示されますので、［OK ］をクリックします。

10章 録音

この章では、肉声による録音や音声ファイルのインポート、および音声の編集方法などについて説明します。尚、録音には「上書き録音」と「パンチイン録音」の２つのモードがあります。

録音モード	説明
上書き	選択した位置から録音します。新規録音時などで利用します。
パンチイン	録音する範囲をあらかじめ指定し録音します。読み間違いの修正などで利用します。

10章1 指定位置から録音をする

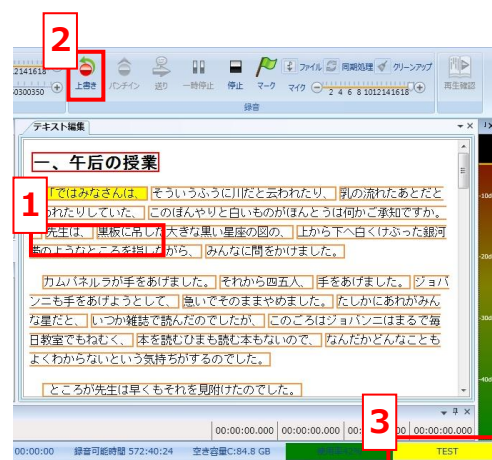
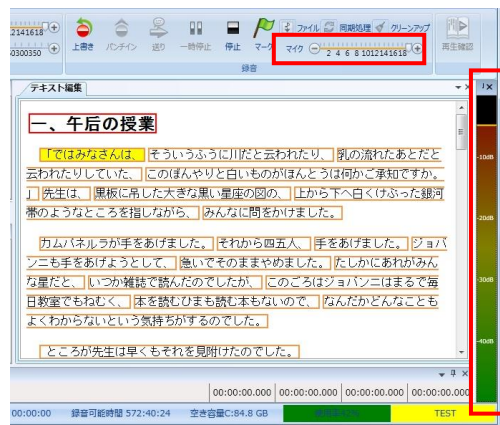
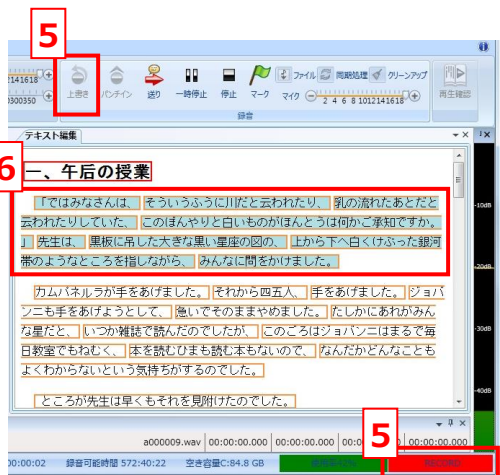
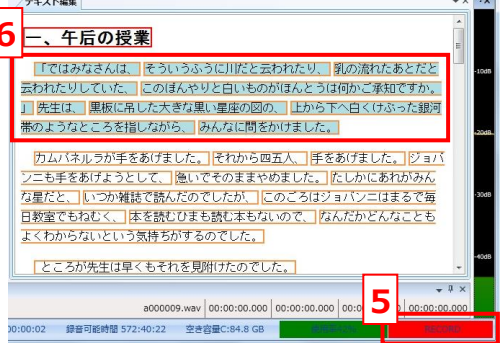
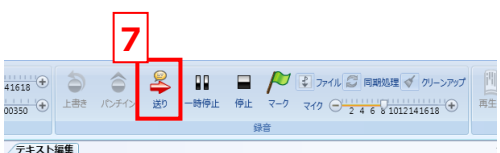
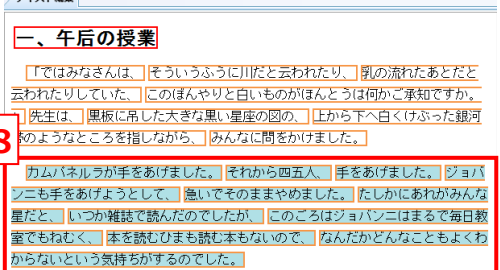
10.1.1 録音の準備をする

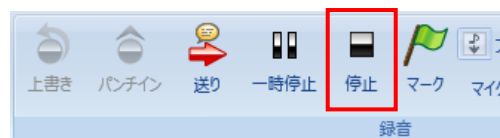
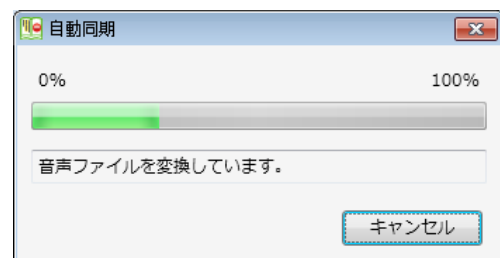
1 録音の前に、マイクを認識していることを確認します。ステータスバー左下が［マイク］と表示されていれば、マイクは正しく認識されています。［なし］の状態はマイクが正しく認識されていません。内蔵マイクを利用している場合は正しく動作しているか、外付けマイクを利用している場合はパソコンとの接続に問題が無いか確認します。

10.1.2 録音を開始する

1 ［テキスト編集］で録音を開始するフレーズをクリックします。

2 リボン［再生・録音］の［録音］［上書き］をクリックします。

3 テスト録音が開始します。

4 読みあげを行い、レベルメーターの反応を確認します。また、レベルメーターの値が-10dB 前後になるように、マイクの音量や発声音量を調整します。

5 再度［上書き］をクリックすると、録音が開始します。

6 水色でハイライトされたフレーズが録音を行う範囲となりますので、読み上げを行います。

7 リボン［再生・録音］の［録音］［送り］をクリックし、録音範囲を次に移動します。

8 次の録音範囲が水色でハイライトされますので、同様に読み上げを行います。

9 同様の手順を繰り返し、録音を続けます。

10 リボン［再生・録音］の［録音］［停止］をクリックして録音を終了します。

11 録音が停止し、音声とフレーズの同期処理が行われます。

<ポイント>

● 録音はプロジェクト、もしくはセクションの終端で終了します。

<注意>

● 正しく同期処理が行えなかった場合は、手動で同期位置を修正してください。

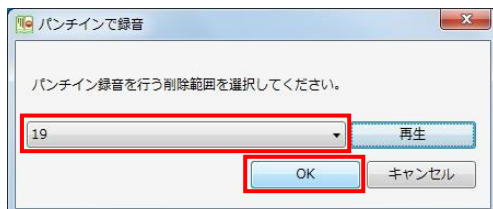
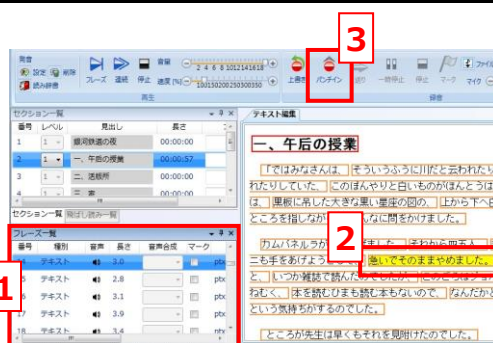
【10 章 3 同期位置を手動で修正する 参照】

10章2 範囲を指定して録音をする

1 パンチイン録音の前に、［フレーズ一覧］で録音する範囲を確認します。

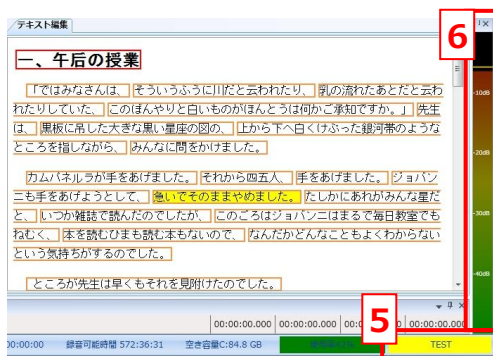
2 ［テキスト編集］で録音を開始するフレーズをクリックします。

3 リボン［再生・録音］の［録音］［パンチイン］をクリックします。

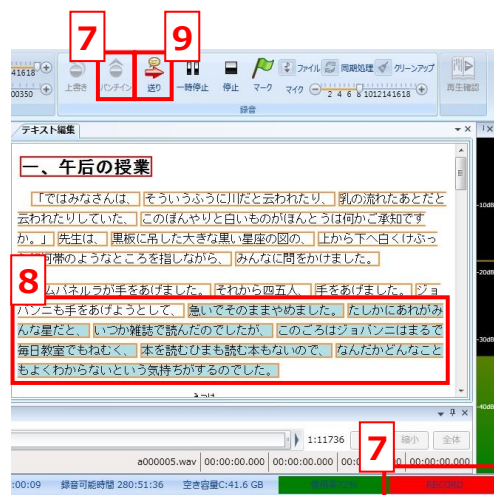
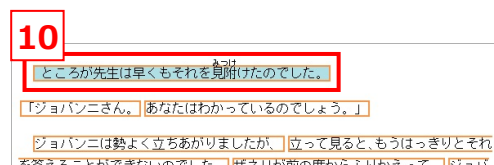
4 ［パンチインで録音］が表示されますので、録音範囲の最後のフレーズ番号を選択し、［OK］をクリックします。

<ポイント>

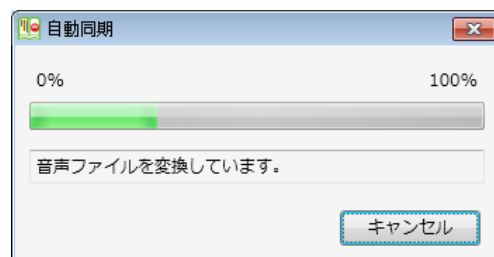
● ［再生］をクリックすると、選択されているフレーズの音声を確認できます。

5 テスト録音が開始します。

6 読みあげを行い、レベルメーターの反応を確認します。また、レベルメーターの値が-10dB 前後になるように、マイクの音量や発声音量を調整します。

7　再度［パンチイン］をクリックすると、録音が開始します。

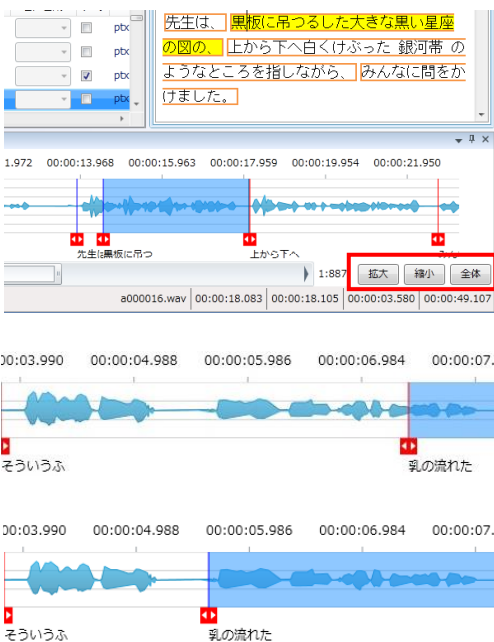
8　水色でハイライトされたフレーズが録音を行う範囲となりますので、読み上げを行います。

9　リボン［再生・録音］の［録音］［送り］をクリックし、録音範囲を次に進めます。

10　次の録音範囲が水色でハイライトされますので、同様に読み上げを行います。

11　同様の手順を繰り返し、録音を続けます。

12　［停止］もしくはパンチイン録音の範囲が終了すると、録音が停止し、音声とフレーズの同期処理が行われます。

10章3 同期位置を手動で修正する

1　［波形表示］の右下の［拡大］［縮小］をクリックして同期位置を変更しやすい大きさにします。

2　音声とフレーズの内容が一致していないフレーズをクリックします。

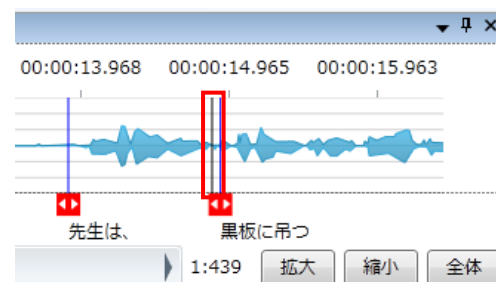
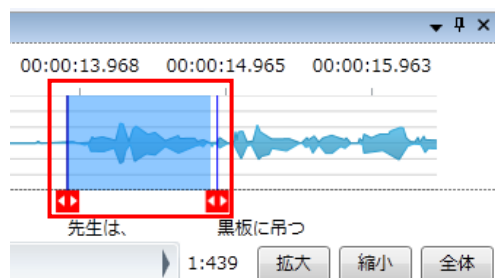
3　選択したフレーズの波形が表示されますので、フレーズとの同期位置を示す赤い線の下の［◀▶］を左右に移動し、正しい位置に設定します

10章4 波形の編集をする

10.4.1 波形をコピー／貼り付けをする

1 ［波形表示］でコピーする範囲を選択します。

2 選択した範囲をコピー（Ctrl＋C キー）します。

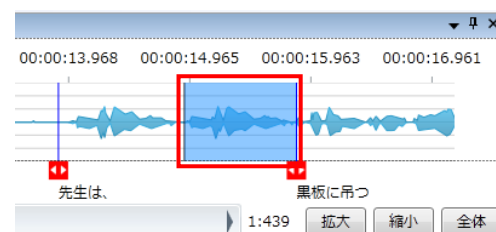
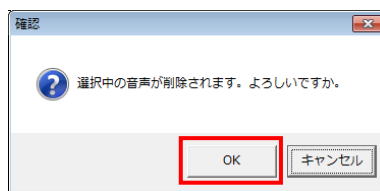
3 貼り付ける位置をクリックします。

4 波形を貼付け（Ctrl＋V キー）します。

<注意>

- マウスでクリックした位置（開始点）よりも前（左方向）に範囲を設定することはできません。

10.4.2 波形を削除する

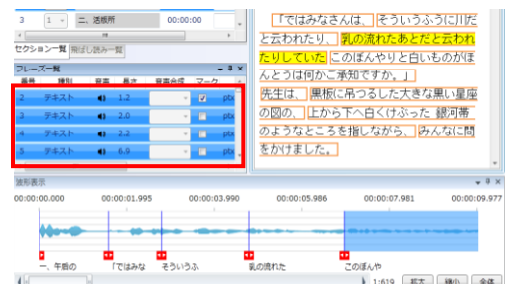
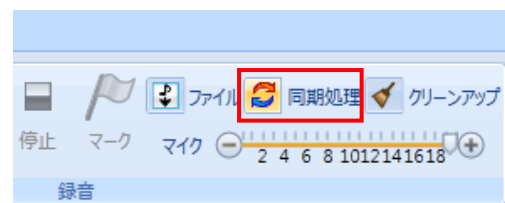
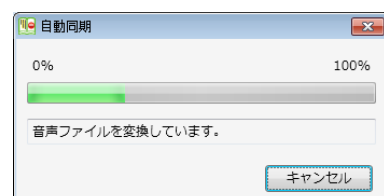
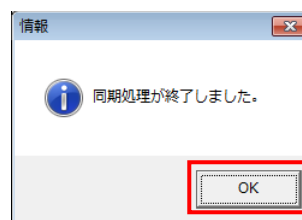
1 ［波形表示］で削除する範囲を選択します。

2 選択した範囲を削除（Del キー）します。

3 確認メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

<ポイント>

- フレーズの音声を削除する場合は、［フレーズ一覧］で音声を削除するフレーズを選択して削除（Ctrl+Del キー）できます。
- セクションの音声を削除する場合は、［セクション一覧］で音声を削除するセクションを選択して削除（Ctrl+Del キー）できます。

10章5 同期位置を再設定する

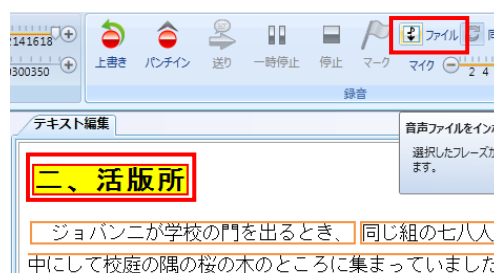
同期位置が正しくない場合は、手動で修正する他に、範囲を選択して再度同期処理をすることができます。

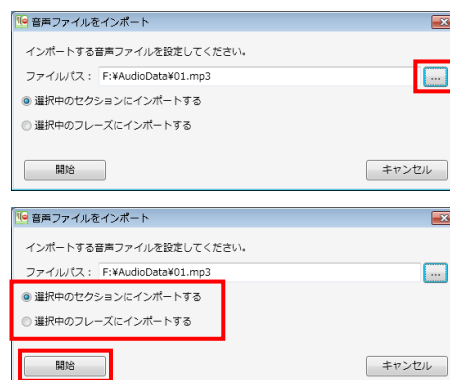
1 ［フレーズ一覧］で同期処理をする範囲を選択します。

2 リボン［再生・録音］の［録音］［同期処理］をクリックします。

3 同期処理が開始します。

4 同期処理が完了すると、終了メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

10章6 他の音声を取り込む

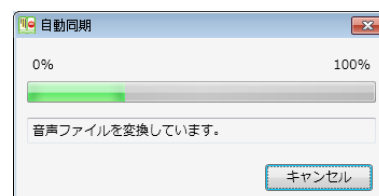
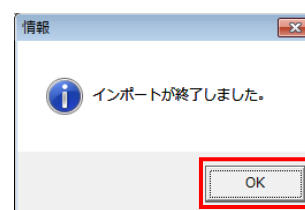
音声インポートは他で録音した音声を取り込むことができます。

【18 章 4 インポート可能な音声フォーマット一覧 参照】

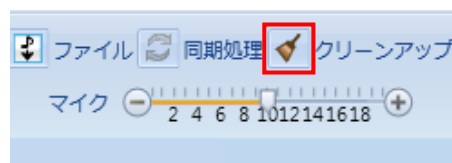
1 ［テキスト編集］で音声ファイルを取り込む先頭のフレーズをクリックします。

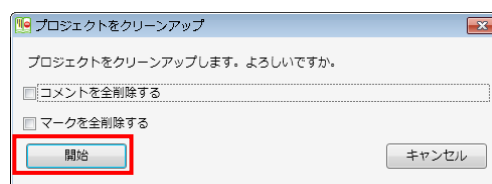
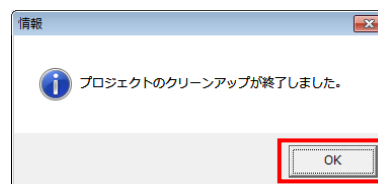
2 リボン［再生・録音］の［録音］［ファイル］をクリックします

［音声ファイルをインポート］が表示されますので、取り込む音声を選択します。

3 音声を取り込む先を設定し、［開始］をクリックします。

選択項目	説明
選択中のセクションにインポートする	表示しているセクションの全フレーズに音声を取り込みます。
選択中のフレーズにインポートする	選択しているのフレーズに音声を取り込みます。

4 インポート処理が開始します。

5 終了メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

11章 クリーンアップ

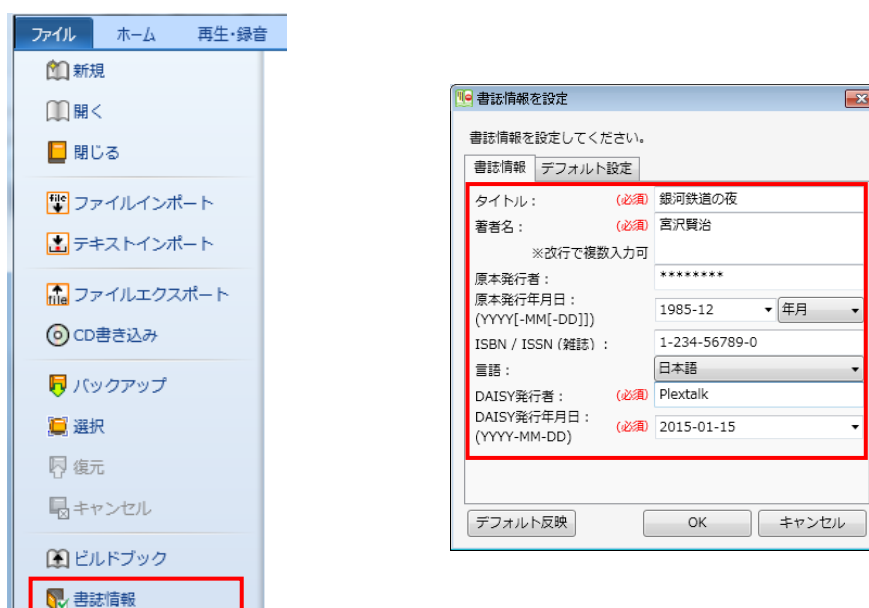
この章では、プロジェクト内に含まれている不要なファイルを削除し、音声ファイルを再構築しハードディスクの容量を確保する方法について説明します。

1 リボン［再生・録音］の［録音］［クリーンアップ］をクリックします。

2 ［プロジェクトをクリーンアップ］が表示されますので、［開始］をクリックします。

選択項目	説明
コメントを全削除する	プロジェクト内のコメントを全て削除します。
マークを全削除する	プロジェクト内のマークを全て削除します。

3 クリーンアップが完了すると終了メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

12章 書誌情報

この章では、書誌情報の設定方法について説明します。

1　リボン［ファイル］の［書誌情報］をクリックします。

2　［書誌情報を設定］が表示されますので、［書誌情報］内の各情報を設定します。

記入項目	説明
タイトル（必須）	原本書名を入力します。（全角可） 自動的にプロジェクト名が入ります。
著者名（必須）	原本著者名を入力します。（全角可） 改行することで複数入力可能です。
原本発行者	原本発行者を入力します。（全角可）
原本発行年月日	原本発行年月日を入力します。（半角） 年４桁、月２桁、日２桁
ISBN/ISSN	原本 ISBN、ISSN を入力します。（半角）
言語	使用言語を選択します。
DAISY 発行者（必須）	DAISY 図書の製作施設・団体名を入力します。（全角可）
DAISY 発行年月日（必須）	DAISY 図書の発行年月日を入力します。（半角） 年４桁、月２桁、日２桁

<ポイント>

- ［デフォルト設定］に設定された情報は、［デフォルト反映］をクリックすることで書誌情報に反映できます。また、プロジェクト作成時に書誌情報に反映されます。

<注意>

- 必須項目および［ISBN/ISSN］が未設定、もしくは［原本発行年月日］で［年］［年月］を指定した場合は、ビルドブック時に警告が表示されます。

13章 ビルドブック

この章では、編集が終了したプロジェクトから DAISY、EPUB 形式に出力する方法について説明します。

DAISY 出力形式		説明
DAISY2.02	音声 (audioNcc)	音声のみの DAISY2.02 を出力します。
	マルチメディア (audioFullText)	テキストと音声の DAISY2.02 を出力します。
DAISY3	テキスト(textNCX)	テキストのみの DAISY3 を出力します。
	マルチメディア (audioFullText)	テキストと音声の DAISY3 を出力します。
EPUB3	テキスト	テキストのみの EPUB3 を出力します
	マルチメディア (Media Overlays)	テキストと音声の EPUB3 を出力します。

<ポイント>

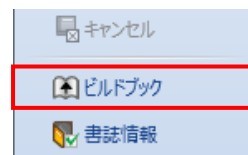
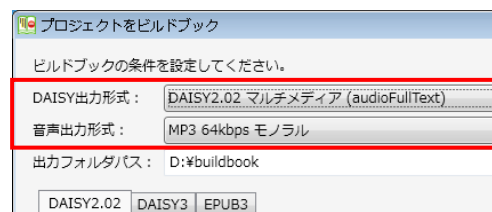
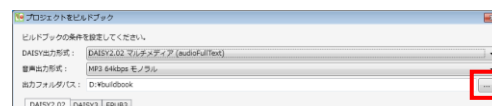
- 音声が録音されていないプロジェクトは、音声 DAISY またはマルチメディア DAISY で出力する際に音声合成により音声が生成されます。
  【15.1.3 音声合成の設定をする 参照】

＜注意＞

- DAISY3 と EPUB3 出力時はバリデータにより妥当性のチェックが行われます。不適切な箇所が発見された場合はメッセージが表示されるので、メッセージの内容に沿って修正を行ってください。

13章1 DAISY2.02 形式で出力する

DAISY2.02 形式のビルドブックは、音声 DAISY とマルチメディア DAISY の 2 つの出力に対応しています。

1 リボン［ファイル］の［ビルドブック］をクリックします。

2 [プロジェクトをビルドブック]が表示されますので、出力形式を選択します。

3 ［出力フォルダパス］の［…］をクリックしてビルドブック先のフォルダを選択します。

<注意>

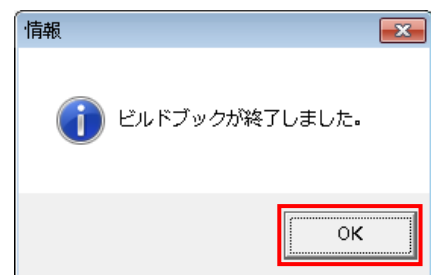
- ビルドブック先のフォルダ名は、必ず半角英数字で指定します。
- ビルドブック先のフォルダに既にファイルが存在する場合はすべて削除されます。

4 ［DAISY2.02］タブの設定をします。

設定項目	説明	
文字コード	出力時の文字コードを設定します。	
	Shift_JIS	日本語を表す文字コードです。DAISY2.02 の図書で広く使用されています。
	UTF-8	日本語以外の文字も含めた文字コードです。多くの文字がサポートされています。
テキストファイル出力設定	テキスト出力時の形式を選択します。	
	XHTML1.0 (ルビ無し)	DAISY2.02 正規のファイル形式となります。ルビが省かれるため、バリデータでエラーとなりません。
	XHTML1.1 (ルビ有り)	DAISY2.02 規格外のファイル形式となります。ルビに対応したファイル形式となります。規格外の形式ですが、ほとんどの場合、再生での影響はありません。

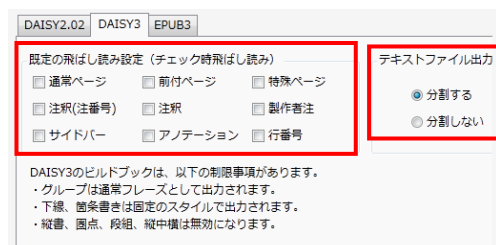
5 他の設定を行い、[開始]をクリックします

設定項目	説明
本文中のページを表示しない	再生時に本文が表示される際にページを非表示にします。 再生環境によっては表示される場合があります。
ビルドブック後に再生確認する	ビルドブック後に、PLEXTALKProducer 再生確認用ソフトウェアを起動して、再生を確認します。
ビルドブック後に出力フォルダを表示する	ビルドブック後に、出力したフォルダを表示します。

6 ビルドブックが完了すると終了メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

13章2 DAISY3 形式で出力する

DAISY3 形式のビルドブックは、テキスト DAISY とマルチメディア DAISY の 2 つの出力に対応しています。

1　［DAISY2.02 形式で出力する］同様に出力先までを設定します。

2　［DAISY3］タブの設定をします

設定項目	説明
既定の飛ばし読み設定	飛ばし読み設定されているフレーズの読み上げの有無を設定します。チェックを入れた項目は、再生機や再生ソフトでの再生時に、飛ばし読みの設定をしなくても、最初から飛ばし読みされます。
テキストファイル出力設定	テキストファイルの出力設定をします。 [分割する]にチェックを入れるとセクションレベル 1 ごとにテキスト(xml ファイル)が分割されます。[分割しない]にチェックを入れるとプロジェクト全体で 1 つのテキストになります。

3　他の設定を行い、[開始]をクリックします。

4　ビルドブックが完了すると終了メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします

13章3 EPUB３形式で出力する

EPUB3 形式でのビルドブックは、テキストのみの EPUB とテキストと音声の EPUB3 の 2 つの出力に対応しています。

1 ［DAISY2.02 形式で出力する］同様に出力先までを設定します。

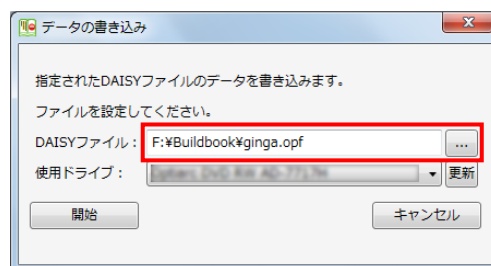
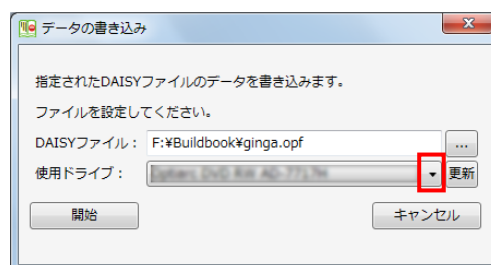
2 他の設定を行い、[開始]をクリックします。

3 ビルドブックが完了すると終了メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします

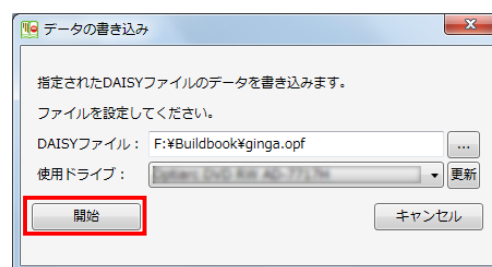
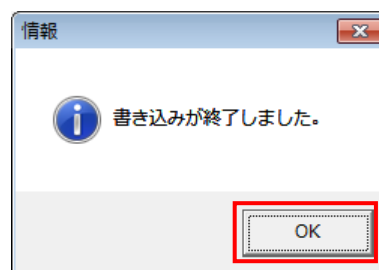
14章 CD 書き込み

この章では、DAISY 図書を CD に書き込む方法について説明します。

1　リボン［ファイル］の［ファイル］［CD 書き込み］をクリックします。

2　［データの書き込み］が表示されますので、［...］をクリックして書き込みを行う DAISY 図書を選択します。

3　使用ドライブの［▼］をクリックして、書き込みに使用するドライブを選択します。

<ポイント>

● ドライブが表示されない場合は、［更新］をクリックすると更新されます。

4　［開始］をクリックします。

5　書き込みが完了すると終了メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

項目	設定値
対応ディスク	CD-R/RW ※ 空のディスクのみとなります
書き込みフォーマット	Joliet
書き込み速度	最高速度
書き込み方式	セッションアットワンス ※ 追記書き込みは行えません

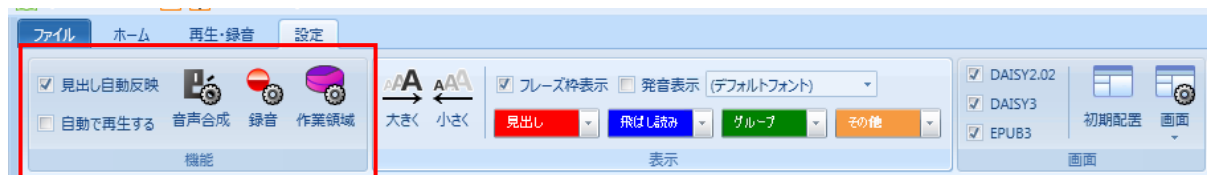
<ポイント>

- DAISY2.02 および DAISY3 はフォルダ内に書き込まれ、discinfo.html および distinfo.dinf がルートに自動で生成されます。

15章 各種設定

この章では、様々な機能を利用する際に必要な設定方法を説明します。

15章1 機能設定

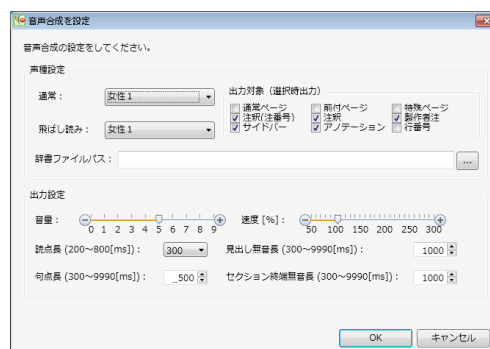
リボン［設定］の［機能］グループは、様々な機能に関する設定をします。

15.1.1 見出しを自動で反映する

［テキスト編集］で見出しとなる文字列を変更した時に、セクションの見出しに反映します。

15.1.2 選択したフレーズを自動で再生する

フレーズを選択した際に、自動でフレーズを再生します。

15.1.3 音声合成の設定をする

音声合成の設定をします。間の調整や声種、出力対象などを設定します。

設定項目	説明	初期値
通常	通常のフレーズを読み上げる声種を４つの中から選択します。（女性１・2、男性１・2）	女性１
飛ばし読み	飛ばし読みが設定されているフレーズを読み上げる声種を４つの中から選択します。（女性１・2、男性１・2）	女性１
出力対象	飛ばし読みが設定されているフレーズの読み上げやビルドブック時に、種別に応じて音声出力を無効に設定します。	通常ページ：なし 前付ページ：なし 特殊ページ：なし 注釈(注番号)：あり 注釈：あり 製作者注：あり サイドバー：あり アノテーション：あり 行番号：なし
辞書ファイルパス	ユーザー辞書ファイルを設定します。 【17 章 ユーザー辞書ツール 参照】	—

<ポイント>

- 個別のフレーズで読み上げる声種を変更したい場合は、［フレーズ一覧］で音声合成の声種を設定します。
- 「音声 ＞ フレーズの声種 ＞ 音声合成設定の声種」の優先順位で再生および音声出力が行われます。

設定項目	説明	初期値
音量	音声合成の音量を設定します。	5
速度	音声合成の速度を設定します。	100%
読点長	読点(、)での間の長さを設定します。	300ms
句点長	句点(、)での間の長さを設定します。	500ms
見出し無音長	見出しの間の長さを設定します。	1000ms
セクション終端音長	セクション終端の間の長さを設定します。	1000ms

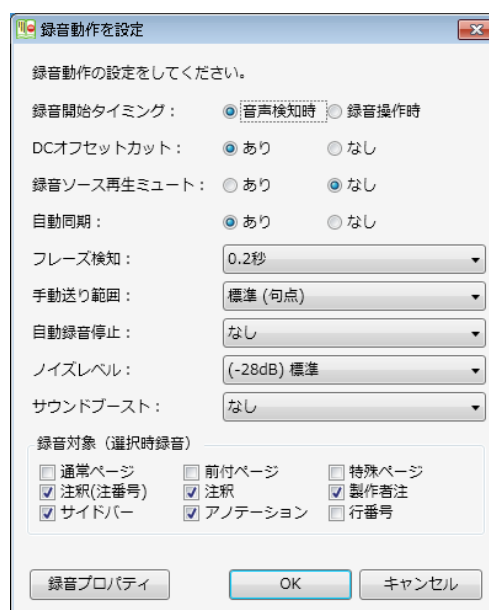
<ポイント>

- 再生時の音量や速度は、音声合成設定の各値を基準に設定されます。音声合成設定の速度が 200%とし、再生速度を 200%とすると実際には 400%の速度で再生されます。

<注意>

- ［句点長］設定は［読点長］設定より短く設定できません。

15.1.4 録音の設定をする

録音や音声インポートに関する設定をします。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th colspan="2">説明</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td rowspan="3">録音開始タイミング</td><td colspan="2">録音を開始するタイミングを設定します。</td><td rowspan="3">音声検知時</td></tr>
<tr><td>音声検知時</td><td>音声を検出した時に録音を開始します。</td></tr>
<tr><td>録音操作時</td><td>録音を操作した時点ですぐに録音を開始します。</td></tr>
<tr><td>DC オフセットカット</td><td colspan="2">直流（DC）電源ノイズがのる場合に設定します。</td><td>あり</td></tr>
<tr><td>録音ソース再生ミュート</td><td colspan="2">録音時に録音ソースの再生をミュートにします。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>自動同期</td><td colspan="2">音声とテキストを自動同期します。</td><td>あり</td></tr>
<tr><td>フレーズ検知</td><td colspan="2">自動同期位置の検出時間を設定します。</td><td>0.2 秒</td></tr>
<tr><td>手動送り範囲</td><td colspan="2">録音時の手動で送る範囲を設定します。</td><td>標準(句点)</td></tr>
<tr><td>自動録音停止</td><td colspan="2">音声の入力が無い場合に、自動で録音が停止する時間の設定をします。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>ノイズレベル</td><td colspan="2">バックグラウンドノイズの大きさを設定します。</td><td>(-28dB)標準</td></tr>
<tr><td>サウンドブースト</td><td colspan="2">録音音量をブーストの設定をします。</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>録音対象</td><td colspan="2">音声の割り当てを行うか設定します。
チェックをなしに設定すると、録音や音声インポート時に音声が割り当てられません。</td><td>通常ページ：なし
前付ページ：なし
特殊ページ：なし
注釈(注番号) ：あり
注釈：あり
製作者注：あり
サイドバー：あり
アノテーション:あり
行番号：なし</td></tr>
<tr><td>録音プロパティ</td><td colspan="2">Windows の［録音プロパティ］を表示します。</td><td>―</td></tr>
</table>

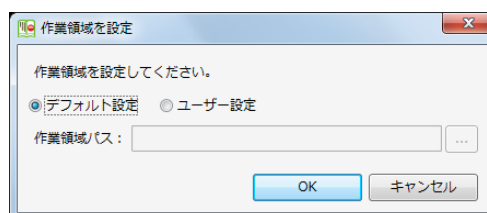
<ポイント>

- 自動同期で区切り位置が検出できない場合は［DC オフセットカット］［ノイズレベル］［フレーズ検知］を調整してください。
- 録音時にノイズがのる場合は、［録音ソース再生ミュート］を［なし］に設定してください。

<注意>

- ［自動同期］を［なし］に設定すると、［フレーズ検知］［手動送り範囲］の設定が無効となります。尚、その際に［手動送り範囲］は［短い（フレーズ）］固定となります。

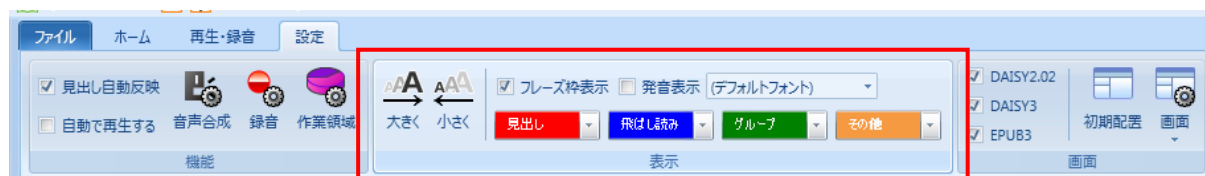
15.1.5 作業領域の設定をする

作業領域に関する設定をします。

設定項目	説明	初期値
デフォルト設定	作業領域をデフォルトに設定します。	チェックあり
ユーザー設定	作業領域をユーザーが任意に設定します。	チェックなし
作業領域パス	作業領域をユーザー設定にした時は、任意のパスを設定します。	-

15章2 表示設定

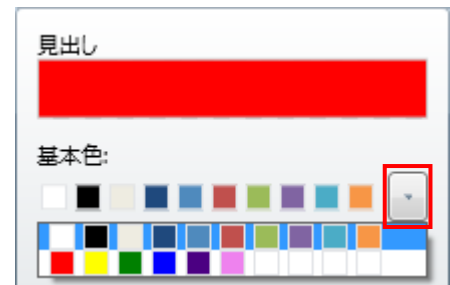
リボン［設定］の［表示］グループは、テキスト編集に関する設定をします。

<注意>

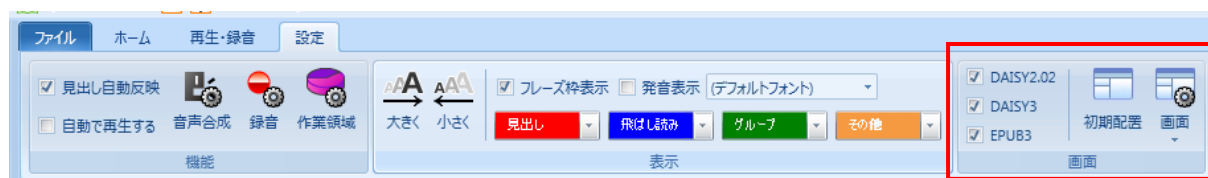
- 表示設定は本ソフトウェアを使用する際の設定となります。ビルドブックした図書には反映されません。

設定項目	説明	初期値
大きく	表示されているテキストを大きく表示します。	―
小さく	表示されているテキストを小さく表示します。	―
フレーズ枠表示	フレーズごとに枠で囲み表示します。	チェックなし
発音表示	フレーズに設定されている発音を表示します。	チェックなし
フォント	表示するフォントを選択します。	―
見出し枠色	見出しに該当するフレーズの枠色を設定します。	赤
飛ばし読み枠色	飛ばし読みに該当するフレーズの枠色を設定します。	青
グループ枠色	グループに該当するフレーズの枠色を設定します。	緑
その他枠色	上記に該当しないフレーズの枠色を設定します。	オレンジ

15.2.1 各種別の枠色を設定する

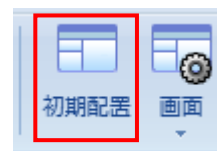
1 ［設定］の［見出し］［▼］をクリックします。

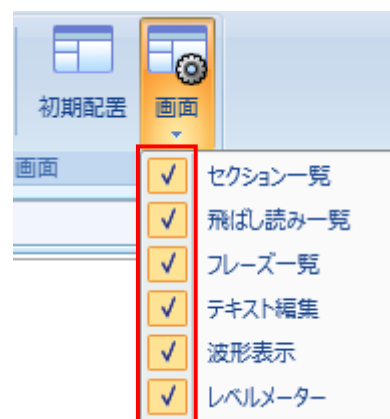
2 カラーパレットが表示されますので、色を選択します。また、カラーパレットの［▼］をクリックすると、別のパレットを選択できます。

3 ［飛ばし読み］、［グループ］、［その他］も同様の操作で変更が可能です。

15章3 画面設定

リボン［設定］の［画面］グループは、画面やメニューに関する設定をします。

設定項目	説明	初期値
DAISY2.02	DAISY2.02 で有効な機能のみ操作可能とします。 【18 章 1 DAISY 出力対応機能一覧 参照】	チェックあり
DAISY3	DAISY3 で有効な機能のみ操作可能とします。 【18 章 1 DAISY 出力対応機能一覧 参照】	チェックあり
EPUB3	EPUB3 で有効な機能のみ操作可能とします。 【18 章 1 DAISY 出力対応機能一覧 参照】	チェックあり
初期配置	各画面をインストール時の状態に戻します。	—
画面	各画面の表示・非表示を切り替えます。	チェックあり

15.3.1 画面をインストール時の状態に戻す／非表示にする

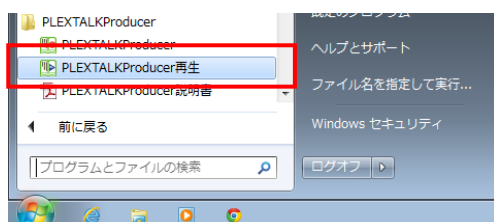
1 画面をインストール時の状態に戻す時は、［初期配置］をクリックします。

2 メニュー［設定］の［画面］をクリックします。

3 画面の一覧が表示されますので、表示する画面にチェックを入れます。また、非表示にする場合は画面のチェックを外します。

16章 PLEXTALKProducer 再生確認用ソフトウェア

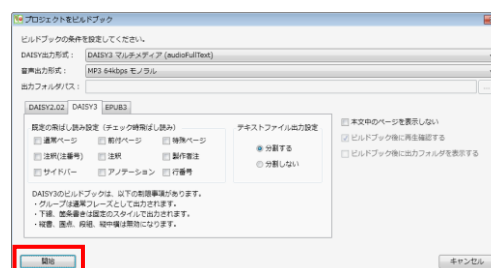
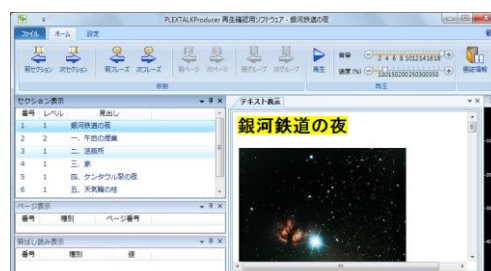
この章では、PLEXTALKProducer 再生確認用ソフトウェアの機能について説明します。

16章1 起動と終了

16.1.1 起動する

1 スタートメニューから［すべてのプログラム］、［PLEXTALKProducer 再生］をクリックするか、デスクトップ上のショートカット［PLEXTALKProducer 再生］をダブルクリックすると再生確認用ソフトウェアが起動します。

16.1.2 PLEXTALKProducer から起動する

1 PLEXTALKProducer のリボン［再生・録音］の［再生確認］をクリックします。

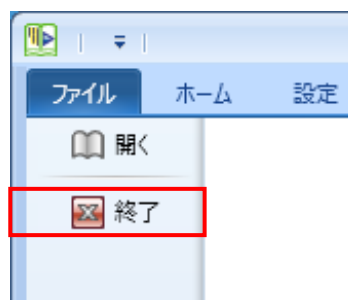
2 ［プロジェクトをビルドブック］が表示されますので、［開始］をクリックします。
【13 章 ビルドブック 参照】

3 ビルドブックが終了すると、［PLEXTALKProducer 再生確認用ソフトウェア］が起動します。

<ポイント>

- 製作中の図書を DAISY 図書としての動作確認ができます。

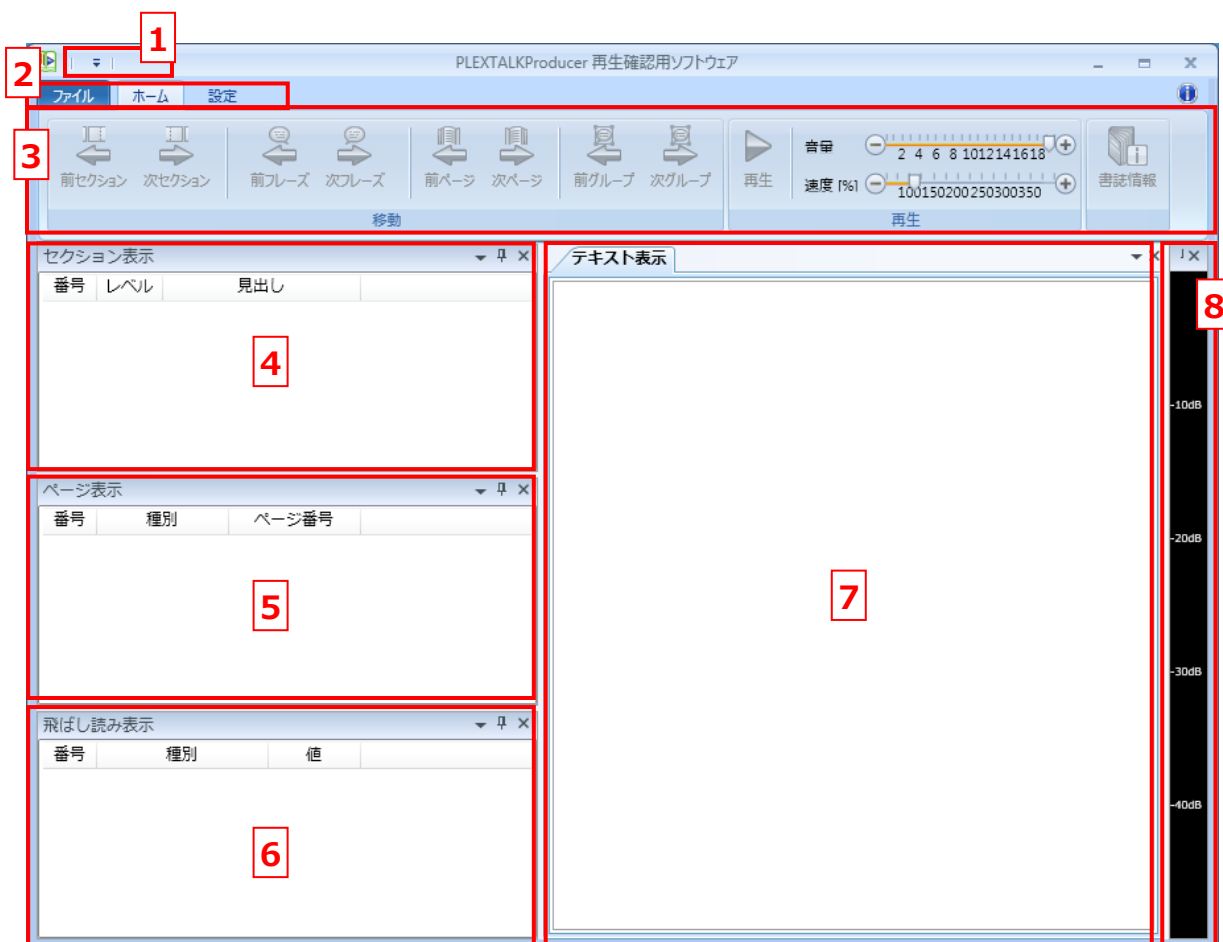
<注意>

- 再生確認時にビルドブックされた図書は一時的なもので保存されません。

16.1.3 終了する

1　リボン［ファイル］の［終了］をクリックします。

16章2 各部名称と働きについて

本ソフトウェアのメイン画面は、リボンで構成されるメニューと、セクション・ページ・飛ばし読み・テキスト表示・レベルメーターで構成されます。

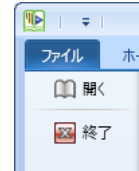
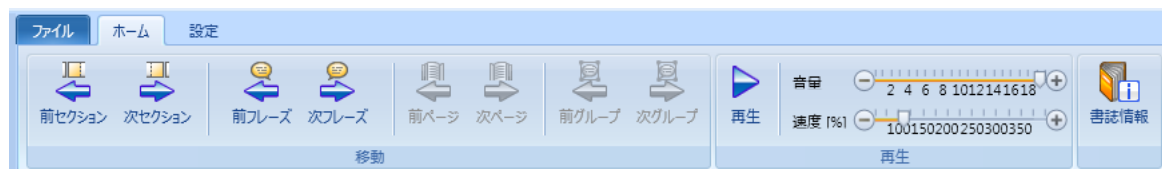
16.2.1 メイン画面について

	項目	説明
1	クイックアクセスツールバー	よく使用する機能を表示する小さくてカスタマイズ可能なツールバーです。
2	タブ	［ファイル］［ホーム］［設定］の３つのタブから構成されます。
3	リボン	タブで選択したメニュー項目が表示されます。
4	セクション表示	図書に含まれるセクションの一覧を表示します。選択したセクションに移動ができます。
5	ページ表示	図書に含まれるページの一覧を表示します。選択したページに移動ができます。
6	飛ばし読み表示	図書に含まれる飛ばし読みの一覧で表示します。選択した飛ばし読みに移動ができます。
7	テキスト表示	図書のテキストを表示します。再生位置をハイライトします。選択したテキストに移動ができます。
8	レベルメーター	現在再生している音声レベルを表示します。

<ポイント>

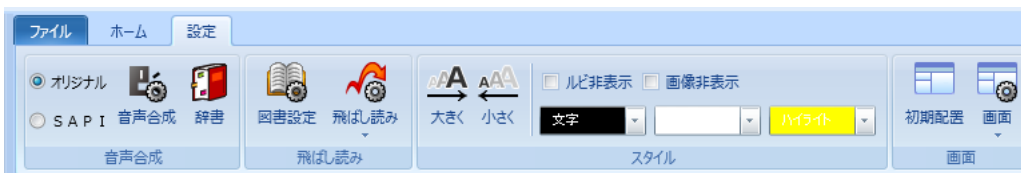
● 各画面は個別の移動や配置の変更が自由にできます。例えばテキスト表示を別画面で確認することができます。

16.2.2 ファイルタブについて

図書やアプリケーションの操作に関する機能で構成されています。

【16.3.1 図書を開く 参照】
【16.1.3 終了する 参照】

16.2.3 ホームタブについて

移動や再生に関する機能で構成されています。

【16 章 3 再生 参照】

16.2.4 設定タブについて

各種機能の設定や画面構成に関する機能で構成されています。

【16 章 4 各種設定 参照】

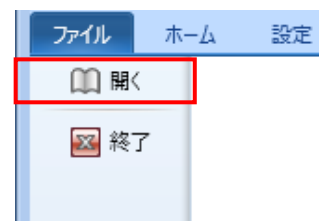
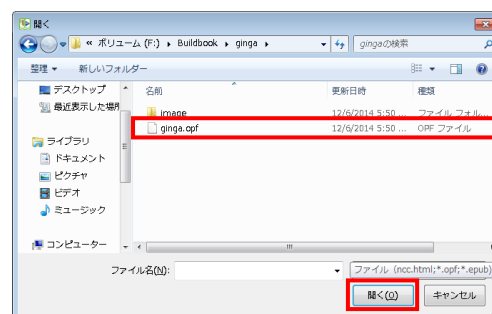
<ポイント>

● 全ての機能にはショートカットキーが設定されています。

【18 章 2 ショートカットキー一覧 参照】

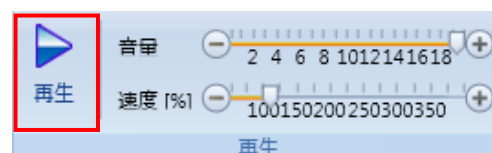
16章3 再生

16.3.1 図書を開く

1　リボン［ファイル］の［開く］をクリックします。

2　再生する図書を選択します。

<ポイント>

● 開くことができるDAISY図書はPLEXTALKProducerで製作された図書のみとなります。

16.3.2 再生する／停止する

1　リボン［ホーム］の［再生］をクリックするとハイライトされているフレーズから再生します。

2　リボン［ホーム］の［一時停止］をクリックすると再生が停止します。

<ポイント>

● ［再生］をクリックすると［一時停止］に切り替わります。

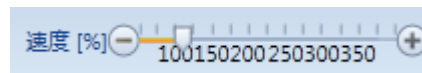
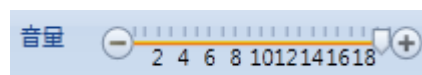
● ［一時停止］以外にも、各機能を操作すると再生が一時停止します。

<注意>

● 連続再生中はフレーズ間に間（ま）が発生します。

16.3.3 再生音量や速度を変更する

1 リボン［再生・録音］の［再生］［音量］を調整すると、再生音量が調整されます。

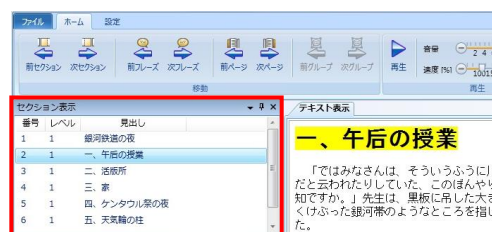
2 リボン［再生・録音］の［再生］［速度］を調整すると、再生速度が調整されます。

16.3.4 再生位置を移動する

1 次のセクションに移動する場合は、［ホーム］の［次セクション］をクリックします。

2 前のセクションに移動する場合は、［ホーム］の［前セクション］をクリックします。

<ポイント>

- フレーズ・ページ・グループも同様に移動することができます。

3 任意のセクションに移動する場合は、［セクション表示］から移動したいセクションをクリックします。

<ポイント>

- ［ページ表示］、［飛ばし読み表示］、［テキスト表示］からも同様に任意の位置に移動することができます。

16.3.5 書誌情報を確認する

図書の書誌情報を確認します。

1　［ホーム］の［書誌情報］をクリックします。

2　［書誌情報確認］が表示されますので、書誌情報を確認して［OK］をクリックします。

16章4 各種設定

16.4.1 音声合成を変更する

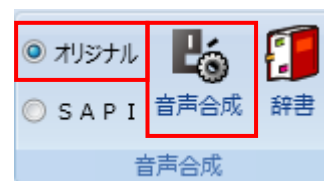
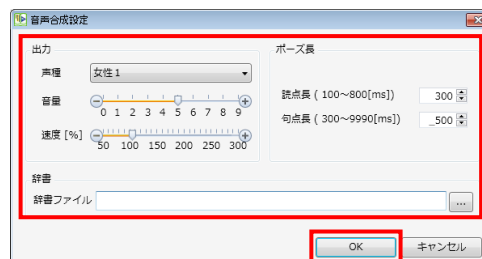
<注意>

- テキスト DAISY を再生するときのみ、この設定が反映されます。

音声合成による読み上げは、本ソフトウェアオリジナルの声種と SAPI に登録されている声種から選択します。

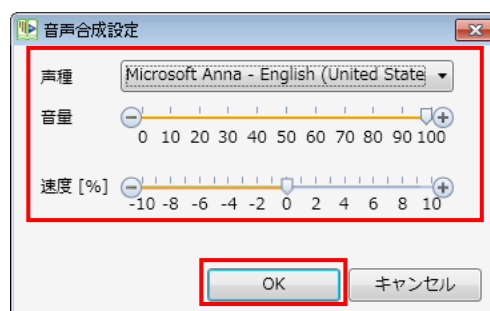
設定項目	説明
オリジナル	読み上げに本ソフトウェアオリジナルの声種を利用します。
SAPI	読み上げに SAPI で登録されている声種を利用します。

16.4.1.1オリジナルの声種を使用する

1 リボン［設定］の［オリジナル］を選択し、［音声合成］をクリックします。

2 ［音声合成設定］が表示されますので、音声合成の設定をし、［OK］をクリックします。

設定項目	説明
出力	［声種］、［音量］、［速度］を変更します。
ポーズ長	［読点長］、［句点長］を変更します。
辞書	［辞書ファイル］を設定します。

16.4.1.2SAPI に登録されている声種を使用する

1 リボン［設定］の［SAPI］を選択し、［音声合成］をクリックします。

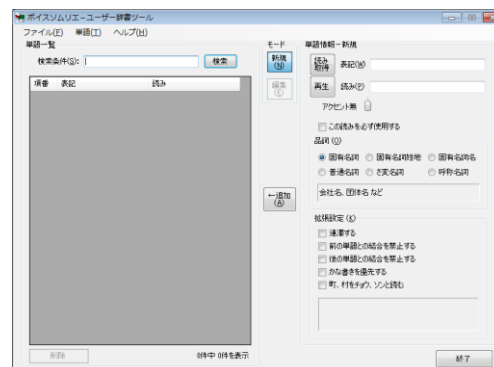
2 ［音声合成設定］が表示されますので、音声合成の設定をし、［OK］をクリックします。

設定項目	説明
声種	SAPI に登録されている声種から設定します。
音量	音量を変更します。
速度	速度を変更します。

16.4.2 音声合成の読み辞書を設定する

ボイスソムリエ用のユーザー辞書ツールを編集できます。

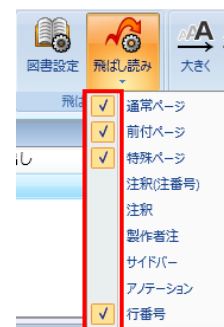
1 リボン［設定］の［辞書］をクリックします。

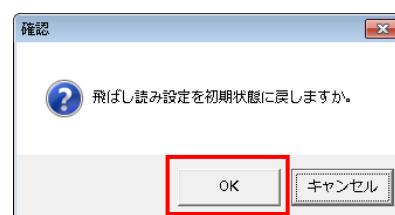
2 「ボイスソムリエ-ユーザー辞書ツール］が表示されます。

【17 章 ユーザー辞書ツール参照】

16.4.3 飛ばし読みの設定をする

飛ばし読みを設定すると、再生時に設定した項目を飛ばして読みます。

1 リボン［設定］の［飛ばし読み］をクリックします。

2 飛ばし読みの項目が表示されますので、飛ばして読む項目をチェックします。

3 飛ばし読み設定を図書の設定に戻す場合は、リボン［設定］の［図書設定］をクリックします。

4 確認メッセージが表示されますので、［OK］をクリックします。

<注意>

● DAISY の形式により飛ばし読み可能な項目が異なります。
　【18 章 1 DAISY 出力対応機能一覧 参照】

16.4.4 テキストのスタイルを設定する

リボン［設定］の［スタイル］グループでは、テキスト表示エリアの文字の拡大／縮小、ルビの表示／非表示、画像の表示／非表示、文字色、背景色、ハイライト色の設定ができます。

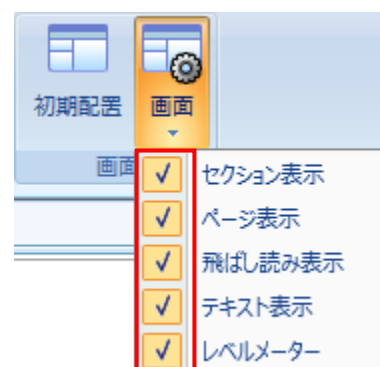
設定項目	説明	初期値
大きく	表示されているテキストのフォントを大きくします。	
小さく	表示されているテキストのフォントを小さくします。	
ルビ非表示	ルビを非表示にします。	チェックなし
画像を非表示	画像を非表示にします。	チェックなし
文字色	文字色を設定します。	黒
背景色	背景色を設定します。	白
ハイライト色	ハイライト色を設定します。	黄色

【15.2.1 各種別の枠色を設定する 参照】

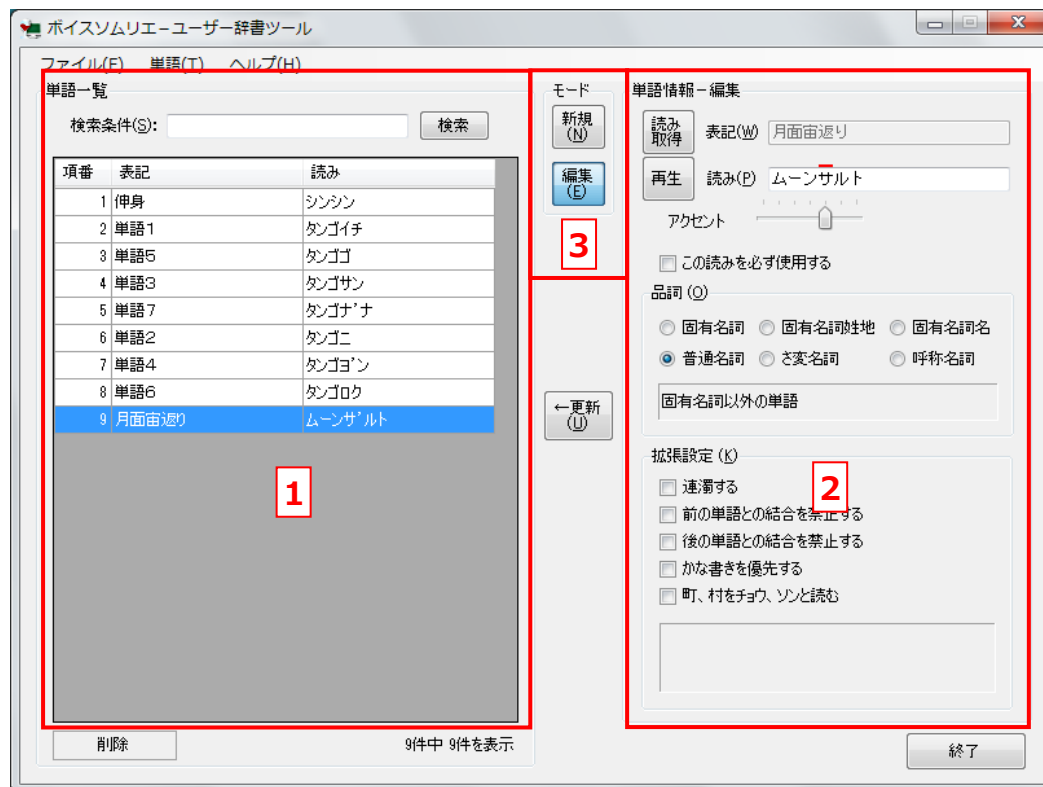
16.4.5 画面をインストール時の状態に戻す／非表示にする

1　画面をインストール時の状態に戻す時は、［初期配置］をクリックします。

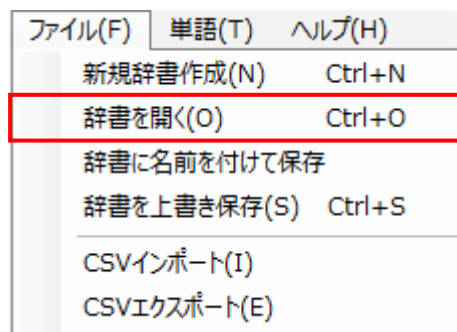
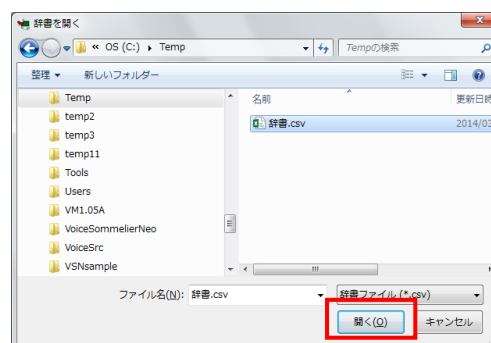
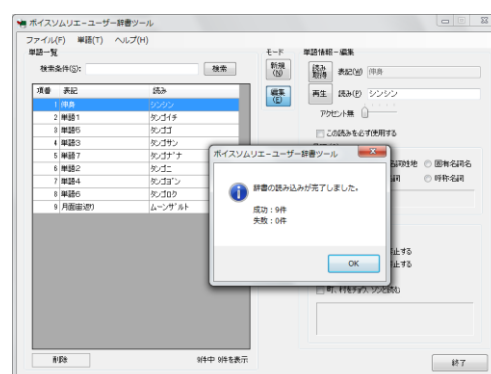
2　メニュー［設定］の［画面］をクリックします。

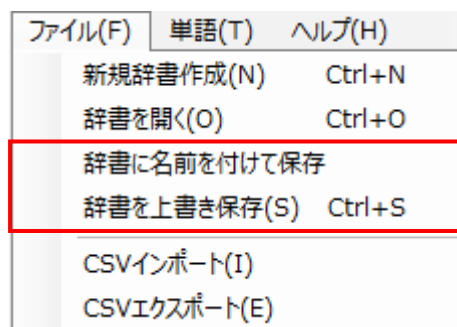
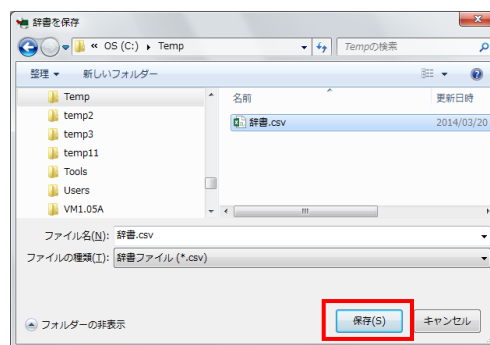
3　画面の一覧が表示されますので、表示する画面にチェックを入れます。また、非表示にする場合は画面のチェックを外します。

17章 ユーザー辞書ツール

この章では、音声合成の読み辞書の編集方法について説明します。

17章1 各部名称と働きについて

	項目	説明	
1	単語一覧リスト	ユーザー辞書に登録されている単語が一覧表示されます。	
2	単語情報欄	単語情報を入力・修正します。	
3	モード切替	新規モード	新規の単語を登録します。
		編集モード	登録した単語を参照・修正します。

17章2 辞書を開く

1 ［ファイル］［辞書を開く］をクリックします。

2 辞書ファイル（.csv）を選択し、［開く］をクリックします。

3 辞書の内容が、単語一覧リストに反映されます。

17章3 辞書を保存する

1 ［ファイル］［辞書に名前を付けて保存］もしくは［辞書を上書き保存］をクリックします。

2　［辞書に名前を付けて保存］の場合は、辞書ファイル名を指定し、［保存］をクリックします。

<ポイント>

- 保存した辞書ファイルを［PLEXTALKProducer］で使用する場合は、設定が必要です。【15.1.3 音声合成の設定をする 参照】
- 2 種類の辞書ファイル（.csv、.dic）が保存されます。CSV ファイルは［ユーザー辞書ツール］用のファイルとなり、DIC ファイルは［PLEXTALKProducer］用のファイルとなります。

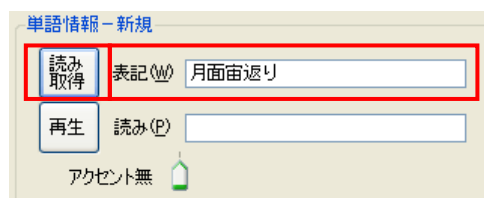
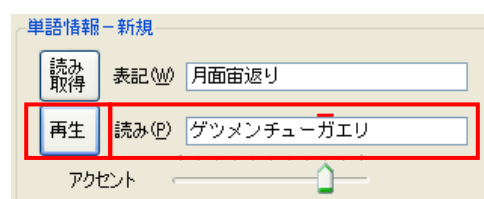
<注意>

- 辞書の保存には、最低 1 件のデータが必要となります。

17章4 辞書を修正する

17.4.1 単語を追加する

1　［新規］をクリックし新規モードにします。

2　単語の［表記］を入力し、［読み取得］をクリックします。

3　［読み］に解析結果が表示されますので、［再生］をクリックし読み上げを確認します。

4 読み上げを確認しながら、アクセント位置を調整します。

5 必要に応じて［この読みを必ず使用する］を設定します。

<ポイント>

- 登録した品詞や、前後の文章内容に関わらず、文中に対象表記が現れた箇所を、強制的に登録した読みにします。登録した読みが適用されない場合は、こちらを設定してください。

6 単語の［品詞］を選択します。

品詞	説明
固有名詞	会社名、団体名などで使用します。
固有名詞姓地	人名（姓）、地名などで使用します。
固有名詞名	人名（下の名前）で使用します。
普通名詞	固有名詞以外の単語で使用します。
さ変名詞	「する」（さ変動詞）をつけて動詞化する単語で使用します。
呼称名詞	部長、課長などで使用します。

<ポイント>

- 名詞以外の単語を登録する場合は［普通名詞］として登録してください。

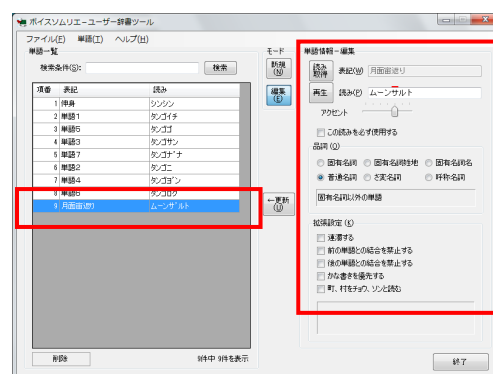
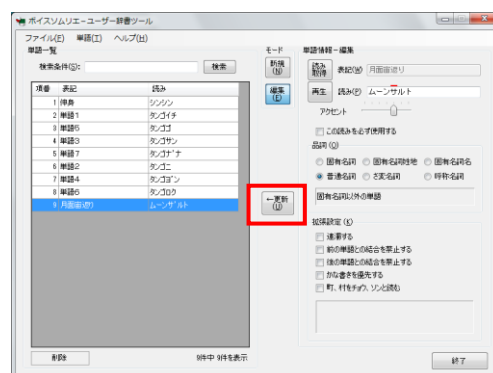
7　必要に応じて［拡張設定］を選択します。

設定	説明
連濁する	この単語が前の単語とアクセント結合（一繋がりのアクセントとなるように単語を接続）したときに濁音化するかどうか。（例：会社【かいしゃ】　→　株式会社【かぶしきがいしゃ】）
前の単語との結合を禁止する	この単語が前の単語とアクセント結合しないかどうか。
後の単語との結合を禁止する	この単語が後の単語とアクセント結合しないかどうか。
かな書きを優先する	この単語が漢字・英字語だった場合に、読みで表記されても、この単語とマッチさせる。（例：蟷螂【かまきり】のように仮名表記されやすい単語でチェック ON にすることで、文章中に「かまきり」と仮名表記があった場合に、辞書登録した発音で読み上げる。）
町、村をチョウ、ソンと読む	この単語に「町」「村」が結合した場合に、「～チョウ」「～ソン」と読む。

8　［追加］をクリックすると、［単語一覧］に追加されます。

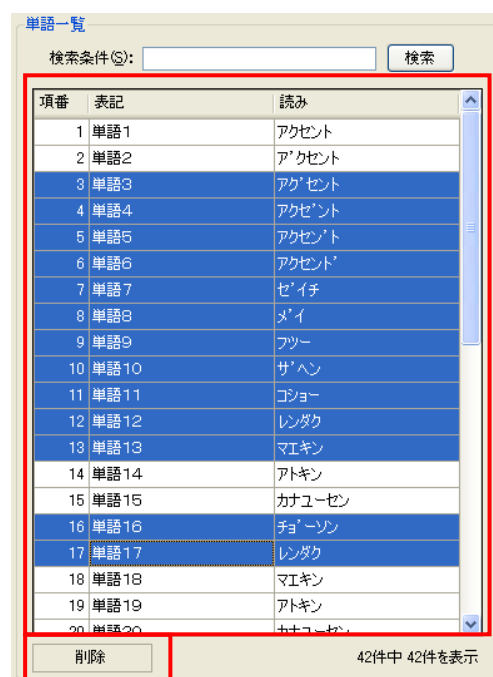
17.4.2 単語を修正する

1　［編集］をクリックし編集モードにします。

2　［単語一覧］から修正する単語を選択すると、［単語情報］に内容が表示されます。

3　必要に応じて修正を行い、［更新］をクリックします。

<注意>

- ［表記］は修正できません。

17.4.3 単語を削除する

1　［単語一覧］から、削除する単語を選択し、［削除］をクリックします。

17章5 インポート、エクスポート

17.5.1 他の辞書を取り込む

辞書を開く操作と同様の手順で行えます。

【17 章 2 辞書を開く 参照】

17.5.2 辞書を取り出す

辞書を保存する操作と同様の手順で行えます。

【17 章 3 辞書を保存する 参照】

18章 付録

18章1 DAISY 出力対応機能一覧

出力時に有効・無効になる編集は次のとおりです。

機能			DAISY2.02	DAISY3	EPUB3
編集	セクション		○	○	○
	飛ばし読み	通常ページ	○※１	○	○
		前付ページ	○※１	○	○
		特殊ページ	○※１	○	○
		行番号	無効	○	○
		ノート	無効	○	○
		ノートレフ	無効	○	○
		アノテーション	無効	○	○
		製作者注	無効	○	○
		サイドバー	無効	○	○
	グループ		○	無効	無効
	フレーズ		○	○	○
	文字の方向		○	横書きのみ	○
フォント	太字		○	○	○
	下線		実線のみ	実線のみ	○
	斜体		○	○	○
	圏点		無効	無効	○
	文字色		○	○	○
	縦中横		無効	無効	○
	ルビ		○	○	○
段落	箇条書き		黒丸のみ	黒丸のみ	○
	段組		無効	無効	○
	配置	左・中・右	○	○	○
		上・中・下	○	左・中・右	○
		字下げ	○	○	○
図表	画像		○	○	○
	表		○	○	○
	枠		○	○	○
	区切り線		○	○	○

※１　ページ情報のみの設定となり、飛ばし読みは行えません。

18章2 ショートカットキー一覧

18.2.1 PLEXTALKProducer ショートカットキー一覧

機能		ショートカットキー
プロジェクト	新規プロジェクト作成	Ctrl+N
	既存プロジェクトを開く	Ctrl+O
	プロジェクトを閉じる	Ctrl+F4
インポート	ファイルインポート	Ctrl+F6
	テキストインポート	Ctrl+F9
エクスポート	ファイルエクスポート	Ctrl+F7
	CD 書き込み	Ctrl+W
バックアップ	バックアップ	Ctrl+Shift＋B
	バックアップの選択	Ctrl+Shift＋V
	バックアップの復元	Enter（バックアップモード時）
	バックアップのキャンセル	Esc（バックアップモード時）
ビルドブック	-	Ctrl＋B
書誌情報	-	Ctrl＋I
終了	-	Alt＋F4
セクション	セクション結合	Ctrl＋J（フォーカス時）
	セクション分割	Ctrl＋Q
	セクション作成	Shift＋Insert
	セクション削除	Delete（フォーカス時）
飛ばし読み	飛ばし読み設定	Ctrl+S
	飛ばし読み解除	Ctrl+Alt+S
フレーズ	フレーズ設定	Ctrl+P
	フレーズ結合	Ctrl+J（フォーカス時）
	フレーズ作成	Ctrl+Insert
	フレーズ削除	Delete（フォーカス時）
	フレーズの自動分割	Ctrl+Enter
グループ	グループ設定	Ctrl+G
	グループ解除	Ctrl+Alt＋G
マーク	マーク設定	Ctrl+M
	マーク解除	Ctrl+M Ctrl+Alt+M
	前へ移動	Ctrl+←
	次へ移動	Ctrl+→
テキスト検索	-	Ctrl+F
縦書き	-	Ctrl+Shift+D

横書き	-	Ctrl+Shift+D
フォント	ルビ設定	Ctrl+Shift+R
	ルビ編集	Ctrl+Shift+Enter（フォーカス時）
	ルビ削除	Ctrl+Alt+R
	ルビ全設定	Ctrl+Shift+A
	ルビ全削除	Ctrl+Alt+A
	太字	Ctrl+B
	斜体	Ctrl＋I
	下線	Ctrl+U
	文字色	Ctrl+L
	圏点	Ctrl+K
画像	画像の挿入	Ctrl+Shift+Insert
	画像の書式	Ctrl+Shift+Enter（フォーカス時）
	画像の削除	Ctrl＋Alt+Insert Delete（フォーカス時）
表	表の挿入	Ctrl+Shift+T
	列の挿入	Ctrl+Shift+C
	行の挿入	Ctrl+Shift+L
	表の書式	Ctrl+Shift+Enter（フォーカス時）
	表の削除	Ctrl+Alt+T（フォーカス時）
	列の削除	Ctrl+Alt+C（フォーカス時）
	行の削除	Ctrl+Alt+L（フォーカス時）
枠	枠の挿入	Ctrl+Shift+F
	枠の書式	Ctrl+Shift+Enter（フォーカス時）
	枠の削除	Ctrl+Alt+F（フォーカス時）
区切り線	区切り線の挿入	Ctrl+Shift+H
	区切り線の削除	Ctrl+Alt+H
箇条書き	箇条書き挿入	Ctrl+Shilt+I
	箇条書き解除	Ctrl+Alt+I
段組	段組の挿入２段	Ctrl+Shift+2
	段組の挿入３段	Ctrl+Shift+３
	段組の挿入４段	Ctrl+Shift+４
	段組の解除	Ctrl+Shift+１
文字揃え（横書き）	左揃え	Ctrl+Shift+←
	中央揃え	Ctrl+Shift+N
	右揃え	Ctrl+Shift+→
文字揃え（縦書き）	上揃え	Ctrl+Shift+↑
	中央揃え	Ctrl+Shift+N
	下揃え	Ctrl+Shift+↓

字下げ	字下げの設定	Ctrl+Space
	字下げの解除	Ctrl+Space
縦中横	縦中横の設定	Ctrl+T
	縦中横の解除	Ctrl+T
履歴	元に戻す	Ctrl+Z
	やり直す	Ctrl+Y
発音	発音の設定	Ctrl+Shift+P
	発音の削除	Ctrl+Alt+P
	辞書	Ctrl+D
再生	フレーズ再生	Shift+F5
	連続再生	F5
	再生停止	Space
	再生音量を上げる	F3
	再生音量を下げる	Shift+F3
	再生速度を早くする	F6
	再生速度を遅くする	Shift＋F6
録音	上書き	F8
	パンチイン	Shift+F8
	送り	Enter
	一時停止	Shift+Space
	停止	Space
	マーク	M
	音声ファイルインポート	Ctrl+F8
	同期処理	F7
	クリーンアップ	Shift+F7
	マイク音量を上げる	F4
	マイク音量を下げる	Shift+F4
再生確認	-	Ctrl+F5
設定	音声合成	Ctrl+Shift+S
	録音	Ctrl+R
	作業領域	Ctrl+Shift+W
	文字サイズ大きく	Ctrl+Shift+＋
	文字サイズ小さく	Ctrl+Shift+-
	画面初期配置	F12
テキスト編集	コピー	Ctrl+C
	貼り付け	Ctrl+V
	段落挿入	Shift+Enter
	文字列の回り込み解除	Ctrl+E
	選択範囲のスタイル解除	Shift+Delete

	次の段の先頭に設定	Ctrl+Alt+Enter
フレーズ一覧	音声コピー	Ctrl+C
	音声貼り付け	Ctrl+V
	フレーズ削除	Delete
	フレーズの音声削除	Ctrl+Delete
	上へ移動	Ctrl+Alt+↑
	下へ移動	Ctrl+Alt+↓
セクション一覧	セクション削除	Delete
	セクションの音声削除	Ctrl+Delete
	上へ移動	Ctrl+Alt+↑
	下へ移動	Ctrl+Alt+↓
波形表示	コピー	Ctrl+C
	貼り付け	Ctrl+V
	削除	Delete
	拡大	Ctrl+↑
	縮小	Ctrl+↓
	全体表示	Ctrl+Shift+↓
バージョン情報	-	F1

18.2.2 再生確認用ソフトウェアショートカットキー一覧

機能		ショートカットキー
ファイル	開く	Ctrl+O
	終了	Alt+F4
移動	前セクション	Ctrl+←
	次セクション	Ctrl+→
	前フレーズ	←
	次フレーズ	→
	前ページ	Ctrl+↑
	次ページ	Ctrl+↓
	前グループ	Shift+←
	次グループ	Shift+→
再生	連続再生	F5
	再生停止	F5
	再生音量を上げる	F3
	再生音量を下げる	Shift+F3
	再生音量をミュートにする	Ctrl+Shift+F3
	再生速度を早くする	F6
	再生速度を遅くする	Shift+F6
	再生速度を標準にする	Ctrl+Shift+F6
書誌情報	-	Ctrl＋I
設定	オリジナル・SAPI 切り替え	Ctrl＋Shift+T
	音声合成	Ctrl+T
	辞書	Ctrl+D
	飛ばし読みを図書設定にする	Ctrl＋Shift+S
	文字サイズ大きく	Ctrl+Shift+＋
	文字サイズ小さく	Ctrl+Shift+-
	ルビ非表示	Ctrl+Shift+R
	画像非表示	Ctrl＋Shift+I
	画面初期配置	F12
バージョン情報	-	F1

18章3 各音質の CD1 枚に記録できる時間の目安と主な用途

音質	74 分メディアの記録時間の目安 （80 分メディア）	主な用途
① PCM 44.1kHz ステレオ	60 分（65 分）	マスター用データ（ステレオ）音楽 CD と同じ音質
② PCM 44.1kHz モノラル	120 分（130 分）	マスター用データ（モノラル）
③ PCM 22.05kHz モノラル	240 分（260 分）	朗読音声等のマスター用データ（モノラル）
④ MP3 128kbps ステレオ （サンプリング周波数：44.1kHz）	10 時間（11 時間）	標準音質の音楽データ（ステレオ） ①と音質劣化がわからないレベルで、約 10 倍のデータを記録可能。
⑤ MP3 64kbps モノラル （サンプリング周波数：44.1kHz）	20 時間（22 時間）	高音質な朗読・会議録
⑥ MP3 32kbps モノラル （サンプリング周波数：22.05kHz）	40 時間（45 時間）	一般的な朗読・会議録（音質・中）

18章4 インポート可能な音声フォーマット一覧

種類	拡張子名	内容
MPEG1 LayerIII	mp3, wav	ビットレート：32kbps～320kbps モノラル・ステレオ／ジョイントステレオ
MPEG2 LayerIII	mp3, wav	ビットレート：8kbps～160kbps モノラル／ステレオ／ジョイントステレオ
PCM	wav	量子化ビット数：8bit／16bit モノラル／ステレオ サンプリング周波数：22.05kHz／44.1kHz

18章5 ユーザー辞書ツール CSV ファイル形式

	名称	型	規定値	説明
1	表記	全角文字列	—	15 文字。空文字不可。同一表記は、先にあるものが優先。 句読点、！、？、『』は使用不可。
2	読み	発音表記全角	—	15 文字。空文字不可。全角カナ。 アクセント位置に「’(カンマ)」を付ける。
3	品詞	文字列	"固有名詞"	次の文字列のみ許可。"普通名詞", "さ変名詞", "呼称名詞", "固有名詞", "固有名詞姓地", "固有名詞名"
4	連濁	全角文字列	0／false	【0：連濁しない／0 以外：連濁する】 この単語が前の単語とアクセント結合したときに濁音化するかどうか。
5	複合禁止前	BOOL	0／false	前の単語との結合を【0：禁止しない／0 以外：禁止する】。この単語が前の単語とアクセント結合しないかどうか。
6	複合禁止後	BOOL	0／false	後ろの単語との結合を【0：禁止しない／0 以外：禁止する】。この単語が後の単語とアクセント結合しないかどうか。
7	かな書き優先	BOOL	0／false	かな書き優先【0：しない／0 以外：する】「蟷螂」のように仮名表記されやすい単語で 1 とする。
8	チョウソン読み	BOOL	0／false	単語に「町」「村」が結合した場合に、「～ﾁｮｳ」「～ｿﾝ」と【0：読まない／0 以外：読む】。 通常は「～マチ」「～ムラ」
9	作成日時	BOOL	現在日時	ISO8601 日時文字列。 “2000-01-01T00:00:00Z”, “2000-01-01T00:00:00+09:00” の形式。
10	修正日時	日付	現在日時	ISO8601 日時文字列。
11	修正者	日付	""	空文字許可。制限なし
12	コメント	文字列	""	空文字許可。制限なし
13	適用モード	文字列	0／1	この読みを必ず使用する。 【0：オフ／ 1：オン】

<注意>

- 各レコードは改行コード（CRLF）を区切りとし、行として配置します。
- 各レコードは、カンマで区切られた一つ以上のフィールドで構成します。同じファイル内の中では、それぞれの行が持つフィールド数を同じにします。空白はフィールドの一部として扱われます。各レコードの最終フィールドの更に後にカンマをつけてはなりません。
- ダブルクオーテーションでそれぞれのフィールドを括っても括らなくてもよいです。ただし、フィールドがダブルクオーテーションで括られていない場合はその値にダブルクオーテーションを含んではなりません。
- ダブルクオーテーション、カンマを含むフィールドはダブルクオーテーションで括ります。ＣＲＬＦは含めることはできません。
- フィールド内にダブルクオーテーションを含む場合は、ダブルクオーテーションでエスケープします。
- ナンバ「#」で始まるレコードはコメント行として無視されます。
- ファイルの文字コードは Shift-JIS とします。

18章6 サードパーティー製ソフトウェアについて

ANSI/NISO Z39.86 デジタルトーキングブックに準拠したバリデータ ZedVal を使用しています。
ZedVal は the GNU Lesser General Public License("LGPL") の元で配布されています。

19章 お問い合わせ先

本ソフトウェアに関するお問い合わせはＥ－ｍａｉｌのみの対応となります。

尚、パソコンの操作や環境に関するお問い合わせはご遠慮ください。

Ｅ－ｍａｉｌ：　plextalk@skcj.co.jp

ホームページ：　www.plextalk.com

〒３８６－０４９８

長野県上田市上丸子１０７８

シナノケンシ株式会社

709-1427-01